

きべりはむし

第45巻 第1号

2022



「きべりはむし」編集委員会

委員長 池田大
編集委員 近藤伸一・阪上洸多・末宗安之・中峰空・安岡拓郎

きべりはむし 50 周年と兵庫昆虫同好会 50 年の活動終了について

近藤伸一¹⁾

“きべりはむし”が発行されて50年が経ちました。兵庫昆虫同好会の皆さま、NPO法人こどもとむしの会の皆さま、また日ごろから指導ご支援をいただいている多くの皆さまにお礼申し上げます。来年度から兵庫昆虫同好会の活動を終了させていただき、“きべりはむし”の発行はこどもとむしの会単独で行います。今後も変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

50年という節目の年にあたる今回、これまでの“きべりはむし”の歴史について紹介します。

高橋寿郎氏と歩んだ“きべりはむし”

1972年、高橋寿郎氏が兵庫農大の学生であった辻啓介氏より昆虫同好会結成の協力要請を受け、“きべりはむし”はスタートしました。当初は辻啓介氏が編集者、高橋寿郎氏が世話人であったが、1978年に辻氏が渡米。6巻以降は高橋氏がお一人で、年2回の編集、発行を担われました。1994年22巻2号までに甲虫を中心に146編を掲載し、兵庫県内の昆虫相の解明が一気に進みました。

一方、会誌運営の重荷が高橋氏一人の肩にかかってしまい、会費収入では印刷費、発送費が賄えず、発行のたびに赤字が累積し、加えて原稿が十分に集まらないという状況が続いたことから、“きべりはむし”の休刊の決断を余儀なくされました。大変苦労された様子がうかがえます（きべりはむし25年の歩み：高橋1998）。

1994年、たまたま原稿の相談で高橋氏に電話したとき、休刊するという言葉を聞き、驚いて高橋氏のご自宅に高島昭氏とうかがいました。話し合いの結果、会誌は発行を続けるが、運営に関する一切を近藤、高島が引き継ぐということで、休刊は思いとどまることとなりました。しかし翌年の1995年1月の阪神淡路大震災により、高橋氏のご自宅は半壊、標本類や蔵書に多大な被害をうけられました。その時にも、再び休刊の相談を受けましたが、高橋氏には執筆だけに専念していただくこと

で、“きべりはむし”は継続することとなりました。

その後の高橋氏の執筆速度はものすごく、1995～99年の5年間で矢継ぎ早に44篇、3回の特別号増刊を含めて実に500ページ分の原稿を執筆され、“きべりはむし”が充実の5か年を終えようとした矢先の1999年12月4日に帰らぬ人となられました。高橋氏念願の「日本に産するコガネムシ類の分類目録」27巻3号（特別号）が脱稿された直後でもありました。

遺品整理のために高橋氏宅を訪れた際、私は初めて高橋氏の書斎に入れていただきました。地震被害の影響が残り、2階のすべてのふすまは取り払われ、床一面に高さ80センチほどに積み重ねた書籍の山が並び、机の上は書きかけの原稿と大量の完成原稿が残されていました。愛用の机、窓際の顕微鏡、ストーブ以外の家具らしきものはすべて排除されていました。遺稿は、兵庫県の甲虫に関する資料として大変貴重なものであったため、高橋寿郎遺作集No.1～10として兵庫昆虫同好会事務局が編集し、28巻1号（2000年5月）から29巻1号（2001年5月）にかけて掲載することとなりました。なお、高橋氏の原稿はすべてが手書きのため、高島昭氏にはパソコン入力に大変なご苦勞をおかけしました。

NPO法人こどもとむしの会と“きべりはむし”

2008年9月26日、竹田真木生、八木剛両氏が中心となってNPO法人こどもとむしの会が設立され、内藤親彦理事長のもとで活動が開始されました。この時、兵庫昆虫同好会の会員の多くがこどもとむしの会に入会しました。“きべりはむし”は2009年4月の32巻1号（佐用町昆虫館開館記念号）からA版に変更、兵庫昆虫同好会とこどもとむしの会の合同出版（きべりはむし編集委員会）となり、事務局は神戸大学農学部昆虫科学研究室に変更となりました。

2009年8月には台風9号の影響で、佐用町を中心とした記録的な大災害が発生。昆虫館が位置する船越地区も大きな被害をうけ、昆虫館は窓まで土砂に埋まりました。こどもとむしの会が発足してすぐの困難ではあり

¹⁾ Shinichi KONDO 兵庫県朝来市

ましたが、会員と多くの支援者の方々の懸命の努力で、昆虫館を復活させることができました。

2010年33巻1号から新たな編集事務局長 中峰空氏のもとでスタートを切り、表紙は現在のサネカズラにキベリハムシの家紋となりました。また、32巻2号からオンラインジャーナルのPDF版が正式版となり、ISSN（国際標準逐次刊行物番号）を取得されました。

2021年44巻1号から若手の池田大編集委員長で現在に至っています。

兵庫県姫路市南部で採集した甲虫類の記録

檀野将平¹⁾

1. はじめに

姫路市の昆虫相はその解明に向けて相坂 耕作氏から「姫路市の昆虫 I」(1980)の蝶相と蜻蛉相, 「姫路市の昆虫 (セミ科)」(1984)が報告されているが, 甲虫相についてはまとめられたものがない。筆者は2019年から2021年にかけて市南部の住宅地周辺で見られる身近な環境の甲虫類について調査したので報告する。

2. 調査地情報

調査は姫路市北原を中心に実施し(図1), 以下の6地点に分けて記録した。



図1. 調査地域

① 北原地区

東・南・北の三方を山に囲まれた平地でかつては耕作地が広がっていたが, 近年の急激な都市化により, 現在では西部の御旅山麓にわずかな耕作地が残される程度である。地区内には市川から取水した水路がめぐらされており, 残された耕作地周辺ではゴミムシ類や水生昆虫類・ハムシ類など多くの甲虫類がみられる。



図2. 北原地区を高台より見下ろす

② 兼田地区

北原地区の西側に位置する地区で東を御旅山, 西を市川河川敷に挟まれる。環境的には北原地区の耕作地と似ているが, 北原地区に比べ都市化が進んでおらず耕作地が多く残されている。

③ 御旅山

北原地区の南西に位置する標高140mの小山。地域の人からハイキングコースとして親しまれ, 山頂までの山道が整備されている。植生は主にアベマキ等の落葉樹と, カシ等の照葉樹が混生する雑木林となっており, 民家近くに竹林が点在する。山の北部は開発により宅地化



図3. 御旅山山道

¹⁾ Shohei DANNŌ 兵庫県姫路市

されている.

④ 仁寿山

北原地区の北に位置する標高 175m の小山. 植生は御旅山と同様. 南端には北原神社から大歳公園へ抜ける整備された林道があり林縁にはカシやフジが多くまた、林道わきには伐採木が積まれておりカミキリムシ、ハムシやゾウムシ類が多くみられる.



図 4. 仁寿山林道

⑤ 市川

朝来市生野町の三国山を水源とする市東部を流れる 2 級河川. 調査地域は姫路パイパス南側, 兼田地区沿いの下流域において河川敷及び堤防を中心に確認した. 河川敷はススキが生い茂り, 堤防にはノイバラ, クズが多い. 2021 年にはアレチウリが勢力を伸ばし始めており, 今後在来の植生が駆逐されるかもしれない.



図 5. 市川土手には犬糞が多い

⑥ 白浜海岸

市川河川敷の東に位置する自然海岸で海浜性の植生も残されている. 海岸線にはアマモが打ちあがるほか, 大雨の後には河口から流れ出た葦やススキが打ちあがるため海浜性甲虫類のほか河口から流されてきた甲虫類も同時に観察することができる.

3. 採集方法

ルッキング: 朝・晩の犬の散歩を日課としており, 白浜海岸を除く地区をほぼ毎日歩いている. その散歩中にあぜ道や林道で見られた種を記録した. そのほか, 夏季には雑木林内の夜間ルッキングを実施した. また, 白浜海岸では主に大雨後の夜間に観察を実施した.

ビーティング: 主に早春と晩夏にルッキング同様, 犬の散歩に合わせ林縁や水路沿いを中心に実施した.

ベイト・ピット・フォール・トラップ (BPT): トラップ法では犬糞・さなぎ粉・米ぬか等を誘引材として, 河川敷, 雑木林内, 耕作地に設置した. 犬糞以外は動物に荒らされて目立った成果は得られなかった.

ライトトラップ (LT): 主に耕作地に面する自宅庭に LED ブラックライト (10W × 2) を設置し, 冬季を除き日没 ~ 22 時前後まで実施した.

落葉層 (litter): 主に冬季に雑木林の落葉層を篩にかけて確認した.

4. 目録要領

目録作成にあたって, 種の配列・和名・学名は日本列島の甲虫全種目録 (2017 年) [<https://japanesebeetles.jimdofree.com/>] に従った. 採集者情報・産地はいずれも筆者本人, 兵庫県姫路市であるため目録への記載は省略している.

始原亜目,

Family CUPEDIDAE Laporte, 1838

ナガヒラタムシ科

1. ナガヒラタムシ *Tenomerga mucida* (Chevrolat, 1844)
北原地区, 1ex., 5. VII. 2019
林縁近くのおぜ道の雑草からえられた.

肉食亜目,

Family CICINDELIDAE Latreille, 1802

ハンミョウ科

2. コハンミョウ *Myriochila* (*Myriochila*) *speculifera* *peculifera* (Chevrolat, 1845)
北原地区, 1ex., 12. VI. 2021 LT
市川河川敷, 1ex., 22. VI. 2021 LT
草地に普通.

Family CARABIDAE Latreille, 1802

オサムシ科

3. カワチマルクビゴミムシ *Nebria* (*Eunebria*) *lewisi* Bates, 1874
市川河川敷, 1ex., 20. II. 2020

- 河川敷に普通.
4. エゾカタビロオサムシ *Calosoma (Campalita) chinense chinense* Kirby, 1818
北原地区, 1ex., 1. VIII.2020 LT
市川河川敷, 1ex., 22. VI.2021 LT
草地に普通に灯火によく集まる.
5. マイマイカブリ 基亜種 *Carabus (Damaster) blaptoides blaptoides* (Kollar, 1836)
市川河川敷, 1ex., 31. V.2021 BPT
河川敷で見られるがあまり多くない
6. ダイミョウチビヒョウタンゴミムシ *Dyschirius (Dyschiriodes) aeneus ovicollis* Putzeys, 1873
北原地区, 1ex., 10. V.2020, 1ex., 12. VI.2020 LT
県下での記録は少ない. 耕作地に見られ, 灯火にも集まるがあまり多くはない.
7. ホソヒョウタンゴミムシ *Scarites (Parallelomorphus) acutidens* Chaudoir, 1855
北原地区, 1ex., 4. VI.2019
耕作地で見られるがやや少ない.
8. ナガヒョウタンゴミムシ *Scarites (Parallelomorphus) terricola pacificus* Bates, 1873
市川河川敷, 1ex., 22. VI.2021
河川敷に多い.
9. キバナガミズギワゴミムシ *Bembidion (Desarmatocillenus) yokohamae* (Bates, 1883)
白浜海岸, 1ex., 15. VI.2020
白浜海岸, 2exs., 12. VII.2021, 1ex. 17. VII.2021
大雨後の海岸でよく見られる. 河口付近から流されてきたものと思われる.
10. ウスモンミズギワゴミムシ *Bembidion (Ocydromus) cnemidotum* Bates, 1883
市川河川敷, 1ex., 1. V.2020
白浜海岸, 2exs., 12. VII.2021
水辺近くに普通.
11. アトモンミズギワゴミムシ *Bembidion (Notaphocampa) niloticum batesi* Putzeys, 1875
北原地区, 1ex., 25. VI.2021 LT, 1ex. 8. X.2021 LT
12. ヨツボシミズギワゴミムシ *Bembidion (Peryphus) morawitzi* Csiki, 1928
北原地区, 1ex., 11. V.2020
白浜海岸, 1ex., 15. VI.2020
13. アトオビコミズギワゴミムシ *Porotachys recurvicollis* (Andrewes, 1925)
北原地区, 1ex., 1. VIII.2020 LT
白浜海岸, 2exs., 17. VII.2021 LT
14. チビミズギワゴミムシ *Polyderis microscopicus* (Bates, 1873)
北原地区, 1ex., 13. IX.2020 LT
15. ウスイロコミズギワゴミムシ *Tachys (Paratachys) pallescens* Bates, 1873
北原地区, 1ex., 13. IX.2020 LT
16. ウスオビコミズギワゴミムシ *Tachys (Paratachys) sericans* Bates, 1873
北原地区, 1ex., 21. VII.2020 LT
17. ヒラタコミズギワゴミムシ *Tachyura (Amaurotachys) exarata* (Bates, 1873)
北原地区, 1ex., 21. VII.2020 LT, 1ex., 1. VIII.2020 LT
18. チャイロコミズギワゴミムシ *Tachyura (Amaurotachys) lutea* (Andrewes, 1925)
北原地区, 1ex., 26. VII.2020 LT
19. クリイロコミズギワゴミムシ *Tachyura (Sphaerotachys) fumicata* (Motschulsky, 1851)
白浜海岸, 1ex., 15. VI.2020
20. ウスモンコミズギワゴミムシ *Tachyura (Tachyura) fuscicauda* (Bates, 1873)
白浜海岸, 2exs., 28. VII.2020 LT, 1ex., 1. IV.2021
北原地区, 1ex., 25. VI.2021 LT
21. ヨツモンコミズギワゴミムシ *Tachyura (Tachyura) laetifica* (Bates, 1873)
北原地区, 1ex., 10. V.2020, 1ex., 18. VII.2020, 1ex., 21. VII.2020 LT, 1ex., 26. VI.2020, 2exs., 25. VI.2021 LT
畑地に多く灯火にもよく集まる.
22. ヒラタキイロチビゴミムシ *Trechus (Epaphius) ephippiatus* Bates, 1873
白浜海岸, 2exs., 15. VI.2020, 1ex., 17. VII.2021
23. キアシヌレチゴミムシ *Archipatrobus flavipes*

- flavipes* (Motschulsky, 1864)
北原地区, 1ex., 4. X .2019, 1ex., 20. X .2020
あぜ道に普通.
24. カワチゴミムシ *Diplous (Diplous) sibiricus caligatus*
Bates, 1873
市川河川敷, 1ex., 1. V .2020
25. エグリゴミムシ *Eustra japonica* Bates, 1892
仁寿山, 1ex., 18. V .2020, 1ex., 26. V .2020
雑木林の倒木裏に普通.
26. アオバネホソクビゴミムシ *Brachinus aeneicostis*
Bates, 1883
北原地区, 1ex., 28. VIII .2020 LT, 1ex., 12. VI .2021 LT, 1ex.,
13. VI .2021 LT
県内での記録は少ない. 耕作地に普通で灯火によく集まる.
27. オオホソクビゴミムシ *Brachinus scotomedes*
Redtenbacher, 1867
市川河川敷, 1ex., 11. VII .2020 BPT, 1ex., 31. V .2021 BPT
28. ミイデラゴミムシ *Pheropsophus (Stenaptinus)*
jessoensis Morawitz, 1862
北原地区, 2exs., 2. V .2019 BPT
畑地や河川敷に多い.
29. ニセコガシラアオゴミムシ *Chlaenius (Achlaenius)*
kurosawai Kasahara, 1986
白浜海岸, 1ex., 15. VI .2020
30. オオアトボシアオゴミムシ *Chlaenius (Achlaenius)*
micans (Fabricius, 1792)
北原地区, 1ex., 7. VII .2019 BPT, 1ex., 16. VII .2019 BPT
31. コガシラアオゴミムシ *Chlaenius (Achlaenius)*
variicornis Morawitz, 1863
北原地区, 1ex., 4. VI .2019
32. キベリアオゴミムシ *Chlaenius (Chlaeniellus)*
circumductus Morawitz, 1862
北原地区, 1ex., 3. VI .2019
県内の記録は少ない. 耕作地のU字溝で見られたが確認できたのは採集個体のみであった.
33. アオゴミムシ *Chlaenius (Chlaenius) pallipes* (Gebler, 1823)
北原地区, 2exs., 2. V .2019, 1ex., 16. VII .2019
34. オオキベリアオゴミムシ *Chlaenius (Epomis)*
nigricans Wiedemann, 1821
北原地区, 1ex., 3. VI .2019, 1ex., 4. VI .2019
県下での記録は少ない. 2019年には多数の個体を確認できたが生息地であったあぜ道が防草シートで覆われたことで2020年以降確認できていない.
35. アトボシアオゴミムシ *Chlaenius (Lissauchenius)*
naeviger Morawitz, 1862
仁寿山, 1ex., 12. V .2020
御旅山, 1ex., 13. VI .2021
36. キボシアオゴミムシ *Chlaenius (Lissauchenius)*
posticalis Motschulsky, 1854
北原地区, 1ex., 5. VI .2019, 1ex., 16. VII .2019
37. ノグチアオゴミムシ *Chlaenius (Lithochlaenius)*
noguchii oguchii Bates, 1873
市川河川敷, 2exs., 10. II .2020
河川敷に多い.
38. アトワアオゴミムシ *Chlaenius (Pachydinodes)*
virgulifer Chaudoir, 1876
北原地区, 1ex., 21. VIII .2020 LT
39. アオヘリホソゴミムシ *Drypta (Drypta) japonica*
Bates, 1873
北原地区, 1ex., 21. VII .2020 LT
40. クビボソゴミムシ *Galerita orientalis* Schmidt-Göbel, 1846
仁寿山, 1ex., 29. IV .2020
41. フタホシスジバネゴミムシ *Planetes (Planetes)*
puncticeps Andrewes, 1919
御旅山, 1ex., 13. VI .2021
42. ヨツモンエグリゴモクムシ *Amblystomus quadriguttatus*
(Motschulsky, 1858)
北原地区, 1ex., 10. IX .2021 LT
檀野, 2021 [再記載]
43. ヒメゴミムシ 基亜種 *Anisodactylus (Anisodactylus)*
tricuspidatus tricuspidatus Morawitz, 1863
御旅山, 1ex., 29. VI .2019
44. ゴミムシ *Anisodactylus (Pseudanisodactylus) signatus*
(Panzer, 1796)
北原地区, 1ex., 10. III .2020, 1ex., 11. III .2020

45. ツヤアオゴモクムシ *Harpalus (Harpalus) chalcantus* Bates, 1873
北原地区, 2exs., 23. XI .2019, 2exs., 19. IV .2020, 1ex., 5. V .2020
46. ヒラタゴモクムシ *Harpalus (Loboharpalus) platynotus* Bates, 1873
白浜海岸, 1ex., 9. IV .2020
47. オオゴモクムシ *Harpalus (Pseudoophonus) capito* Morawitz, 1862
北原地区, 1ex., 9. IX .2020 LT
市川河川敷, 1ex., 22. VI .2021
草地に見られ特に河川敷での個体数は多い.
48. ヒメケゴモクムシ *Harpalus (Pseudoophonus) jureceki* (Jedlička, 1928)
北原地区, 1ex., 4. X .2019
白浜海岸, 1ex., 15. VI .2020
49. クロゴモクムシ *Harpalus (Pseudoophonus) pastor niigatanus* Schaubérger, 1929
北原地区, 2ex., 3. VI .2019
50. ウスアカクロゴモクムシ *Harpalus (Pseudoophonus) sinicus* Hope, 1845
北原地区, 1ex., 8. VI .2019, 1ex., 11. X .2020
白浜海岸, 1ex., 15. VI .2020
51. コゴモクムシ *Harpalus (Pseudoophonus) tridens* Morawitz, 1862
北原地区, 1ex., 6. XI .2019
御旅山, 1ex., 18. X .2019
52. ケゴモクムシ *Harpalus (Pseudoophonus) ussuriensis vicarius* Harold, 1878
北原地区, 1ex., 28. XI .2019, 1ex., 23. XI .2019
53. アカアシマルガタゴモクムシ 基亜種 *Harpalus (Zangoharpalus) tinctulus tinctulus* Bates, 1873
白浜海岸, 1ex., 12. VII .2021
54. キイロチビゴモクムシ *Acupalpus (Palcuapus) inornatus* Bates, 1873
北原地区, 1ex., 21. VI .2020 LT, 2exs., 21. VII .2020 LT, 1ex., 28. VII .2020 LT, 1ex., 25. VI .2021 LT, 2exs., 17. VIII .2021 LT
55. ツヤマメゴモクムシ *Stenolophus iridicolor* Redtenbacher, 1867
北原地区, 1ex., 8. IX .2021 LT
56. キベリゴモクムシ *Loxoncus circumcinctus* (Motschulsky, 1858)
北原地区, 1ex., 4. VI .2019, 1ex., 13. V .2020 LT, 1ex., 25. VI .2021 LT
57. マメゴモクムシ *Stenolophus (Astenolophus) fulvicornis* Bates, 1873
北原地区, 1ex., 12. V .2020
58. ミドリマメゴモクムシ *Stenolophus (Egadroma) difficilis* (Hope, 1845)
北原地区, 1ex., 25. VI .2021 LT
59. ムネアカマメゴモクムシ *Stenolophus (Stenolophus) propinquus* Morawitz, 1862
北原地区, 2exs., 25. XI .2021
60. スジミズアトキリゴミムシ *Apristus grandis* Andrewes, 1937
白浜海岸, 3exs., 15. VI .2020, 1ex., 17.7.2021
61. キクビアオアトキリゴミムシ *Lachnolebia cribricollis* (Morawitz, 1862)
白浜海岸, 1ex., 15. VI .2020
市川河川敷, 1ex., 14. III .2021
62. ヒラタアトキリゴミムシ *Parena cavipennis* (Bates, 1873)
御旅山, 1ex., 11. IX .2021 LT
63. アオヘリアトキリゴミムシ *Parena latecincta* (Bates, 1873)
御旅山, 1ex., 3. V .2020
アラカシからのピーティングでえられた.
64. クロヘリアトキリゴミムシ *Parena nigrolineata nipponensis* Habu, 1964
北原地区, 1ex., 13. VI .2021 LT
65. オオヨツアナアトキリゴミムシ *Parena perforata* (Bates, 1873)
御旅山, 1ex., 6. V .2021
66. コキノコゴミムシ *Coptodera (Coptoderina) japonica* Bates, 1883
仁寿山, 1ex., 1. VIII .2020

- 県内での記録は多くない。サクラの立ち枯れからえられた。
- 1873
仁寿山, 1ex., 7. V .2021
県下での記録は少ない。雑木林内の伐採木裏にいたもの。
67. コヨツボシアトキリゴミムシ *Dolichoctis rotundata*
Schmidt-Göbel, 1846
御旅山, 1ex., 30. VIII .2019, 1ex., 3. II .2021
林内の倒木に普通。
77. アオグロヒラタゴミムシ *Agonum (Platynomicrus) chalconum* (Bates, 1873)
北原地区, 1ex., 12. V .2019, 1ex., 23. XI .2019, 1ex., 6. XI .2021,
1ex., 6. IV .2021 BPT, 1ex., 6. XI .2021
市川河川敷, 1ex., 25. I .2020
白浜海岸, 1ex., 12. VII .2021
草地に多い。
68. キノコゴミムシ *Lioptera erotyloides* Bates, 1883
御旅山, 1ex., 2. VIII .2019, 1ex., 22. V .2021
県内での記録は多くない。雑木林内で普通に見られる。
78. タンゴヒラタゴミムシ *Anchomenus (Anchomenus) leucopus* (Bates, 1873)
白浜海岸, 2exs., 17. VII .2021
降雨後の漂着物下からえられた。
69. オオスナハラゴミムシ *Diplocheila (Isorembus) zeelandica*
(Redtenbacher, 1867)
北原地区, 1ex., 4. VIII .2019
79. オオヒラタゴミムシ *Platynus (Batenus) magnus* (Bates, 1873)
北原地区, 1ex., 12. V .2019, 1ex., 25. V .2019, 1ex., 26. V .2019, 1ex.,
29. X .2019, 1ex., 23. XI .2019, 1ex., 26. IV .2020, 1ex., 9. IX .2020
あぜ道に多い。
70. フタモンクビナガゴミムシ *Archicolliuris bimaculata nipponica* Habu, 1963
白浜海岸, 1ex., 16. VIII .2021
降雨後の漂着物下からえられた。
80. コヒラタゴミムシ *Platynus (Batenus) protensus*
protensus (Morawitz, 1863)
北原地区, 1ex., 23. XI .2021
前種と同様の環境に見られるが個体数ははるかに少ない。
71. チャバネクビナガゴミムシ *Odacantha (Heliocasonia) aegrota* (Bates, 1883)
白浜海岸, 2exs., 15. VI .2020, 2exs., 17. VII .2021
北原地区, 1ex., 16. VII .2021 LT
白浜海岸では前種同様、降雨後の漂着物下に普通。
81. オオゴミムシ *Lesticus (Triplenigenius) magnus*
(Motschulsky, 1860)
北原地区, 1ex., 12. V .2020
白浜海岸, 1ex., 15. VI .2020
72. ヤマトトックリゴミムシ *Lachnocrepis japonica* Bates,
1873
白浜海岸, 1ex., 15. VI .2020
県下ではあまり多くない。降雨後の漂着物下より得られた個体
で河口付近から流された来たものと思われる。
82. アカガネオオゴミムシ 基亜種 *Myas (Trigonognatha) cuprescens cuprescens* Motschulsky, 1857
御旅山, 1ex., 22. V .2020
県下での個体数は多くない。採集個体は林縁の側溝にいたもの。
73. オオヨツボシゴミムシ *Dischissus mirandus* Bates, 1873
白浜海岸, 1ex., 13. VII .2021
海岸脇の街灯下で確認された個体。
74. イグチケブカゴミムシ *Peronemerus auripilis* Bates, 1883
北原地区, 1ex., 13. VI .2021 LT
環境省カテゴリ：準絶滅危惧 (NT)
湿原や河川敷といった湿った環境を好むとされるが、今回の調
査では畑地の灯火で確認することができた。
83. キンナガゴミムシ *Poecilus (Poecilus) versicolor*
(Sturm, 1824)
白浜海岸, 1ex., 15. VI .2020
降雨後の漂着物下からえられた。
75. クロケブカゴミムシ *Peronemerus nigrinus* Bates, 1873
北原地区, 1ex., 12. VI .2021 LT
白浜海岸, 1ex., 13. VII .2021 LT
前種同様、湿った環境を好む。
84. アシミゾナガゴミムシ *Pterostichus (Argutor) sulcitaris* Morawitz, 1862
白浜海岸, 3exs., 15. VI .2020, 1ex., 12. VII .2021
降雨後の漂着物下からえられた。
76. クロツブゴミムシ *Pentagonica subcordicollis* Bates,

85. トックリナガゴミムシ *Pterostichus (Eurythoracana) hapteroides japonensis* (Lutshnik, 1922)
北原地区, 1ex., 4. VI .2019, 1ex., 6. XI .2021
市川河川敷, 1ex., 10. II .2020
県内での個体数は比較的少ない. 草地に普通.
86. オオクロナガゴミムシ *Pterostichus (Eosteropus) japonicu* (Motschulsky, 1860)
北原地区, 1ex., 25. V .2019, 1ex., 1. IX .2019, 1ex., 14. VI .2019, 1ex., 4. X .2019, 1ex., 21. X .2020
あぜ道に多い.
87. コホソナガゴミムシ *Pterostichus (Phonias) longinquus* Bates, 1873
御旅山, 2exs., 21. VI .2019
88. ヒメホソナガゴミムシ *Pterostichus (Pseudomaseus) rotundangulus* Morawitz, 1862
北原地区, 1ex., 3. VI .2019, 1ex., 23. XI .2019
市川河川敷, 1ex., 6. XI .2021
県下では少ない. 草地に普通.
89. コガシラナガゴミムシ *Pterostichus (Rhagadus) microcephalus* (Motschulsky, 1860)
北原地区, 2exs., 2. VI .2019
90. セアカヒラタゴミムシ *Dolichus halensis* (Schaller, 1783)
北原地区, 3exs., 5. VI .2019
草地に多い.
91. マルガタツヤヒラタゴミムシ *Synuchus (Synuchus) arcuaticollis* (Motschulsky, 1860)
北原地区, 1ex., 25. V .2019, 1ex., 4. VI .2019
御旅山, 2exs., 18. X .2019 BPT, 1ex., 15. II .2020
仁寿山, 1ex., 23. V .2020 BPT
市川河川敷, 1ex., 10. II .2020
各所に多い.
92. クロツヤヒラタゴミムシ *Synuchus (Synuchus) cycloderus* (Bates, 1873)
御旅山, 2exs., 21. VI .2019, 2exs., 4. X .2019, 仁寿山, 1ex., 23. V .2020 BPT
市川河川敷 1ex, 31. X .2021 BPT
林内に多い.
93. ヒメツヤヒラタゴミムシ *Synuchus (Synuchus) dulcigradus* (Bates, 1873)
御旅山, 1ex., 15. X .2019 BPT, 2exs., 18. X .2019 BPT
94. オオクロツヤヒラタゴミムシ *Synuchus (Synuchus) nitidus nitidus* (Motschulsky, 1861)
北原地区, 1ex., 4. X .2019
御旅山, 3exs., 28. IX .2019,
林内に多い.
95. ツヤヒラタゴミムシ属の一種 *Synuchus* sp.
市川河川敷, 1ex., 31. X .2021
96. ニセマルガタゴミムシ *Amara (Amara) congrua* Morawitz, 1862
北原地区, 2exs., 6. IV .2021 BPT
白浜海岸, 1ex., 15. VI .2020, 1ex., 6. XI .2021
草地に普通.
97. コマルガタゴミムシ *Amara (Bradytus) simplicidens* Morawitz, 1863
白浜海岸, 1ex., 15. VI .2020, 1ex., 12. VII .2021
降雨後の漂着物下からえられた.
98. ニセコマルガタゴミムシ *Amara (Bradytus) sinuaticollis* Morawitz, 1862
北原地区, 2exs., 20. X .2020
99. オオマルガタゴミムシ *Amara (Curtonotus) gigantea* (Motschulsky, 1844)
御旅山, 3exs., 1. XI .2019, 6. XI .2019
耕作地, 河川敷, 林縁部といずれの場所でも個体数は多い.
100. ナガマルガタゴミムシ *Amara (Curtonotus) macronota* Solsky, 1875
北原地区, 1ex., 25. X .2019, 2exs., 15. XI .2019
- Family DYTISCIDAE Leach, 1815 ゲンゴロウ科
101. セスジゲンゴロウ属の一種 *Copelatus* sp.
北原地区, 1ex., 28. VI .2019, 2exs., 6. V .2020, 1ex., 26. VII .2020
LT
水田や畑地の水たまりなどに普通.
102. ハイイロゲンゴロウ *Eretes griseus* (Fabricius, 1781)
北原地区, 2exs., 14. VII .2019
水田に多く, 灯火にもよく集まる.
103. コシマゲンゴロウ *Hydaticus (Guignotites) grammicus* (Germar, 1827)
北原地区, 1ex., 29. VII .2021 LT

灯火でえられたが少ない。

104. チビゲンゴロウ *Hydroglyphus japonicus* (Sharp, 1873)

北原地区, 1ex., 18. VII .2020, 1ex., 21. VII .2020 LT, 1ex., 26. VII .2020 LT, 1ex., 29. VIII .2020 LT, 1ex., 8. IX .2021 LT

水田や畑地の水たまりなどに多い。

105. マルケシゲンゴロウ属の一種 *Hydrovatus* sp.

北原地区, 2exs., 16. IX .2020 LT

灯火でえられたが少ない。

Family HYDROPHILIDAE Latreille, 1802

ガムシ科

106. エンデンチビマルガムシ *Paracymus aeneus* (Germar, 1824)

白浜海岸, 1ex., 12. VII .2021

県下からは最近記録された(森・下野, 2021)ばかりで2例目の記録となる。降雨後の海岸漂着物より得られた個体で河口付近から流されてきたものと思われる。

107. トゲバゴマフガムシ *Berosus (Enophylurus) lewisius* Sharp, 1873

北原地区, 1ex., 30. IV .2021 LT, 1ex.14. V .2021 LT

市川河川敷, 1ex., 18. XI .2021 LT

水辺に普通。

108. マメガムシ *Regimbartia attenuata* (Fabricius, 1801)

北原地区, 1ex., 10. VIII .2019

水田に普通。

109. キイロヒラタガムシ *Enochrus (Holcophilydrus) simulans* (Sharp, 1873)

北原地区, 1ex., 14. VII .2019, 1ex., 3. VIII .2019, 1ex., 21. VII .2020 LT, 1ex., 29. VII .2021 LT, 1ex., 15. X .2021 LT

白浜海岸, 1ex., 12. VII .2021, 1ex., 17. VII .2021 LT

水田に多い。

110. ルイスヒラタガムシ *Helochares (Helochares) pallens* (MacLeay, 1825)

白浜海岸, 1ex., 15. X .2021 LT

降雨後の漂着物下からえられた。

111. コガムシ *Hydrochara affinis* (Sharp, 1873)

北原地区, 1ex., 8. VI .2019

環境省カテゴリ: 情報不足 (DD)

水田や畑地の水たまりなどに多く, 灯火にもよく集まる。

112. ヒメガムシ *Sternolophus (Sternolophus) rufipes* (Fabricius, 1792)

北原地区, 1ex., 10. VIII .2019

水田でえられたがあまり多くない。

113. コモンシジミガムシ *Laccobius (Microlaccobius) oscillans* Sharp, 1884

市川河川敷, 1ex., 18. XI .2021 LT

白浜海岸, 1ex., 17. VII .2021 LT

河川敷で見られる。海岸での個体は雨で流されてきた個体と思われる。

114. セマルガムシ *Coelostoma (Holocoelostoma) stultum* (Walker, 1858)

北原地区, 1ex., 21. VII .2020 LT, 1ex., 21. VIII .2020 LT

白浜海岸, 1ex., 21. VII .2021

水田や畑の水たまりなどに普通。

115. オオヤマトオカツヤガムシ *Armostus ohyamatensis* Hoshina & M. Satô, 2006

北原地区, 1ex., 29. VII .2021 LT

本種は Hoshina & Sato(2006) により記載されたもので本州・四国・九州の西南日本を中心に分布する。調べたところ県下での記録は見当たらなかった。庭のライトトラップによりえられた。

116. ヒメケシガムシ *Cercyon (Cercyon) algarum* Sharp, 1873

白浜海岸, 1ex., 4. IX .2020, 1ex., 14. X .2021

海岸線のアマモ下に多い。

117. コケシガムシ *Cercyon (Cercyon) aptus* Sharp, 1873

白浜海岸, 1ex., 23. III .2020, 1ex., 14. X .2021

ヒメケシガムシと同じく海岸線のアマモ下に多い。

118. フチトリケシガムシ *Cercyon (Cercyon) dux* Sharp, 1873

白浜海岸, 1ex., 16. VIII .2021 LT

ヒメケシガムシと同様の環境で見られるが個体数はあまり多くない。

119. アカケシガムシ *Cercyon (Cercyon) olibrus* Sharp, 1874

北原地区, 3exs., 4. VI .2019 BPT, 1ex., 1. VIII .2020 LT, 2exs., 6. VI .2021 LT

仁寿山, 1ex., 13. VI .2021 BPT

耕作地, 林内, 河川敷とどこでも個体数は多い。灯火にもよく集まる。

120. ウスモンケシガムシ *Cercyon (Paracycreon) laminatus* Sharp, 1873

北原地区, 1ex., 8. IX .2021 LT

121. セマルマグソガムシ *Megasternum japonicum*

Schatrovskiy, 1989

御旅山, 1ex., 15. II .2020 litter

仁寿山, 1ex., 24. III .2020, 3exs., 2. IV .2021 litter

落葉層や倒木裏に普通.

Family HISTERIDAE Gyllenhal, 1808

エンマムシ科

122. ハマベエンマムシ *Hypocaccus (Baeckmanniolus)*

varians varians (Schmidt, 1890)

白浜海岸, 2exs., 15. VI .2020, 1ex., 4. IX .2020

海岸の有機物に多い.

123. ツヤマルエンマムシ *Atholus pirithous* (Marseul, 1873)

北原地区, 1ex., 18. VI .2021

124. コエンマムシ *Margarinotus (Grammostethus) niponicus*

(Lewis, 1895)

仁寿山, 2exs., 12. V .2020, 1ex., 23. V .2020 BPT

竹林の腐敗したタケノコやベイトトラップでえられ, 個体数も多い.

Family LEIODIDAE Fleming, 182

タマキノコムシ科

125. サシゲマルタマキノコムシ *Agathidium (Microceble)*

ciliatum Portevin, 1908

北原地区, 1ex., 4. IV .2020

公園の切り株に生えたサルノコシカケからえられたもの.

126. セマルタマキノコムシ *Cyrtoplastus seriepunctatus*

(Brisout, 1867)

御旅山, 1ex., 6. V .2020 litter

仁寿山, 1ex., 12. III .2020 litter

白浜海岸, 1ex., 15. VI .2020

落葉層からえられる.

127. オチバヒメタマキノコムシ *Dermatohomoeus terrenus*

(Hisamatsu, 1985)

御旅山, 1ex., 6. V .2020

サルノコシカケからえられた個体.

128. アカアシチビシテムシ *Catops angustipes apicalis*

Portevin, 1919

白浜海岸, 1ex., 15. VI .2020

市川河川敷, 1ex., 24. IV .2021 BPT

河川敷で見られる. 海岸での個体は降雨後の漂着物より得られた個体で河口から流されてきたものと思われる.

Family SILPHIDAE Latreille, 1806

シテムシ科

129. ツシマヒラタシテムシ 本州亜種 *Necrophila*

(*Eusilpha*) *jakowlewi simulator* (Shibata, 1969)

北原地区, 1ex., 30. VI .2019, 2exs., 16. VII .2019 BPT

市川河川敷, 1ex., 22. V .2020 BPT

耕作地や河川敷に多い.

Family STAPHYLINIDAE Latreille, 1802

ハネカクシ科

130. アロウハネナガヨツメハネカクシ *Olophrum arrowi*

Scheerpeltz, 1929

兼田地区, 1ex., 6. IV .2021 BPT

耕作地のベイトトラップで得られた.

131. ヨツメハネカクシ亜科の一種 *Omarinae* sp.

市川河川敷, 1ex., 28. III .2021

兼田地区, 2exs., 6. IV .2021 BPT

土手の犬糞に普通.

132. ハバビロハネカクシ *Megarthus japonicus* Sharp, 1874

北原地区, 1ex., 29. V .2021 LT

市川河川敷, 1ex., 15. X .2021

土手の犬糞で得られた.

133. ムツバハバビロハネカクシ *Megarthus parallelus*

Sharp, 1874

仁寿山, 1ex., 23. IV .2020

林縁のピーティングで得られた.

134. チビハバビロハネカクシ属の一種 *Proteinus* sp.

仁寿山, 2exs., 22. IV .2020 BPT

135. ヒゲブトムネトゲアリヅカムシ *Petaloscopus basicornis*

(Sharp, 1883)

御旅山, 2exs., 4. IV .2019 litter

仁寿山, 1ex., 19. IX .2020 litter, 1ex., 7. V .2021

落葉層や倒木の裏に見られる.

136. ヒゲブトエクボアリヅカムシ *Raphitreus speratus*

(Sharp, 1874)

仁寿山, 1ex., 18. V .2020, 1ex., 19. IX .2020 litter

落葉層や倒木の裏に見られる.

137. クロチビマルクビハネカクシ *Coproporus scitulus*

(Weise, 1877)

兼田地区, 1ex., 19. III .2020

- 公園の切り株に生えたサルノコシカケから得られた.
138. シリホソハネカクシ亜科の一種 *Tachyporinae* sp.1
兼田地区, 1ex., 19. III .2020
公園の切り株に生えたサルノコシカケから得られた.
139. シリホソハネカクシ亜科の一種 *Tachyporinae* sp.2
北原地区, 1ex., 10. V .2020
140. コクロヒゲブトハネカクシ *Aleochara (Aleochara) parens*
Sharp, 1874
御旅山, 1ex., 6. VIII 2019 BPT, 1ex., 15. VIII .2019 BPT
141. ツヤケシヒゲブトハネカクシ *Aleochara (Emplenota)*
fucicola Sharp, 1874
白浜海岸, 1ex., 15. VI .2020
海岸線アマモ下より得られた.
142. アカニセセミゾハネカクシ *Drusilla (Drusilla) sparsa*
(Sharp, 1874)
御旅山, 1ex., 15. III .2020 litter
143. ヤマトデオキノコムシ *Scaphidium japonum* Reitter, 1877
御旅山, 2exs., 5. V 2020, 1ex., 26. VI .2020, 5. XII .2020 litter
立ち枯れや倒木からえられた.
144. ケシデオキノコムシ属の一種 *Scaphisoma* sp.
御旅山, 1ex., 7. V .2020, 1ex., 11. V .2020
倒木上や倒木裏に普通.
145. チビクロセスジハネカクシ *Anotylus latiusculus*
(Kraatz, 1859)
市川河川敷, 1ex., 28. III .2021, 1ex., 15. X .2021
土手の犬糞からえられた.
146. *Anotylus* 属の一種 *Anotylus* sp.1
仁寿山, 1ex., 12. V .2020
竹林の腐敗したタケノコからえられた.
147. *Anotylus* 属の一種 *Anotylus* sp.2
市川河川敷, 1ex., 11. V .2021
土手の犬糞からえられた.
148. *Anotylus* 属の一種 *Anotylus* sp.3
市川河川敷, 1ex, 28. III .2021, 1ex, 11. V .2021
土手の犬糞からえられた.
149. *Carpelimus* 属の一種 *Carpelimus* sp.
北原地区, 1ex., 18. VII .2020, 3exs., 26. VII .2020 LT, 1ex., 9. IX .2020
LT, 1ex., 18. IX .2021 LT
耕作地に多く梅雨時に大量発生する.
150. ユミセミゾハネカクシ *Thinodromus (Thinodromus)*
sericatus (Sharp, 1889)
市川河川敷, 1ex., 18. VI .2021 LT
151. コヒメコケムシ *Euconus debilis* (Sharp, 1874)
北原地区, 1ex., 17. VIII .2020 LT
灯火に普通.
152. シリブトヒメコケムシ *Euconus (Euconophron)*
fustiger (Sharp, 1874)
仁寿山, 3exs., 12. III .2020 litter
153. メダカハネカクシ属の一種 *Stenus* sp.
北原地区, 1ex., 10. V .2020, 1ex., 27. III .2021, 1ex., 29. III .2021
耕作地の水路など水辺に多い.
154. ニセメダカハネカクシ *Stenaesthetus sunioides*
Sharp, 1874
仁寿山, 1ex., 30. III .2020 litter
155. ヒメシリグロハネカクシ *Astenus brevipes* (Sharp, 1874)
北原地区, 1ex., 19. IX .2020
枯れ草からの篩でえられた.
156. ツマアカカワベナガエハネカクシ *Ochtheophilum kurosai*
Itô, 1996
北原地区, 1ex, 4. VII .2021 LT
白浜海岸, 1ex, 16. VIII .2021 LT
157. ナガハネカクシ属の一種 *Lathrobium* sp.1
北原地区, 1ex., 16. VII .2021 LT
158. ナガハネカクシ属の一種 *Lathrobium* sp.2
白浜海岸, 1ex., 16. VII .2021 LT
降雨後の漂着物下からえられた.
159. クロズトガリハネカクシ *Lithocharis nigriceps*
Kraatz, 1859
北原地区, 1ex., 7. II .2020
畑の枝豆の枯れ木からえられた.
160. アオバアリガタハネカクシ *Paederus (Heteropaederus)*
fuscipes Curtis, 1826
北原地区, 1ex., 12. V .2019

- 畑地に多い。
161. ヒメクビボソハネカクシ属の一種 *Scopaeus* sp.
北原地区, 1ex., 10. V .2020
162. キバネクビボソハネカクシ *Rugilus (Eurystilicus) ceylanensis* (Kraatz, 1859)
北原地区, 1ex., 19. IX .2020
畑の枯れ草からの篩でえられた。
163. ホソアバタウミベハネカクシ *Cafius (Pseudoremus) histrio* (Sharp, 1874)
白浜海岸, 1ex., 15. X .2021 LT
海岸のアマモ下に多い。
164. ヒメアバタウミベハネカクシ *Cafius (Pseudoremus) algarum* (Sharp, 1874)
白浜海岸, 2exs, 10. I .2020, 1ex., 15. VI .2020, 1ex., 1. IV .2021
海岸のアマモ下に多い。
165. アカバアバタウミベハネカクシ *Cafius (Pseudoremus) rufescens* Sharp, 1889
白浜海岸, 1ex., 23. III .2020
海岸のアマモ下に普通。
166. オオアバタウミベハネカクシ *Cafius (Pseudoremus) vestitus* (Sharp, 1874)
白浜海岸, 1ex., 15. VI .2020
海岸のアマモ下に普通。
167. コガシラハネカクシ属の一種 *Philonthus* sp.1
市川河川敷, 1ex., 2. VI .2020 BPT
168. コガシラハネカクシ属の一種 *Philonthus* sp.2
白浜海岸, 1ex., 15. VI .2020
降雨後の漂着物下からえられた。
169. コガシラハネカクシ属の一種 *Philonthus* sp.3
北原地区, 1ex., 25. VII .2020 LT, 1ex., 16. VII .2021 LT
170. コガシラハネカクシ属の一種 *Philonthus* sp.4
北原地区, 1ex., 3. VI .2019 BPT
171. ツヤケシアカバウミベハネカクシ *Phucobius simulator* Sharp, 1874
白浜海岸, 1ex., 12. X .2020
海岸のアマモ下に普通。
172. アカバハバヒロオオハネカクシ *Agelosus carinatus* (Sharp, 1874)
御旅山, 2exs., 19. V .2019 BPT
林内に多い。
173. ムネビロハネカクシ *Algon grandicollis* Sharp, 1874
御旅山, 1ex., 4. X .2019
北原地区, 1ex., 5. V .2020
174. クシヒゲツヤムネハネカクシ *Quedius (Microsaurus) pectinatus* (Sharp, 1874)
御旅山, 1ex., 9. IX .2019
アベマキの樹液でえられた。
175. ハネカクシ科の一種 Staphylinidae gen. sp.1
仁寿山, 1ex., 8. III .2020
フジの枯れ木からえられた。
176. ハネカクシ科の一種 Staphylinidae gen. sp.2
仁寿山, 1ex., 30. III .2020 litter
177. ハネカクシ科の一種 Staphylinidae gen. sp.3
御旅山, 1ex., 23. IV .2020 litter
178. ハネカクシ科の一種 Staphylinidae gen. sp.4
御旅山, 1ex., 6. IV .2021 BPT
179. ハネカクシ科の一種 Staphylinidae gen. sp.5
市川河川敷, 1ex, 15. X .2021
土手の犬糞よりえられた。
180. ハネカクシ科の一種 Staphylinidae gen. sp.6
北原地区, 1ex., 5. X .2019
- Family GEOTRUPIDAE Latreille, 1802
センチコガネ科
181. センチコガネ *Phelotrupes (Eogeotrupes) laevistriatus* (Motschulsky, 1866)
御旅山, 1ex., 25. VI .2021
鹿が生息する市内の北部では普通に見られるが、南部ではほとんど見かけない。
- Family LUCANIDAE Latreille, 1804
クワガタムシ科
182. ネプトクワガタ 本土亜種 *Aegus laevicollis subnitidus* Waterhouse, 1873
北原地区, 1ex, 9. VI .2019 樹液

- 御旅山 1ex, 2, VI .2019 樹液
コクワガタやヒラタクワガタに比べあまり多くない。
183. コクワガタ 基亜種 *Dorcus rectus rectus* (Motschulsky, 1858)
北原地区, 1ex., 31. V .2019 樹液
御旅山, 1ex., 5. I .2019
雑木林に普通。
184. ヒラタクワガタ 本土亜種 *Dorcus titanus pilifer*
(Snellen van Vollenhoven, 1861)
北原地区, 1ex., 26. V .2019 樹液
御旅山, 1ex., 6. V .2019
コクワガタに比べ市街地に多く見られる。
185. チビクワガタ *Figulus binodulus* Waterhouse, 1873
御旅山, 2exs., 15. VIII .2019
広葉樹の腐朽材に普通。林内の他公園の朽ちたソメイヨシノでもよく見られる。
- Family SCARABAEIDAE Latreille, 1802
コガネムシ科
186. セマダラマグソコガネ *Aphodius (Chilothorax) nigrotessellatus* Motschulsky, 1866
市川河川敷, 2exs, 27. XII .2020, 28. III .2021
土手の犬糞に普通。冬季に採れる。
187. クロツツマグソコガネ *Saprosites japonicus*
Waterhouse, 1875
仁寿山, 1ex, 24. II .2020, 2exs., 21. III .2020 litter, 1ex, 12. VI .2020,
1ex, 6. V .2021
落葉層や倒木下に普通。
188. ヤマトケシマグソコガネ *Leiopsammodius japonicus*
(Harold, 1878)
白浜海岸, 1ex., 12. X .2020, 1ex., 20. III .2020, 1ex., 20. III .2021
海浜の砂浜に生息するため生息地が減少している。白浜海岸では流木下に普通で灯火にもよく飛来する。
189. セマルケシマグソコガネ *Psammodius convexus*
Waterhouse, 1875
白浜海岸, 2exs., 10. I .2020, 2exs., 19. VII .2020 LT, 17. VII .2021
LT
砂浜の植物の根際に生息する。白浜海岸ではごく普通にみられる。篩でえられるが労力のわりに採れる数は少ない。灯火によく飛来する。
190. ホソケシマグソコガネ *Neotrichiorhyssemus boninensis*
(Nakane, 1960)
- 白浜海岸, 1ex., 17. VII .2021 LT
県下での記録は少ない。海岸の灯火でえられた。
191. コブマルエンマコガネ *Onthophagus (Gibbonthophagus) atripennis* Waterhouse, 1875
御旅山, 2exs., 12. V .2019 BPT, 2exs., 10. V .2019 BPT, 1ex.,
6. VIII .2019 BPT
仁寿山, 1ex., 17. V .2020 腐ったタケノコ
市川河川敷, 1ex., 6. XI .2021 BPT
雑木林内での生息密度は非常に高く、ベイト用のプラコップ1個に数十頭同時に入ることも多い。また、腐敗したキノコやタケノコにもよく集まる。河川敷では次種と同所に見られるが個体数は少ない。
192. ミツコブエンマコガネ *Onthophagus (Paraphanaeomorphus) trituber* (Wiedemann, 1823)
市川河川敷, 2exs., 26. V .2020
播磨地方を代表する糞虫。土手の犬糞に多いが、林内では全く見られない。
193. フトカドエンマコガネ *Onthophagus (Phanaeomorphus) fodiens* Waterhouse, 1875
御旅山, 1ex., 12. V .2019 BPT, 1ex., 18. VI .2021 BPT
コブマルエンマコガネ同様雑木林内でえられるが個体数は少ない。
194. ツヤエンマコガネ *Parascatonomus (Necramator) nitidus*
(Waterhouse, 1875)
仁寿山, 3exs., 13. VI .2021 BPT
地中に埋設したさなぎ粉トラップでえられた。他のエンマコガネとは異なり犬糞でえられることは少ない。
195. ナガチャコガネ *Heptophylla picea picea* Motschulsky, 1858
北原地区, 2exs., 17. VI 2019, 1ex., 12. VI .2020
羽化時期を合わせるようで見つかるときは同所で多数の個体が同時に確認される。
196. コフキコガネ *Melolontha (Melolontha) japonica*
Burmeister, 1855
北原地区, 1ex., 6. VII .2019
仁寿山, 1ex., 21. VI .2020
197. クロコガネ *Nigrotrichia kiotoensis* (Brenske, 1894)
北原地区, 1ex., 1. V .2019
あぜ道に多く、灯火にもよく飛来する。
198. オオクロコガネ *Pedinotrichia parallela* (Motschulsky, 1854)
北原地区, 1ex., 17. VI .2019

- 前種と同様の環境でえられるがやや少ない。
199. ビロウドコガネ *Maladera japonica* (Motschulsky, 1860)
御旅山, 1ex., 10. VI .2019
ササ類に大量発生していた。
200. アカビロウドコガネ *Maladera (Cephaloserica) castanea castanea* (Arrow, 1913)
北原地区, 1ex, 12. VI .2020
201. ヒメビロウドコガネ *Maladera (Omaladera) orientalis* (Motschulsky, 1860)
北原地区, 1ex., 10. VI .2019, 1ex., 11. VII .2020
耕作地に普通。畑の水桶でよくおぼれている。
202. コイチャコガネ *Adoretus tenuimaculatus* Waterhouse, 1875
御旅山, 1ex., 14. VIII .2019
林縁のピーティングに普通。
203. アオドウガネ 基亜種 *Anomala albopilosa albopilosa* (Hope, 1839)
北原地区, 1ex., 13. VII .2019
御旅山, 1ex., 29. VIII .2019
市街地でも普通にみられ, 林内・耕作地・河川敷・海岸のどこでも多い。
204. ドウガネブイブイ *Anomala cuprea* (Hope, 1839)
御旅山, 1ex., 24. VII .2019
河川敷では比較的普通にみられるがそれ以外ではあまり多くない。
205. ハンノヒメコガネ *Anomala multistriata* (Motschulsky, 1861)
兼田地区, 2exs., 1. VII .2020
仁寿山, 1ex., 20. VI .2020
白浜海岸, 1ex., 15. VI .2020
耕作地や林縁, 河川敷で普通にみられる。
206. ヒメコガネ *Anomala rufocuprea* Motschulsky, 1860
北原地区, 1ex., 9. VI .2021 LT
市川河川敷, 1ex., 7. VI .2020
河川敷のクズに多い。
207. チビサクラコガネ *Anomala schoenfeldti* Ohaus, 1915
白浜海岸, 1ex., 1. VI .2020
県下での記録は少ない。ゴルフ場の芝生を加害する。白浜海岸でも芝生地で普通にみられる。
208. ヤマトアオドウガネ *Anomala viridana* (Kolbe, 1886)
白浜海岸, 1ex., 19. VII .2020
兵庫県版レッドリスト (2012):C ランク
県下の記録では加古川より西の記録がなく, 県下最西端の記録となる。同所ではアオドウガネと混生しており見落とされている可能性もあり海岸線に沿ってさらに西側にも分布している可能性が高い。
209. コガネムシ *Mimela splendens* (Gyllenhal, 1817)
市川河川敷, 1ex., 1. VI .2020
河川敷のクズに普通。
210. スジコガネ *Mimela testaceipes* (Motschulsky, 1860)
北原地区, 1ex., 29. VI .2021 LT
成虫は針葉樹を好むが付近の山には針葉樹がほとんどなくどこから飛来したのかよくわからない。
211. ナラノチャイロコガネ *Proagopertha pubicollis* (Waterhouse, 1875)
御旅山, 1ex., 21. IV .2020
県下では少ない。エノキからのピーティングでえられた。
212. セマダラコガネ *Exomala (Exomala) orientalis* (Waterhouse, 1875)
北原地区, 2exs., 25. V .2019
耕作地やあぜ道に普通で市街地でもよく見かける。
213. カタモンコガネ *Exomala (Taxipertha) conspurcata* (Harold, 1878)
北原地区, 1ex., 15. V .2019, 1ex., 25. IV .2020
あぜ道に普通。
214. ウスチャコガネ *Phyllopertha diversa* Waterhouse, 1875
北原地区, 1ex., 2. V .2019
前2種に比べると少ない。
215. マメコガネ *Popillia japonica* Newmann, 1841
北原地区, 1ex., 8. VI .2019
各所に多い。
216. カブトムシ 本土亜種 *Trypoxylus dichotomus septentrionalis* Kôno, 1931
北原地区, 1ex, 30. VII .2021 樹液
林内での個体数が多いが, 公園でも見られる。
217. カナブン *Pseudotorynorhina japonica* (Hope, 1841)
仁寿山, 2exs., 7. VII .2019 樹液
市街地でも普通にみられる。

218. ナミハナムグリ *Cetonia (Eucetonia) pilifera pilifera*
(Motschulsky, 1860)

仁寿山, 2exs., 24. V .2020, 1ex., 11. VII .2020

林縁, 河川敷に多い.

219. コアオハナムグリ *Gametis jucunda* (Faldernann, 1835)

北原地区, 2ex., 6. V .2019, 1ex., 22. VI .2019

ハナムグリの仲間では最も普通にみられる.

220. クロハナムグリ *Glycyphana (Glycyphana) fulvistemma*
Motschulsky, 1860

北原地区, 1ex., 24. V .2020

公園のソメイヨシノに飛来していた.

221. シロテンハナムグリ *Protaetia (Calopototia) orientalis*
submarmorea (Burmeister, 1842)

北原地区, 1ex., 21. VII .2020

多い.

222. シラホシハナムグリ 基亜種 *Protaetia (Liocola)*
brevitarsis brevitarsis (Lewis, 1879)

仁寿山, 1ex., 22. VI .2019, 1ex., 11. VIII .2019

北原地区, 1ex., 20. VII .2021

前種と同様の環境に見られるがやや少ない

223. ヒラタハナムグリ 基亜種 *Nipponovalgus angusticollis*
angusticollis (Waterhouse, 1875)

御旅山, 2exs., 18. I .2020

冬場に腐朽材で集団越冬する個体を見ることが多い.

Family EUCINETIDAE Lacordaire, 1857

マルハナノミダマシ科

224. ツマアカマルハナノミダマシ *Eucinetus haemorrhoidalis*
(Genmar, 1818)

北原地区, 1ex., 29. V .2021 LT, 1ex., 10. VII .2021 LT

県下での記録は少ない. 畑地の灯火でえられるがあまり多くない.

Family SCIRTIDAE Fleming, 1821

マルハナノミ科

225. キムネマルハナノミ *Sacodes protecta* Harold, 1880

御旅山, 1ex., 25. IV .2020

林道沿いのネズミモチで多数の個体が確認された.

226. トビイロマルハナノミ *Scirtes japonicus* (Kiesenwetter,
1874)

白浜海岸, 1ex., 17. VII .2021 LT

227. チビマルハナノミ属の一種 *Contacyphon* sp.

北原地区, 1ex., 28. VII .2020 LT

Family BUPRESTIDAE Leach, 1815

タマムシ科

228. ヤマトタマムシ 基亜種 *Chrysochroa fulgidissima fulgidissima*
(Schönherr, 1817)

御旅山, 1ex., 27. VII .2019

樹冠部を飛ぶので普段あまり見る機会が少ない.

229. ヒメヒラタタマムシ *Anthaxia (Haplanthaxia) proteus*
E. Saunders, 1873

仁寿山, 1ex., 9. VI .2020, 1ex., 14. VI .2020

アラカシからのピーティングでえられたが, 山を少し上ったところに松林がありそこから飛来したものと思われる.

230. ムツボシタマムシ *Chrysobothris (Chrysobothris)*
succedanea E. Saunders, 1873

仁寿山, 1ex., 14. VI .2020

松林でえられた.

231. ムネアカナガタマムシ *Agrilus imitans* Lewis, 1893

御旅山, 1ex., 2. V .2020, 1ex., 8. V .2020

県下の記録は少ない.

232. ツヤケシナガタマムシ *Agrilus nipponigena*
Obenberger, 1935

北原地区, 1ex., 21. VI .2019

御旅山, 1ex., 10. V .2020

仁寿山, 2exs., 7. V .2021

県下の記録は少ない. 仁寿山では林道沿いの伐採された柿の木の切り株生えた新芽に発生していた.

233. シラケナガタマムシ *Agrilus pilosovittatus* E. Saunders, 1873

仁寿山, 1ex., 22. IV .2020

御旅山, 1ex., 22. V .2020, 1ex., 31. V .2020

フジに普通.

234. ミツボシナガタマムシ *Agrilus trinotatus* E. Saunders, 1873

仁寿山, 2exs., 17. IV .2020, 1ex., 19. IV .2020, 1ex., 4. V .2020,

1ex., 29. III .2021

御旅山, 1ex., 6. V .2020

県下での記録は少ないが, 林縁のアラカシに多産する.

235. ムネアカチビナカボソタマムシ 基亜種 *Nalanda*
rutilicollis rutilicollis (Obenberger, 1914)

北原地区, 1ex., 18. VII .2020, 1ex., 1. VII .2021

御旅山, 1ex., 5. VII .2019

県下の記録は少ない。アカメガシワで見られるがあまり多くはない。

236. ルイスヒラタチビダマムシ *Habroloma (Parahabroloma)*

lewisii (E. Saunders, 1873)

北原地区, 1ex., 3. V .2019

御旅山, 1ex., 21. IV .2020

仁寿山, 2exs., 27. IV .2020

市川河川敷, 1ex., 10. IV .2021

分布が局所的で全国的にも少ない種。水辺近くのノイバラに多くみられる。

237. クズノチビタマムシ *Trachys auricollis* E. Saunders, 1873

御旅山, 1ex., 3. VI .2019

クズに多い。

238. ヤナギチビタマムシ *Trachys minuta salicis* (Lewis, 1893)

市川河川敷, 2exs., 24. IV .2020

河川敷のジャヤナギでえられた。

239. ヤノナミガタチビタマムシ *Trachys yanoi* Y. Kurosawa, 1959

北原地区, 1ex., 29. IV .2020

兼田地区, 1ex., 1. V .2020

御旅山, 1ex., 15. VI .2019, 1ex., 2. V .2020

仁寿山, 1ex., 6. IV .2021

ケヤキに多産する。

Family BYRRHIDAE Latreille, 1804

マルトゲムシ科

240. ドウガネツヤマルトゲムシ *Lamprobyrrhulus hayashii* Fiori, 1967

御旅山, 2exs., 20. II .2020

林道沿いの岩肌に生えた苔に発生していた。

241. シラフチビマルトゲムシ *Simplocaria (Simplocaria)*

hispidula Fairmaire, 1886

北原地区, 1ex., 30. IV .2021, 1ex., 16. IV .2021

兼田地区, 1ex., 6. IV .2021

畑の水際にとまっていることが多い。

242. チビマルトゲムシ属の一種 *Simplocaria* sp.

仁寿山, 1ex., 19. IV .2020

白浜海岸, 1ex., 30. IV .2021

243. ミナミケモンマルトゲムシ *Microchaetes* sp.

北原地区, 1ex., 21. VII .2020 LT

白浜海岸, 1ex., 15. VI .2020

本種はオーストラリア周辺からの外来種と考えられており2000年代中頃から日本各地での確認が報告されている。県下でも吉田(2008)から記録されている。北原地区での個体は庭の灯火に飛来したもので、飛来する数も少なくない。灯火でえられる個体はすべて泥にまみれており日中は泥の中に潜っているものと思われる。

Family ELMIDAE Curtis, 1830

ヒメドロムシ科

244. キスジミゾドロムシ *Ordobrevia foveicollis* (Schönfeldt, 1888)

北原地区, 1ex., 29. VII .2020 LT

市川河川敷, 1ex., 18. VI .2021 LT

灯火に飛来するがイブシアシナガドロムシやアワツヤドロムシに比べるとより湿気が多い状況を好み、梅雨が終わると同時に見られなくなる。北原地区内には市川から取水した水路がめぐらされており、本種含めヒメドロムシ科やヒラタドロムシ科の仲間が市川から水路に沿って生息しているようである。

245. ヨコミゾドロムシ *Leptelmis gracilis gracilis* Sharp, 1888

兼田地区, 1ex., 11. X .2020

絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

兵庫県版レッドリスト(2012):Cランク

県下では主要河川に広く分布しているとされるが本個体は住宅地を流れる用水路からえられた。

246. イブシアシナガドロムシ *Stenelmis nipponica* Nomura, 1958

北原地区, 2exs., 26. VII .2020 LT, 1ex., 29. VII .2020 LT, 1ex., 29. VII .2021 LT

兼田地区, 1ex., 11. X .2020

灯火によく飛来する。発生時期はキスジミゾドロムシより長く9月に入っても灯火に飛んでくることがある。

247. アシナガミゾドロムシ *Stenelmis vulgaris* Nomura, 1958

北原地区, 2ex., 29. VII .2021 LT

市川河川敷, 1ex., 18. VI .2021 LT

キスジミゾドロムシ同様、梅雨の間は灯火への飛来が確認されるがやや少ない。

248. アワツヤドロムシ *Zaitzevia awana* (Kôno, 1934)

北原地区, 2exs., 29. VII .2020 LT

灯火に飛来するヒメドロムシの仲間では最も個体数が多い。

Family LIMNICHIDAE Erichson, 1846

チビドロムシ科

249. チビドロムシ *Limnichus lewisi* Nakane, 1963

北原地区, 6exs., 21. VII -17. VIII .2020 LT,

灯火に普通.

Family HETERO CERIDAE MacLeay, 1825

ナガドロムシ科

250. ナガドロムシ *Heterocerus fenestratus* Thunberg, 1784
北原地区, 2exs., 29. V .2021 LT
灯火に来るがあまり多くない.

Family PSEPHENIDAE Lacordaire, 1854

ヒラタドロムシ科

251. チビヒゲナガハナノミ 基亜種 *Ectopria opaca opaca* (Kiesenwetter, 1874)
北原地区, 2exs., 3. V .2019, 2exs., 28. IV .2020, 1ex., 30. V .2020
兼田地区, 1ex., 13. V .2020
水路沿いの樹木に多い.

252. マルヒラタドロムシ *Eubrianax ramicornis* Kiesenwetter, 1874
兼田地区, 1ex., 13. V .2020
市川河川敷, 1ex., 25. I .2020 幼採, 1ex., 13. V .2020, 1ex., 30. V .2020
県下での記録は少ない. 次種と同所に混生し, 市川のほか水路沿いでも普通にみられる.

253. クシヒゲマルヒラタドロムシ *Eubrianax granicollis* Lewis, 1895
市川河川敷, 1ex., 24. V .2020, 1ex., 30. V .2020
前種と同様の環境でえられる.

254. マスダチビヒラタドロムシ *Malacopsephenoides japonicus* (Masuda, 1935)
市川河川敷, 1ex., 24. V .2020, 1ex., 30. V .2020
県下での記録は少ないとされるが河川敷での個体数は多い. また灯火にもよく集まる.

255. ヒラタドロムシ *Mataeopsephus japonicus* (Matsumura, 1915)
北原地区, 1ex., 28. VII .2020
市川河川敷, 1ex., 30. V .2020
県下では普通とされるが, ほかのヒラタドロムシの仲間と比べ見かける機会は少ない.

Family PTILODACTYLIDAE Laporte, 1836

ナガハナノミ科

256. ヒゲナガハナノミ *Paralichas pectinatus* (Kiesenwetter, 1874)
北原地区, 2exs., 3. V .2019
水路沿いの樹木に普通.

Family EUCNEMIDAE Eschscholtz, 1829

コメツキダマシ科

257. エノキコメツキダマシ *Dyscharachthis amplicollis* (Fleutiaux, 1923)
御旅山, 1ex., 2. VIII .2019
ケヤキの幹にとまっていた.

Family THROSCIDAE Laporte, 1840

ヒゲブトコメツキ科

258. チャイロヒゲブトコメツキ *Trixagus turgidus* Hisamatsu, 1985
仁寿山, 1ex., 1. VII .2021

Family ELATERIDAE Leach, 1815

コメツキムシ科

259. サビキコリ *Agrypnus binodulus binodulus* (Motschulsky, 1861)
北原地区, 2ex., 28. V .2019
仁寿山, 1ex., 17. IV .2020
耕作地・雑木林の各所に普通.

260. ハマベヒメサビキコリ 基亜種 *Agrypnus miyamotoi miyamotoi* (Nakane & Kishii, 1955)
白浜海岸, 1ex., 15. VI .2020, 1ex., 4. VI .2020
海浜の草地に普通.

261. ヒメサビキコリ *Agrypnus scrofa* (Candèze, 1873)
北原地区, 1ex., 19. IV .2019
兼田地区, 1ex., 19. III .2020
御旅山, 1ex., 30. VIII .2019
あぜ道でコスナゴミムシダマシと同時に見つかることが多い.

262. オオフトモンウバタマコメツキ 本土亜種 *Cryptalaus larvatus pini* (Lewis, 1894)
仁寿山, 1ex., 16. VII .2020
雑木林に普通.

263. マダラチビコメツキ *Drasterius agnatus* (Candèze, 1873)
北原地区, 1ex., 18. V .2019, 1ex., 17. VIII .2020
耕作地の地表に多い.

264. ヒゲコメツキ 基亜種 *Pectocera hige hige* Kishii, 1993
北原地区, 1ex., 28. V .2019
御旅山, 1ex., 29. V .2019
雑木林に多いが, 雄を見たことがない.

265. ムラサキヒメカネコメツキ *Limonius eximia* Lewis,

- 1894
御旅山, 1ex., 19. IV .2020, 1ex., 11. V .2021
仁寿山, 1ex., 29. III .2021
県下での記録は少ない。
266. *Quasimus* 属の一種 *Quasimus* sp.
御旅山, 1ex., 19. IV .2020
アラカシからのピーティングでえられた。
267. キバネホソコメツキ *Dolerosomus gracilis* (Candèze, 1873)
御旅山, 2exs., 19. IV .2020
仁寿山, 1ex., 19. IV .2020, 1ex., 26. V .2020, 1ex., 15. IV .2021
雑木林に多い。
268. ヒゲナガコメツキ 基亜種 *Mulsanteus junior junior* (Candèze, 1873)
仁寿山, 1ex., 12. VI .2020
雑木林で見られるがあまり多くない。
269. クロクシコメツキ 基亜種 *Melanotus (Melanotus) senilis senilis* Candèze, 1865
北原地区, 1ex., 6. V .2019, 1ex., 30. V .2020
市川河川敷, 1ex., 1. V .2020
畑やあぜ道に普通。
270. アカアシオオクシコメツキ 基亜種 *Melanotus (Spheniscosomus) cete cete* Candèze, 1860
北原地区, 1ex., 28. IV .2019
御旅山, 1ex., 11. VIII .2019, 1ex., 2. V .2020
畑や雑木林に多い。
271. クロハナコメツキ *Cardiophorus (Cardiophorus) pinguis* Lewis, 1894
北原地区, 1ex., 2. V .2019
御旅山, 1ex., 19. IV .2020
272. アカアシハナコメツキ 基亜種 *Platynychus (Displatynychus) adjutor adjutor* (Candèze, 1873)
御旅山, 1ex., 31. V .2021
- Family LYCIDAE Laporte, 1836
ベニボタル科
273. ミスジヒシベニボタル *Benibotarus (Benibotarus) spinicoxis* (Kiesenwetter, 1874)
仁寿山, 1ex., 20. IV .2021
274. ベニボタル *Lycostomus (Lycostomus) modestus* (Kiesenwetter, 1874)
北原地区, 1ex., 8. VI .2019
275. フトベニボタル 基亜種 *Lycostomus (Lycostomus) semiellipticus semiellipticus* Reitter, 1910
仁寿山, 1ex., 6. VI .2021
山道沿いのササ類よりえられた。県下では少ないようである。
276. クロハナボタル *Plateros coracinus coracinus* (Kiesenwetter, 1874)
御旅山, 1ex., 30. V .2020, 1ex., 6. VI .2020, 1ex., 9. VI .2020, 1ex., 30. IV .2021
仁寿山, 1ex., 30. IV .2021
雑木林に多い。
277. チョウセンハナボタル *Plateros planatus planatus* Waterhouse, 1879
北原地区, 1ex., 13. IX .2021 LT
畑地の灯火でえられた。
278. ベニボタル科の一種 *Lycidae* sp.
御旅山, 1ex., 24. V .2020
水路沿いのカシからのピーティング。
- Family CANTHARIDAE Imhoff, 1856
ジョウカイボン科
279. ムネアカフトジョウカイ *Cantharis (Cyrtomoptila) curtata* Kiesenwetter, 1874
北原地区, 2exs., 19. IV .2019, 1ex., 10. IV .2021
あぜ道に普通。
280. ジョウカイボン 西日本亜種 *Lycocerus suturellus luteipennis* (Kiesenwetter, 1874)
御旅山, 2exs., 1. V .2019
市川河川敷, 1ex., 1. V .2020
雑木林, 耕作地, 河川敷と各所に多い。
281. セボシジョウカイ *Lycocerus vitellinus* (Kiesenwetter, 1874)
御旅山, 2exs., 1. V .2019
仁寿山, 1ex., 25. IV .2021
雑木林に多い。
282. カワラニンフジョウカイ *Asiopodabrus (Asiopodabrus) owarianus* (Nakane & Makino, 1990)
市川河川敷, 1ex., 13. V .2021
河川敷のクズからえられた。
283. クロヒメクビボソジョウカイ 基亜種 *Asiopodabrus (Asiopodabrus) malthinoides malthinoides* (Kiesenwetter,

1874)

北原地区, 1ex., 3. V .2019

御旅山, 1ex., 22. IV .2020

仁寿山, 1ex., 19. IV .2020, 1ex., 25. IV .2020

雑木林に多い.

284. クロスジツマキジョウカイ *Malthinus (Malthinus) mucoreus* Kiesenwetter, 1879
仁寿山, 1ex., 1. V .2019

Family DERMESTIDAE Latreille, 1804

カツオブシムシ科

285. カドマルカツオブシムシ *Dermestes (Dermestes) haemorrhoidalis* Küster, 1852
北原地区, 1ex., 25. VI .2021 LT

286. ヒメマルカツオブシムシ *Anthrenus (Nathrenus) verbasci* (Linnaeus, 1767)
北原地区, 1ex., 19. IV .2019
御旅山, 1ex., 26. IV .2020
仁寿山, 1ex., 18. V .2020
あまりうれしくないが家屋内で普通にみられる.

287. カマキリタマゴカツオブシムシ *Thaumaglossa rufocapillata* Redtenbacher, 1868
仁寿山, 2exs., 26. V .2020, 1ex., 6. VI .2020
アカメガシワの葉上で見つかることが多い.

Family BOSTRICHIDAE Latreille, 1802

ナガシクイムシ科

288. セマダラナガシクイ *Lichenophanes carinipennis* (Lewis, 1896)
仁寿山, 2exs., 26. VI .2020, 1ex., 1. VII .2020
サクラ立ち枯れよりえられた. 灯火にもよく飛来する.

289. カキノフタトゲナガシクイ *Sinoxylon japonicum* Lesne, 1895
仁寿山, 1ex., 21. IV .2020, 1ex., 29. III .2021
林道沿いのアラカシからえられた.

Family PTINIDAE Latreille, 1802

ヒョウホンムシ科

290. ケジロヒョウホンムシ 基亜種 *Hanumanus senilis senilis* (Kiesenwetter, 1879)
仁寿山, 1ex., 31. I .2021
カラカラに乾燥した松の枯れ枝から採集した幼虫を羽化 (6. V .2021 羽化個体を確認) させた個体. 材はシロアリが破棄したものらしく, 内部はフレーク状であった.

291. ナガヒョウホンムシ *Ptinus (Cypnoderes) japonicus* Reitter, 1877

北原地区, 1ex., 1. I .2019, 1ex., 22. II .2020, 1ex., 5. XII .2020, 1ex., 1. III .2021

家屋内で普通にみられるが, ヒメマルカツオブシムシに比べると屋内より玄関周りに多い. 真冬でも活動している.

292. ヒメトサカシバンムシ *Anhedobia capucina* (Reitter, 1877)
北原地区, 2exs., 25. V .2019, 1ex., 29. IV .2020
御旅山, 1ex., 21. IV .2020
仁寿山, 1ex., 23. IV .2020, 1ex., 29. IV .2020
雑木林に多い.

293. ツツガタシバンムシ *Gastrallus affinis* Sakai, 1984
御旅山, 1ex., 9. VI .2020
クリの葉上よりえられた.

294. ヒサマツシバンムシ *Hisamatsua japonica* Sakai, 1977
御旅山, 1ex., 22. V .2021
愛媛県松山市城山を基準産地とする 1 属 1 種からなる甲虫で, 照葉樹林帯の種である. 全国的に記録が少ない種で近畿地方からは京都府と大阪府の記録 (斎藤, 2014) がある. 本県での記録は見当たらず初記録となると思われる.

295. セスジシバンムシ亜科の一種 *Xyletininae* sp.
北原地区, 1ex., 28. VII .2020 LT

Family BIPHYLIDAE LeConte, 1861

ムクゲキスイムシ科

296. ムナビロムクゲキスイ *Biphyllus aequalis* (Reitter, 1889)
仁寿山, 1ex., -. V .2020

297. ナガムクゲキスイ *Biphyllus* sp.4
仁寿山, 1ex., 1. VII .2020
日本産ヒラタムシ上科図説 第2巻 (平野, 2010.) にてナガムクゲキスイ *Biphyllus* sp.4 として紹介されている種で岐阜県から記録されている. インターネット上では採集記録がそこそこ出てくるのでそれなりに各地に分布しているのかもしれない. サクラ立ち枯れよりえられた.

Family MELYRIDAE Leach, 1815

ジョウカイモドキ科

298. ヒロオビジョウカイモドキ *Intybia histrio* (Kiesenwetter, 1874)
北原地区, 1ex., 7. VII .2019
柑橘類からえられた.

299. キアシオビジョウカイモドキ *Intybia pelegri*
pelegri (Pic, 1910)
 北原地区, 1ex., 7. VI .2020, 1ex., 26. VI .2020
 耕作地の藁束の中からえられた.

300. クロキオビジョウカイモドキ *Intybia niponica*
 (Lewis, 1895)
 白浜海岸, 1ex., 17. VII .2021 LT

301. ルリキオビジョウカイモドキ *Intybia takaraensis*
 (Nakane, 1955)
 北原地区, 1ex., 15. VI .2019, 1ex., 21. VI .2020
 畑の草地で見られる.

302. ツマキアオジョウカイモドキ *Malachius*
(Malachius) prolongatus Motschulsky, 1866
 北原地区, 1ex., 3. V .2019
 仁寿山, 1ex., 19. IV .2020
 市川河川敷, 1ex., 24. IV .2020
 各所に多い.

303. クギヌキヒメジョウカイモドキ *Kuatunia oblongula*
 (Kiesenwetter, 1874)
 仁寿山, 1ex., 25. IV .2021
 山道沿いのエノキからえた.

304. ケシジョウカイモドキ *Dasytes (Mesodasytes) vulgaris*
 Nakane, 1963
 仁寿山, 1ex., 5. V .2020

Family HELOTIDAE Chapuis, 1876
 オオキシムシ科

305. ヨツボシオオキスイ *Helota gemmata* Gorham, 1874
 北原地区, 2exs., 31. V .2019, 1ex., 9. V .2020
 公園のカシの樹液でえられた. 雑木林でも普通.

Family EROTYLIDAE Latreille, 1802
 オオキノコムシ科

306. ルリオオキノコ *Aulacochilus sibiricus bedeli* Harold,
 1880
 北原地区, 2exs., 25. I .2020
 公園の切り株に生えたサルノコシカケでは多く見つかるが, 雑
 木林内では少ない.

307. カタモンオオキノコ *Aulacochilus japonicus* Crotch, 1873
 御旅山, 2exs., 16. VIII .2019
 カワラタケに多い.

308. ヒメオビオオキノコ *Episcapha (Episcapha) fortunei*
fortunei Crotch, 1873
 御旅山, 1ex., 15. VII .2019, 1ex., 10. VIII .2019
 仁寿山, 1ex., 9. IX .2020
 カワラタケに普通.

309. タイショウオオキノコ *Episcapha (Psiloscapa) morawitzi*
 (Solsky, 1871)
 仁寿山, 1ex., 21. IX .2020
Episcapha 属の仲間では珍しいとされる種で県下の記録も少な
 い. 伐採木のカワラタケよりえられた.

310. カタボシエグリオオキノコ *Megalodacne bellula*
 Lewis, 1883
 御旅山, 1ex., 2. VIII .2019, 1ex., 22. VII .2020
 マンネンタケやカワラタケにみられ個体数も非常に多い.

311. アカハバビロオオキノコ *Neotriplax lewisii* (Crotch, 1873)
 御旅山, 3exs., 16. XI .2019, 1ex., 17. XI .2019, 1ex., 14. XI .2021
 仁寿山, 1ex., 11. V .2020
 カワラタケに多い.

312. ホソチビオオキノコ *Triplax japonica* Crotch, 1873
 御旅山, 1ex., 2. VI .2020
 公園の桜の葉からえられた.

Family MONOTOMIDAE Laporte, 1840
 ネスイムシ科

313. トビイロデオネスイ *Monotoma picipes* Herbst, 1793
 北原地区, 2exs., 10. V .2020, 1ex., 21. VI .2020, 1ex., 29. VIII .2020,
 1ex., 19. IX .2020, 1ex., 31. V .2021 LT
 畑の藁束や枯草に多い.

314. トゲムネデオネスイ *Monotoma spinicollis* Aubé, 1837
 北原地区, 1ex., 21. VI .2020
 前種と同じ藁束からえたが少ない.

Family CRYPTOPHAGIDAE Kirby, 1826
 キスイムシ科

315. クロモンキスイ *Cryptophagus decoratus* Reitter, 1874
 北原地区, 1ex., 11. IV .2020
 御旅山, 1ex., 23. IV .2020, 12exs., 10. II .2021 BPT
 仁寿山, 1ex., 12. III .2020, 1ex., 18. V .2020, 1ex., 7. V .2021
 落葉層に多い.

316. ウスイロキスイ *Cryptophagus decoratus* Reitter, 1874
 御旅山, 1ex., 17. IV .2020 BPT, 1ex., 2. V .2020

317. クロノコムネキスイ *Henoticus sinensis* Bruce, 1943
 仁寿山, 1ex., 18. V .2020
 ネズミモチの花からのピーティングでえられた.
318. ケナガセマルキスイ *Atomaria (Anchicera) horridula*
 Reitter, 1877
 北原地区, 2exs, 9. IX .2020 LT, 1ex., 13. IX .2020 LT, 1ex.,
 19. IX .2020 LT, 1ex., 7. II .2021 LT
 耕作地の灯火に多い.
319. マルガタキスイ *Curelius japonicus* (Reitter, 1878)
 北原地区, 2exs., 26. VII .2020 LT, 1ex., 28. VII .2020 LT, 1ex.,
 17. VIII .2020 LT
 耕作地の灯火に多い.
320. セマルキスイムシ亜科の一種 *Atomariinae* sp.
 北原地区, 1ex., 8. IX .2021 LT
- Family SILVANIDAE Kirby, 1837
 ホソヒラタムシ科
321. ミツモンセマルヒラタムシ *Psammoecus trimaculatus*
 (Motschulsky, 1858)
 北原地区, 2exs, 26. VII .2020 LT, 1ex., 1. VIII .2020 LT, 1ex.,
 17. VIII .2020 LT, 1ex., 19. IX .2020
 仁寿山, 1ex., 12. VI .2020
 市川河川敷, 1ex., 18. IX .2021 LT
 畑の枯れ草や藁束に多く, 灯火にもよく集まる.
322. カドコブホソヒラタムシ *Ahasverus advena* (Waltl, 1834)
 北原地区, 2exs., 19. IX .2020
 畑の枯れ草からの篩でえられた.
323. マルムネホソヒラタムシ *Cryptophagus decoratus*
 Reitter, 1874
 北原地区, 1ex., 2019
324. ホソムネホソヒラタムシ *Silvanoprus angusticollis*
 (Reitter, 1876)
 北原地区, 1ex., 29. VIII .2020
 畑の枯れ草下からえられた.
325. アタマホソヒラタムシ *Silvanoprus cephalotes*
 (Reitter, 1876)
 北原地区, 1ex, 18. IX .2021 LT
- Family LAEMOPHLOEIDAE Ganglbauer, 1899
 チビヒラタムシ科
326. キボシチビヒラタムシ *Laemophloeus submonilis*
 Reitter, 1889
 仁寿山, 1ex., 5. V .2020, 1ex., 1. VII .2020
 サクラ立ち枯れよりえられた. やや少ない.
327. チャイロホソチビヒラタムシ *Leptophloeus* sp.
 仁寿山, 1ex., 26. VI .2020
 日本産ヒラタムシ上科図説第1巻(平野, 2009)にてチャイロ
 ホソチビヒラタムシ(仮称) *Leptophloeus* sp.1として紹介さ
 れている種で東京都と和歌山県から記録されている. アラカシ
 伐採木からえられた.
328. オオキバチビヒラタムシ *Nipponophloeus dorcoides*
 (Reitter, 1874)
 仁寿山, 1ex., 12. V .2020, 1ex., 31. V .2020
 サクラ立ち枯れよりえられた. やや少ない.
329. ルイスチビヒラタムシ *Notolaemus lewisi* (Reitter, 1889)
 仁寿山, 2exs., 20. V .2020, 1ex., 26. VI .2020
 サクラ立ち枯れよりえられた. 多い.
330. カドムネチビヒラタムシ *Placonotus testaceus*
 (Fabricius, 1787)
 仁寿山, 1ex., 6. V .2020
 アベマキ伐採木よりえられた. 樹皮裏に多い.
331. ウスグロチビヒラタムシ *Pseudophloeus fuscicornis*
 (Reitter, 1874)
 仁寿山, 2exs, 20. V .2020, 2exs., 26. VI .2020
 サクラ立ち枯れよりえられた. 多い.
- Family NITIDULIDAE Latreille, 1802
 ケシキスイ科
332. ヒメヒラタケシキスイ *Epuraea (Epuraea) domina*
 Reitter, 1873
 仁寿山, 1ex., 4. V .2020, 1ex., 18. V .2020
 ネズミモチの花からのピーティングでえられた.
333. ホソキヒラタケシキスイ *Epuraea (Epuraea)*
oblonga (Herbst, 1793)
 北原地区, 1ex., 14. V .2021 LT
334. ツヤチビヒラタケシキスイ *Epuraea (Haptoncus)*
concolor (Murray, 1864)
 北原地区, 2exs., 21. VIII .2020 LT, 2ex., 21. VI .2021 LT
 灯火に多い.
335. モンチビヒラタケシキスイ *Epuraea (Haptoncus)*

- ocularis* (Fairmaire, 1849)
北原地区, 1ex., 21. VIII .2020
仁寿山, 1ex., 12. V .2020
腐ったジャガイモやタケノコからえられた。
336. クリイロデオキスイ *Carpophilus (Carpophilus) marginellus* Motschulsky, 1858
北原地区, 1ex, IX .2019
御旅山, 1ex, 22. V .2020
仁寿山, 1ex., 22. V .2020 BPT, 1ex., 11. VII .2020
ヌカを使用したベイトや樹液でえられた。
337. ガイマイデオキスイ *Carpophilus (Myothorax) dimidiatus* (Fabricius, 1792)
北原地区, 1ex., 19. IX .2020, 1ex., 10. VIII .2020, 2exs., 21. VIII .2020
LT, 1ex., 26. IX .2020, 1ex., 7. II .2021, 1ex., 11. IX .2021
仁寿山, 1ex., 11. VII .2020
畑に多く腐った野菜や地中に埋めたヌカからえられた。また、
家屋内にも浸入する。
338. カタベニデオキスイ *Urophorus (Anophorus) humeralis* (Fabricius, 1798)
北原地区, 1ex., 21. VIII .2020, 1ex., 26. IX .2020
畑に普通で腐った野菜や地中に埋めたヌカからえられた。
339. コゲチャセマルケシキスイ *Amphicrossus japonicus* Reitter, 1873
御旅山, 2exs, 22. V .2020 BPT
犬糞トラップでえられた。
340. ナガコゲチャケシキスイ *Amphicrossus lewisi* Reitter, 1873
御旅山, 1ex., 19. V .2019, 1ex., 21. VI .2019 1ex., 28. IX .2020,
1ex., 11. V .2020
樹液に多い。
341. キムネチビケシキスイ *Meligethes (Odonthogethes) denticulatus* (Heer, 1841)
仁寿山, 14. VI .2020
342. マルケシキスイ属の一種 *Pallodes* sp.
御旅山, 1ex, 4. IX .2021 BPT
犬糞トラップでえられた。
343. アカマダラケシキスイ *Lasiodites picta* (MacLeay, 1825)
御旅山, 1ex, 6. VIII .2019 BPT
犬糞トラップでえられた。
344. ヘリグロヒラタケシキスイ *Omosita discoidea* (Fabricius, 1775)
仁寿山, 1ex., 17. IV .2020 BPT, 1ex., 22. IV .2020 BPT
落葉層に普通。
345. ウスオビカケシキスイ *Pocadites dilatimanus* (Reitter, 1877)
御旅山, 1ex, 9. IX .2020
サルノコシカケからえられた。
346. クロモンカケシキスイ *Pocadius nobilis* Reitter, 1873
御旅山, 1ex., 5. V .2020
ノウタケからえられた。
347. オオキマダラケシキスイ *Soronia fracta* Reitter, 1884
御旅山, 1ex., 29. VI .2019, 1ex., 22. V .2020
樹液に多い。
348. キマダラケシキスイ *Soronia grisea* (Linnaeus, 1758)
御旅山, 1ex, 26. V .2020
樹液に普通。
349. ヒメアカマダラケシキスイ *Lasiodites sadanarii* S-T. Hisamatsu, 2005
北原地区, 1ex., 2. VI .2020, 1ex., 29. VII .2021
御旅山, 1ex., 28. IX .2019 BPT, 1ex., 5. V .2020, 10. II .2020
BPT, 1ex., 31. V .2021 BPT
仁寿山, 1ex., 12. III .2020 Litter, 13. XI .2020
落葉層に多い。
350. ルイスコオニケシキスイ *Cryptarcha lewisi* Reitter, 1873
御旅山, 1ex., 28. IX .2019, 1ex., 22. V .2020
樹液に普通。
351. コヨツボシケシキスイ *Glischrochilus (Librodor) ipsoides* (Reitter, 1879)
御旅山, 1ex., 30. VIII .2019, 1ex., 2. V .2020
仁寿山, 2exs, 17. IV .2020
樹液に多い。
352. ヨツボシケシキスイ *Glischrochilus (Librodor) japonicus* (Motschulsky, 1858)
御旅山, 2exs., 7. V .2019
樹液に多い。
- Family DISCOLOMATIDAE Horn, 1878
ミジンムシダマシ科
353. クロミジンムシダマシ *Aphanocephalus hemisphericus* Wollaston, 1873

御旅山, 1ex., 15. III .2020 litter
 仁寿山, 2exs, 12. III .2020 litter, 2exs., 1. V .2020, 1ex., 12. V .2020,
 1ex., 21. V .2020 BPT, 1ex., 22. V .2020 BPT
 落葉層や倒木裏に多い。

Family ENDOMYCHIDAE Leach, 1815

テントウムシダマシ科

354. ルリテントウダマシ *Endomychus gorhami* (Lewis, 1874)
 仁寿山, 1ex., 11. V .2020
 本科中最も普通といわれるが思いのほか見つからない。

355. トウヨウダナエテントウダマシ *Danae orientalis*
 (Gorham, 1873)
 仁寿山, 1ex, 12. V .2020
 アベマキ伐採木上にいたもの。

356. クロモンケブカテントウダマシ *Ectomychus musculus*
 (Gorham, 1887)
 御旅山, 1ex., 19. III .2020 litter
 竹率が高い落葉層からの篩でえられた。

357. ヨツボシテントウダマシ *Ancylopus pictus asiaticus*
 Strohecker, 1972
 北原地区, 1ex., 1. VIII .2020
 兼田地区, 1ex., 19. III .2020
 仁寿山, 1ex., 6. VI .2020
 白浜海岸, 1ex., 15. VI .2020
 本科で最も普通にみられる種で耕作地、河川敷、林内と床でも
 多い。

358. フチトリツヤテントウダマシ *Lycoperdina dux*
 Gorham, 1873
 御旅山, 1ex., 15. XI .2019, 1ex., 16. XI .2019
 ノウタケより得られたもの。

359. セグロツヤテントウダマシ *Lycoperdina mandarinaea*
 Gerstaecker, 1858
 北原地区, 1ex., 10. VII .2021 LT

360. キボシテントウダマシ *Mycetina amabilis* Gorham, 1873
 仁寿山, 1ex., 9. VI .2020
 雑木林横の駐車場街灯下でえられた。

Family ANAMORPHINDAE Strohecker, 1953

マルテントウムシダマシ科

361. コマルガタテントウダマシ *Idiophyes niponensis*
 (Gorham, 1874)

北原地区, 1ex, 21. VI .2020
 畑の藁束からえられた。県下での記録は少ない。

Family COCCINELLIDAE Latreille, 1807

テントウムシ科

362. ミスジキイロテントウ *Brumoides ohtai* Miyatake, 1970
 北原地区, 1ex, 6. VII .2019
 1985年に沖縄, 1986年に大阪で確認された(佐々治, 1992)
 外来種で, 県下では2009年に神戸市(山本, 2009)に確認さ
 れた。水路沿いでのビーティングでえられた。

363. ヒメアカホシテントウ *Chilocorus renipustulatus*
 (Scriba, 1791)
 御旅山, 1ex., 22. V .2020
 林道沿いの笹からえられた。

364. アカホシテントウ *Chilocorus rubidus* Hope, 1831
 御旅山, 1ex., 25. VIII .2019
 アベマキにとまっていたもの。住宅地の梅の木にも多い。

365. ムーアシロホシテントウ *Calvia muiri* (Timberlake, 1943)
 御旅山, 1ex., 19. IV .2019, 1ex., 8. V .2019
 林道沿いのビーティングで普通にみられる。

366. ナナホシテントウ *Coccinella (Coccinella) septempunctata*
 Linnaeus, 1758
 北原地区, 2exs., 19. IV .2019
 本科中最も普通にみられる種で草地に多い。

367. マクガタテントウ *Coccinula crotchii* (Lewis, 1897)
 北原地区, 1ex., 16. VII .2020
 白浜海岸, 1ex., 15. VI .2020
 河川敷に見られる種といわれるが川から離れた水路沿いや、住
 宅地近くにある草地からも見つかる。

368. ナミテントウ *Harmonia axyridis* (Pallas, 1773)
 北原地区, 1ex., 20. IV .2019, 1ex., 28. VII .2019, 1ex., 15. XI .2019
 御旅山, 2exs., 15. XI .2019, 1ex., 17. XI .2019, 1ex., 21. IV .2020,
 1ex., 7. V .2020
 仁寿山, 1ex., 17. IV .2020, 1ex., 10. IV .2021
 ナナホシテントウ同様最も普通な種。ナナホシテントウよりや
 や林縁に見られる。

369. ジュウサンホシテントウ *Hippodamia (Hemisphaerica)*
tredecimpunctata (Linnaeus, 1758)
 北原地区, 1ex., 25. VII .2020, 1ex., 2. VII .2021 LT
 兵庫県版レッドリスト(2012): 要注目種

平地の湿地にあるヨシ群に生息するとされるが、ヨシ群がない耕作地の草地で普通に見られ、灯火にも多く飛来する。

370. ダンダラテントウ *Menochilus sexmaculata* (Fabricius, 1781)

北原地区, 1ex., 6. VII. 2019

耕作地に普通で住宅地でも見られる。斑紋の変化が著しい種であるが北原地区では四紋型しか見られない。

371. ヒメカメノコテントウ *Propylea japonica* (Thunberg, 1781)

北原地区, 1ex., 20. IV. 2019

仁寿山, 1ex., 23. IV. 2020

普通に見られる種で耕作地に多い。

372. ムネアカオオクロテントウ *Synona consanguinea* Poorani, Ślipiński & Booth, 2008

兼田地区, 1ex., 19. IV. 2020

国内では 2014 年に東京都で初めて確認された外来種で関西では 2015 年に大阪で記録され、県下では 2018 年に飾磨区で記録がされた(初宿, 2021)。本種はマルカメムシの幼虫を捕食するためクズの近くに多いが、確認した個体は兼田地区の御旅山林縁部のエノキからえられたもので周囲にはクズが生えていないことから、どこかから飛来したものと思われる。なお、市川河川敷にはクズ多く成虫の他幼虫、蛹を多数確認したが 2021 年にはアレチウリが勢力を伸ばしクズの範囲が狭まってきている。外来種として定着した本種であるが、別の外来種によりマルカメムシとともにそのすみかを奪われることになるのかもしれない。

373. ニジュウヤホシテントウ *Henosepilachna vigintioctopunctata* (Fabricius, 1775)

北原地区, 1ex., 20. V. 2019

御旅山, 1ex., 19. IV. 2020, 1ex., 5. VII. 2020

畑のジャガイモ、ナスやトマトを食害する。

374. キイロテントウ *Kiuro koebelei koebelei* (Timberlake, 1943)

北原地区, 1ex., 3. V. 2019

各所に普通。

375. フタホシテントウ *Hyperaspis sinensis* (Crotch, 1874)

北原地区, 2exs., 6. VII. 2019, 1ex., 24. IV. 2020

水路沿いのピーティングでえられた。普通。

376. ベダリアテントウ *Rodolia cardinalis* (Mulsant, 1850)

仁寿山, 1ex., 24. IV. 2020

イセリヤカイガラムシの生物防除として 1911 (明治 44) 年にオーストラリアから導入されその後日本に定着した種。県下での記録はそれほど多くない。アラカシからのピーティングで

えられた。

377. ベニヘリテントウ *Rodolia limbata* (Motschulsky, 1866)

御旅山, 1ex., 19. IV. 2020

仁寿山, 1ex., 23. IV. 2020

オオワラジカイガラムシの天敵で同種が大発生するアラカシで多く見つかる。

378. ヨツボシテントウ *Phymatosternus lewisii* (Crotch, 1874)

御旅山, 1ex., 26. IV. 2020

仁寿山, 1ex., 29. VI. 2021

379. セスジヒメテントウ *Nephus (Sidis) levaillanti* (Mulsant, 1850)

北原地区, 1ex., 9. V. 2020

380. クロヘリヒメテントウ *Scymnus (Neopullus) hoffmanni* Weise, 1879

北原地区, 1ex., 25. VI. 2021 LT, 1ex., 7. XI. 2021

仁寿山, 1ex., 25. IV. 2020

381. コクロヒメテントウ *Scymnus (Pullus) posticalis* Sicard, 1914

北原地区, 1ex., 16. VII. 2019, 1ex., 29. IV. 2020

御旅山, 1ex., 25. IV. 2020, 1ex., 2. V. 2020

仁寿山, 1ex., 17. IV. 2020, 1ex., 25. IV. 2020, 1ex., 2. IV. 2021

耕作地や雑木林など各所に多い。

382. ムツボシテントウ *Sticholotis punctata* Crotch, 1874

仁寿山, 1ex., 26. V. 2020

県下での記録が少ない種。林縁の伐採木上でえられた。

Family CORYLOPHIDAE LeConte, 1852

ミジンムシ科

383. ベニモンツヤミジンムシ *Clypastraea polita* (Reitter, 1878)

御旅山, 1ex., 21. IV. 2020, 1ex., 5. V. 2020

仁寿山, 2exs., 20. V. 2020, 1ex., 26. III. 2021

立ち枯れや倒木上に多く見られる。県下の記録は確認できなかった。

384. チャイロミジンムシ *Clypastraea rugosa* (Matthews, 1899)

北原地区, 1ex., 21. VI. 2020, 1ex., 28. VII. 2020 LT

畑地の枯れ草や藁束に見られ灯火にも飛来する。県下の記録は確認できなかった。

385. ムクゲミジンムシ *Sericoderus lateralis* (Gyllenhal, 1827)

北原地区, 1ex., 8. IX. 2021

御旅山, 1ex., 5. IV .2020 Litter
落葉層からの篩でえられた。県下からは淡路島の記録 (高橋, 1999) がある。

386. ミジンムシ亜科の一種 *Corylophinae* sp.1
北原地区, 1ex, 7. II .2021
畑に置いた枝豆の枯れ草よりえられた。

387. ミジンムシ亜科の一種 *Corylophinae* sp.2
北原地区, 1ex, 7. II .2021
畑に置いた枝豆の枯れ草よりえられた。

Family LATRIDIIDAE Erichson, 1842
ヒメマキムシ科

388. ヒメマキムシ *Stephostethus chinensis* (Reitter, 1877)
北原地区, 3exs, 11. IV .2020, 3exs., 23. IV .2020, 2exs., 7. II .2021
耕作地の藁束や枯草下に普通。

389. ウスケシマキムシ *Corticaria japonica* Reitter, 1877
北原地区, 2exs., 11. IV .2020, 2exs., 7. II .2021
前種同様, 耕作地の藁束や枯草下に普通。

390. クロオビケシマキムシ *Corticaria ornata* Reitter, 1877
北原地区, 2exs, 11. IV .2020, 1ex., 19. IX .2020
前種同様, 耕作地の藁束や枯草下に見られるがあまり多くはない。

391. ウスチャケシマキムシ *Corticaria gibbosa* (Herbst, 1793)
北原地区, 2exs, 11. IV .2020, 1ex, 21. VII .2020 LT, 1ex., 17. VIII .2020
LT, 1ex., 12. VI .2021 LT
仁寿山, 1ex., 18. V .2020
前種同様, 耕作地の藁束や枯草下に見られ個体数は多い。また、
灯火にもよく飛来する。

Family MYCETOPHAGIDAE Leach, 1815
コキノコムシ科

392. コモンヒメコキノコムシ *Litargus (Litargosomus)*
japonicus Reitter, 1877
仁寿山, 1ex., 26. V .2020, 1ex., 26. VI .2020, 1ex., 7. V .2021
県下からは淡路島 (内藤, 2002) が記録されている。サクラ立
ち枯れよりえられた。

393. ヒレルコキノコムシ *Mycetophagus (Mycetophagoides)*
hillerianus Reitter, 1877
御旅山, 1ex., 11. IX .2021
県下からは西宮市 (高橋, 1988) や加古川市 (高橋, 1993a) の

記録がある。山道沿いのササ類の葉にとまっていた。

394. チャイロコキノコムシ *Typhaea stercorea* (Linnaeus, 1758)
北原地区, 1ex, 13. IX .2020 LT, 1ex, 16. IX .2020 LT, 1ex, 21. VIII .2020
LT, 1ex, 7. II .2021 LT, 1ex, 10. IX .2021 LT
耕作地の灯火に多い。

Family CIIDAE Leach, 1815
ツツキノコムシ科

395. アラゲツツキノコムシ *Acanthocis inonoti* Miyatake, 1955
北原地区, 1ex., 30. IV .2021 LT
御旅山, 2exs., 20. XI .2019
日本産ツツキノコムシ科検索図説V (川那部, 2004) では少ない
とされている。県下の記録は確認できなかった。
雑木林ではマンネンタケよりえられたほか, 耕作地での灯火で
もえられた。

396. ポリアヒメツツキノコムシ *Aliocis poriae* (Nakane &
Nobuchi, 1955)
仁寿山, 1ex., 12. III .2020
日本産ツツキノコムシ科検索図説V (川那部, 2004) では少ない
とされている。腐朽材の中からえられたので越冬中の個体で
あったのではないかと思う。県下の記録は確認されなかった。

397. ケナガナガツツキノコムシ *Nipponocis longisetosus*
Nobuchi, 1955
御旅山, 1ex., 4. IV .2020
日本産ツツキノコムシ科検索図説III (川那部, 2003) では少ない
とされている。県下では宝塚市 (宇野, 2021) で記録されて
いる。サクラ枯枝のアリの巣からえられた。

398. ツヤツツキノコムシ *Octotemnus laminifrons*
(Motschulsky, 1861)
御旅山, 2exs., 16. XI .2019, 1ex., 17. XI .2019
いずれもカワラタケからえられた。個体数は多い。

Family MELANDRYIDAE Leach, 1815
ナガクチキムシ科

399. ビロウドホソナガクチキ *Phloiotrya (Phloiotrya)*
obscura (Lewis, 1895)
仁寿山, 1ex., 20. V .2020

Family MORDELLIDAE Latreille, 1802
ハナノミ科

400. フタモンヒメハナノミ *Falsomordellistena altestrigata*
(Marseul, 1877)
仁寿山, 1ex., 5. VII .2020

林道のセイタカアワダチソウからえられた。

401. シズオカヒメハナノミ *Glipostenoda shizuokana* (Kôno, 1935)
北原地区, 1ex, 4. VIII .2020 LT

402. ウスキヒメハナノミ *Mordellina (Mordellina) palleola* Nomura, 1966
北原地区, 1ex., 9. IX .2020 LT
本種の分布は九州・沖縄・奄美 (Tsuru, 2021) とされており本州での記録がないようである。

403. ヒメハナノミ sp. *Mordellistenini* sp.
御旅山, 1ex., 30. IV .2021

Family ZOPHERIDAE Solier, 1834
アトコブゴミムシダマシ科

404. ツヤケシヒメホソカタムシ *Microprius opacus* (Sharp, 1885)
仁寿山, 1ex., 20. V .2020, 1ex., 2. IV .2021
県下からは西宮市, 猪名川町 (青木, 2009) から記録されている。立ち枯れや伐採木に普通。

405. ツヤナガヒラタホソカタムシ *Pycnomerus vilis* Sharp, 1885
御旅山, 1ex., 22. V .2021
仁寿山, 3exs., 12. III .2020
県下からは宝塚市 (宇野, 2021) から記録されている。雑木の腐朽材に普通。

Family TENEBRIONIDAE Latreille, 1802
ゴミムシダマシ科

406. オオメキバネハムシダマシ *Lagria (Lagria) rufipennis* Marseul, 1876
白浜海岸, 1ex., 15. VI .2020
大雨後の海岸漂着物からえられた。河川から流されてきたものと思われる。

407. アカガネアオハムシダマシ *Arthromacra decora* (Marseul, 1876)
北原地区, 1ex., 8. V .2020
県下では普通とされるが, 住宅地脇の草地から1頭えられただけで生息地がどこにあるのか見つけられていない。

408. フジナガハムシダマシ *Macrolagria rufobrunnea* (Marseul, 1876)
御旅山, 2exs, 19. IV .2020, 1ex., 2. V .2020
雑木林に普通。

409. ヒメホソハマベゴミムシダマシ *Micropedinus pallidipennis* Lewis, 1894
白浜海岸, 3exs, 18. III .2020, 2exs, 15. VI .2020, 1ex., 4. IX .2020, 1ex., 12. X .2020, 1ex., 16. VIII .2021
海岸線の海藻や流木下に多い。

410. ヒゲブトゴミムシダマシ *Luprops orientalis* (Motschulsky, 1868)
御旅山, 1ex., 4. V .2020, 1ex., 24. V .2020, 1ex., 21. VIII .2020
仁寿山, 1ex., 22. V .2021
雑木林に普通で灯火にもよく飛来する。

411. ハマヒョウタンゴミムシダマシ *Idisia ornata* Pascoe, 1866
白浜海岸, 1ex, 10. I .2020, 1ex., 27. III .2020, 1ex., 10. VI .2020
海浜に普通。

412. ニホンキマワリ 基亜種 *Plesiophthalmus nigrocyaneus nigrocyaneus* Motschulsky, 1858
御旅山, 2exs., 17. VI .2019
雑木林に普通。

413. クロツヤキマワリ *Plesiophthalmus spectabilis* Harold, 1875
御旅山, 1ex., 16. VIII .2019
前種と同所で見られるが少ない。

414. スジコガシラゴミムシダマシ *Heterotarsus carinula* Marseul, 1876
北原地区, 2ex., 26. V .2019
耕作地に多い。灯火にもよく飛来する。

415. マルチビゴミムシダマシ *Caedius marinus* Marseul, 1876
白浜海岸, 1ex., 27. III .2020, 1ex., 1. IV .2021
海岸の植物の根際に見られるが, 数はあまり多くない。

416. コスナゴミムシダマシ *Gonocephalum (Gonocephalum) coriaceum* Motschulsky, 1858
北原地区, 1ex., 28. IV .2019, 1ex., 16. VI .2019, 1ex., 25. I .2020
最も普通に見られる種で草地に多い。住宅地の道路わきの石やブロックの下でも普通に見られる。

417. ヒメスナゴミムシダマシ *Gonocephalum (Gonocephalum) persimile* (Lewis, 1894)
白浜海岸, 1ex., 4. IX .2020, 1ex., 12. VII .2020
海浜の植物の根際に多い。

418. ヒメカクスナゴミムシダマシ *Gonocephalum*

- (*Gonocephalum*) *terminale* Reichardt, 1936
 白浜海岸, 1ex., 27. III .2020, 1ex., 4. IX .2020
 海浜の植物の根際に多い。
419. ミツノゴミムシダマシ *Toxicum tricornerutum*
 Waterhouse, 1874
 御旅山, 1ex., 22. V .2021, 1ex., 4. IX .2021
 雑木林の立ち枯れや倒木に普通。
420. コクヌストモドキ *Tribolium castaneum* (Herbst, 1797)
 北原地区, 1ex., 25. V .2019, 1ex., 16. V .2020
 あまり多くはないが家屋内から定期的に見つかる。
421. モトヨツコブエグリゴミムシダマシ *Uloma*
 (*Uloma*) *bonzica* Marseul, 1876
 御旅山, 2exs., 7. V .2019, 1ex., 2. VIII .2019, 1ex., 18. I .2020
 雑木林の腐朽材に多い。
422. クリイロクチキムシ *Borboressthes acicularis*
 (Marseul, 1876)
 御旅山, 1ex., 4. VI .2019, 1ex., 12. VI .2020
 雑木林の木の幹や葉上に多い。
423. アカツヤバネクチキムシ *Hymenalia* (*Hymenalia*)
rufipennis (Marseul, 1876)
 御旅山, 2exs., 25. V .2019, 2exs., 13. V .2020, 2exs., 13. V .2020
 雑木林の葉上に多い。
424. ホンドクロオオクチキムシ *Upinella fuliginosa*
 (Mäklin, 1875)
 御旅山, 1ex., 7. V .2019, 1ex., 15. XI .2019
 林内に多い。冬場は樹皮裏で集団越冬する個体を見ることが多い。
425. ナミクチキムシ *Upinella melanaria* (Mäklin, 1875)
 御旅山 1ex., 9. VI .2019, 1ex., 17. XI .2019
 林縁で見られるがあまり多くはない。
426. ヒメナガニジゴミムシダマシ *Ceropria induta*
induta (Wiedemann, 1819)
 御旅山, 2exs., 2. VIII .2019, 1ex., 28. IX .2019
 林内のカワラタケやマンネンタケに多い。
427. ホソナガニジゴミムシダマシ *Ceropria striata*
 Lewis, 1894
 御旅山, 1ex., 22. V .2020
 前種と同じ環境で見つかる。
428. モンキゴミムシダマシ 基亜種 *Diaperis lewisi lewisi*
 Bates, 1873
 御旅山, 1ex., 26. VI .2020, 1ex., 21. VII .2020
 アベマキ立ち枯れ根元のマンネンタケよりえられた。
429. ヒラツノキノコゴミムシダマシ *Ischnodactylus*
parallelicornis (Nakane, 1956)
 御旅山, 2exs., 2. VIII .2019, 1ex., 3. VIII .2019, 1ex., 5. V .2020
 前種と同じマンネンタケよりえられた。県下での記録は少なく、
 いずれも県北部から記録されている。
430. クロキノコゴミムシダマシ 基亜種 *Platydema*
fumosa fumosa Lewis, 1894
 御旅山, 1ex., 29. IV .2020, 1ex., 5. V .2020
 照葉樹林帯に生息し、本州での生息地は限定的とされている。
 前種と同じマンネンタケからえられたもので、個体数も多く見
 られた。県下の記録は確認されなかった。
431. ヒゴキノコゴミムシダマシ *Platydema higonium*
 Lewis, 1894
 御旅山, 1ex., 21. VI .2019, 1ex., 15. V .2020
 前種と同じマンネンタケよりえられた。
432. アオツヤキノコゴミムシダマシ *Platydema marseuli*
 Lewis, 1894
 御旅山, 2exs., 29. IV .2020, 1ex., 6. V .2020, 1ex., 22. V .2021
 仁寿山, 2exs., 1. XII .2019
 最も普通見られるキノコゴミムシダマシの仲間、前種と同じ
 マンネンタケからえた他、林内の倒木やキノコ類に普通。
433. ヒメオビキノコゴミムシダマシ *Platydema nigropicta*
 Nakane, 1963
 御旅山, 2exs., 16. XI .2019, 1ex., 11. V .2020, 1ex., 31. V .2021
 前種と同じマンネンタケよりえられた。県下での記録はあまり
 多くないようである。
434. ツノボソキノコゴミムシダマシ *Platydema*
recticornis Lewis, 1894
 御旅山, 1ex., 2. VIII .2019, 1ex., 3. VIII .2019, 1ex., 9. XII .2020
 前種と同じマンネンタケよりえられた。
435. ベニモンキノコゴミムシダマシ 基亜種 *Platydema*
subfascia subfascia (Walker, 1858)
 御旅山, 2exs., 28. IX .2019, 1ex., 2. VIII .2019, 1ex., 16. XI .2019,
 1ex., 22. V .2021, 1ex., 6. XI .2021
 普通に見られる種で前種と同じマンネンタケの他、林内のカワ
 ラタケにも多い。

436. アメイロホソゴミムシダマシ *Corticus (Tylophloeus) gentilis* Lewis, 1894
 仁寿山, 1ex., 7. V .2021
 フジの腐朽材からえられた。

437. ルリゴミムシダマシ *Derosphaerus subviolaceus* (Motschulsky, 1860)
 御旅山, 1ex., 12. VI .2019, 1ex., 23. VIII .2019
 仁寿山, 2ex., 12. VI .2020, 1ex., 2. IV .2021
 立ち枯れに普通で個体数も多い。

438. オオニジゴミムシダマシ *Euhemicera pulchra* (Hope, 1842)
 北原地区, 1ex., 9. IX .2020 LT
 確認できたのは畑地での灯火でえられた1頭のみ。林内では見つけられていない。

439. オオツヤホソゴミムシダマシ *Menepihilus arciscelis* Marseul, 1876
 御旅山, 1ex., 15. VIII .2019
 仁寿山, 1ex., 2. VI .2020
 立ち枯れに多く、公園のソメイヨシノ古木の枯れた部分などでもよく見つかる。

440. ニシズビロキマワリモドキ *Gnesis haagi* (Harold, 1876)
 御旅山, 1ex., 12. VI .2019, 1ex., 2. VIII .2019
 仁寿山, 1ex., 5. VI .2020
 林床を歩く姿がよく見られる。

441. サトユミアシゴミムシダマシ 基亜種 *Promethis valgipes valgipes* (Marseul, 1876)
 御旅山, 1ex., 12. VI .2019, 1ex., 23. VIII .2019
 最も普通に見られるゴミムシダマシの仲間です市街地にも多い。

442. ホンドニジゴミムシダマシ *Tetraphyllus paykullii* (Dalman, 1823)
 御旅山, 1ex., 1. VIII .2020
 林内ではあまり見かけず、住宅地や耕作地の農具の腐材などでよく見つかる。

Family OEDEMERIDAE Latreille, 1810
 カミキリモドキ科

443. ズグロカミキリモドキ *Eobia (Eobia) chinensis ambusta* Lewis, 1895
 北原地区, 1ex., 18. IX .2020 LT
 県下の記録は少なく、畑地の灯火でえられるがあまり多くない。

444. キバネカミキリモドキ *Nacerdes (Xanthochroa) luteipennis*

(Marseul, 1877)

北原地区, 1ex., 17. VI .2019, 1ex., 6. VI .2020
 草地に普通で灯火にもよく集まる。活動期になると家屋内に侵入し内装の白壁に張り付くことがある。

445. アオカミキリモドキ *Nacerdes (Xanthochroa) waterhousei* (Harold, 1875)
 北原地区, 2exs., 2. VI .2019
 草地に多く前種同様活動期には家屋内まで侵入してくる。

446. モモフトカミキリモドキ *Oedemera (Oedemera) lucidicollis lucidicollis* (Motschulsky, 1866)
 北原地区, 1ex., 19. V .2019, 1ex., 21. IV .2020, 1ex., 27. IV .2020
 最も普通に見られるカミキリモドキの仲間であぜ道のタンポポの花などに多い。

447. フタイロカミキリモドキ 基亜種 *Oedemera (Oedemera) sexualis sexualis* Marseul, 1877
 北原地区, 1ex., 25. V .2019, 1ex., 9. V .2020
 県下の記録は限定的で島嶼並びに海岸線沿いに分布するとされている。採集個体は耕作地の水路沿いでピーチングでえられたもので草地に普通。

Family MELOIDAE Gyllenhal, 1810
 ツチハンミョウ科

448. ヒラズゲンセイ *Synhoria maxillosa* (Fabricius, 1801)
 北原地区, 2exs., 4. VII .2021
 公園の東屋の梁に作られたキムネクマバチの巣からえられた。巣の付近からはオスが2頭確認され、巣の下には雌の死んだ個体が落ちていた。

Family ANTHICIDAE Latreille, 1819
 アリモドキ科

449. キアシクビボソムシ *Macratris japonica* Harold, 1877
 市川河川敷, 1ex., 13. V .2021
 クズの葉上からえられた。

450. ホソクビアリモドキ 本土亜種 *Anthelephila bramina coiffaiti* (Bonadonna, 1964)
 御旅山, 1ex., 29. IV .2020, 1ex., 5. V .2020, 1ex., 19. V .2020
 仁寿山, 1ex., 1. VII .2020
 草地や林縁の葉上に普通、特に河川敷での個体数が多い。

451. ケオビアリモドキ *Anthelephila imperatrix* LaFerté-Sénéctère, 1849
 北原地区, 2exs., 21. VI .2020
 県下での記録はあまり多くないようである。畑の藁束からえられた。

452. クロオビホソアリモドキ *Anthicus protensus* Marseul, 1877
 白浜海岸, 2exs., 15. X .2021
 海浜性種のため県下での産地は少ない。流木からえられた。
453. クロホソアリモドキ *Cordicollis baicalicus* (Mulsant & Rey, 1866)
 白浜海岸, 1ex., 15. VI .2020, 1ex., 30. IV .2021
 海浜や河原の砂地に生息する。海藻下からえられた。
454. ウスモンホソアリモドキ *Omonadus confucii* (Marseul, 1876)
 北原地区, 1ex., 10. VIII .2020 LT, 1ex., 19. IX .2020
 畑の枯れ草や藁束に見られ灯火にも飛来する。
455. ヨツボシホソアリモドキ *Stricticollis valgipes* (Marseul, 1875)
 北原地区, 1ex., 21. VI .2020, 1ex., 29. VIII .2021, 1ex., 19. IX .2021
 仁寿山, 1ex., 1ex., 5. V .2020
 白浜海岸, 1ex., 23. VI .2020
 畑の枯れ草に見られるほか草地の葉上にも多い。
456. ホソアシツカク *Mecynotarsus tenuipes* Champion, 1921
 白浜海岸, 3exs., 27. III .2020, 1ex., 9. IV .2021, 1ex., 29. IV .2021
 海浜や河原の砂地に生息する。白浜海岸では草地と砂浜の境界付近に多くみられる。驚かせると素早く逃げ回った後、角を使い砂の中に潜る。
- Family SCRAPTIIDAE Gistel, 1848
 ハナノミダマシ科
457. クロフナガタハナノミ *Anaspis (Anaspis) marseuli* Csiki, 1915
 仁寿山, 1ex., 23. IV .2020, 1ex., 25. IV .2020
 市川河川敷, 1ex., 10. IV .2021
 林縁の草地に見られる。
- Family CERAMBYCIDAE Latreille, 1802
 カミキリムシ科
458. ウスバカミキリ 基亜種 *Aegosoma sinicum sinicum* (White, 1853)
 御旅山, 1ex., 25. VII .2021
 山道沿いのアベマキよりえられた。
459. ノコギリカミキリ 基亜種 *Prionus insularis insularis* Motschulsky, 1858
 御旅山, 1ex., 10. VIII .2019, 1ex., 2. VII .2020
 いずれもアベマキ立ち枯れよりえられた。雑木林に普通で林縁で車に轢かれた個体もよく見つかる。
460. ムネアカクロハナカミキリ *Leptura dimorpha* Bates, 1873
 市川河川敷, 1ex., 13. V .2021
 河川敷のノイバラよりえられた。
461. オオヨツスジハナカミキリ *Macroleptura regalis* (Bates, 1884)
 御旅山, 1ex., 17. VII .2021
462. キバネニセハムシハナカミキリ *Lemula decipiens* Bates, 1884
 北原地区, 1ex., 22. IV .2020, 1ex., 27. IV .2020
 畑の果樹の花からえられた。
463. クロカミキリ *Spondylis buprestoides* (Linnaeus, 1758)
 北原地区, 1ex., 25. VI .2021 LT
464. シロオビチビヒラタカミキリ *Poecilium albicinctum* Bates, 1873
 北原地区, 1ex., 3. V .2019
 御旅山, 1ex., 23. IV .2021
465. テツイロヒメカミキリ *Ceresium sinicum* A. White, 1855
 北原地区, 1ex., 12. VI .2020, 1ex., 14. VI .2020
 県下での分布記録は(三木, 2015)にまとめられている。採集個体はネズミモチの生木とサンシュユの切り株からえられた。
466. キマダラカミキリ 基亜種 *Aeolesthes (Pseudaolesthes) chrysothrix chrysothrix* (Bates, 1873)
 仁寿山, 2exs., 31. V .2020
 アラカシからえられたもので雑木林に普通。
467. ミヤマカミキリ *Neocerambyx raddei* Blessig, 1872
 御旅山, 2exs., 9. VIII .2019
 アベマキ立ち枯れからえられた。雑木林に普通で林縁の街灯下でも見つかる。
468. エグリトラカミキリ *Chlorophorus japonicus* (Chevrolat, 1863)
 御旅山, 1ex., 24. V .2020, 1ex., 14. VI .2020
 雑木林でのピーティングでえられた。
469. ヨツスジトラカミキリ *Chlorophorus quinquefasciatus* (Laporte & Gory, 1836)
 御旅山, 1ex., 26. VII .2020

470. トゲヒゲトラカミキリ *Demonax transilis* Bates, 1884
 仁寿山, 1ex., 25. IV .2021
 山道沿いのエノキからえられた。
471. キイロトラカミキリ *Grammographus notabilis notabilis* (Pascoe, 1862)
 仁寿山, 1ex., 23. V .2021
 林道のクモの巣にかかっていたもの。
472. ヒメクロトラカミキリ *Rhaphuma diminuta diminuta* (Bates, 1873)
 御旅山, 1ex., 22. IV .2020
 仁寿山, 2exs., 19. IV .2020, 1ex., 25. IV .2020
 アラカシの伐採木上に多い。
473. コジマヒゲナガコバネカミキリ *Glaphyra (Glaphyra) kojimai* (Matsushita, 1939)
 御旅山, 1ex., 25. IV .2020
 山道沿いのヤマツツジからえられた。
474. カッコウメダカカミキリ *Stenhomalus (Stenhomalus) cleroides* Bates, 1873
 北原地区, 1ex., 12. V .2019
 水路沿いのササ類からえられた。
475. ベニカミキリ *Purpuricenus (Sternoplistes) temminckii* (Guérin-Méneville, 1844)
 北原地区, 2exs., 25. IV .2020, 1ex., 27. III .2020
 竹林横の畑の果樹の花に集まっていた。
476. ヒトオビアラゲカミキリ *Rhopaloscelis unifasciatus* Blessig, 1873
 仁寿山, 1ex., 30. IV .2020
 市川河川敷, 2exs., 24. IV .2020
 各種広葉樹からえられる。
477. クワカミキリ *Apriona (Apriona) japonica* Thomson, 1878
 北原地区, 2exs., 26. VI .2019, 28. VII .2019
 兵庫県版レッドリスト (2012): 要注目種
 耕作地に植えられたイチジクに見られる。今のところ耕作地にイチジクが多くそれなりの個体数が確認できるが宅地化によりイチジクも減っているのでいずれは本種も見られなくなるかもしれない。
478. シロスジカミキリ *Batocera lineolata* Chevrolat, 1852
 北原地区, 1ex., 20. VII .2021
 公園のアラカシからえられた。同じ木に複数の脱出孔が見られ
- た。
479. ナガゴマフカミキリ *Mesosa (Aplocnemis) longipennis* Bates, 1873
 北原地区, 1ex., 7. VII .2019
 御旅山, 1ex., 11. VII .2019
 雑木林に普通で各種広葉樹や倒木上で見られる。
480. カタシロゴマフカミキリ 基亜種 *Mesosa (Perimesosa) hirsuta hirsuta* Bates, 1884
 御旅山, 1ex., 4. VIII .2020
481. ゴマダラカミキリ *Anoplophora malasiaca* (Thomson, 1865)
 北原地区, 1ex., 16. VIII .2019
 御旅山, 1ex., 25. VIII .2019
 住宅地でも普通に見られる。
482. キボシカミキリ 基亜種 *Psacotha hilaris hilaris* (Pascoe, 1857)
 北原地区, 2exs., 2. VI .2019
 畑のイチジクの生木に多い。
483. リンゴカミキリ *Obera (Obera) japonica* (Thunberg, 1787)
 御旅山, 1ex., 7. VI .2020, 1ex., 1. VII .2020
 住宅地のソメイヨシノからえられた。
484. キクスイカミキリ *Phytoecia (Phytoecia) rufiventris* Gautier des Cottes, 1870
 北原地区, 1ex., 30. IV .2020, 1ex., 6. V .2020
 住宅地やあぜ道のヨモギに普通。
485. ハイイロヤハズカミキリ *Niphona (Niphona) furcata* (Bates, 1873)
 北原地区, 1ex., 12. VI .2019, 1ex., 6. VI .2020
 ササ類からのピーティングでえられた。
486. ワモンサビカミキリ *Pterolophia (Hylobrotus) annulata* (Chevrolat, 1845)
 仁寿山, 1ex., 12. V .2020, 1ex., 17. V .2020, 1ex., 5. VI .2020
 林内の伐採木に普通。
487. トガリシロオビサビカミキリ 基亜種 *Pterolophia (Pterolophia) caudata caudata* (Bates, 1873)
 御旅山, 1ex., 5. VI .2019
 フジからえられた。
488. アトモンサビカミキリ *Pterolophia (Pterolophia) granulata* (Motschulsky, 1866)

北原地区, 1ex., 15. V .2019

仁寿山, 1ex., 20. V .2020, 1ex., 5. V .2021

フジの木に多い.

489. ヤツメカミキリ *Eutetrappa ocelota* (Bates, 1873)

仁寿山, 1ex., 21. V .2020

サクラの立ち枯れからえられた.

490. ラミーカミキリ *Paraglenea fortunei* (Saunders, 1853)

北原地区, 1ex., 7. VI .2020

御旅山, 1ex., 31. V .2020

カラムシからえられた.

Family CHRYSOMELIDAE Latreille, 1802

ハムシ科

491. チャバラマメゾウムシ *Borowiecius ademptus* (Sharp, 1886)

御旅山, 2exs., 23. IV .2020, 1ex., 25. IV .2020, 1ex., 11. V .2021

笹からのピーティングでえられた.

492. アズキマメゾウムシ *Callosobruchus chinensis* (Linnaeus, 1758)

北原地区, 1ex., 16. VII .2019

民家のブロック塀にいたもの.

493. ユリクビナガハムシ *Lilioceris (Lilioceris) merdigera* (Linnaeus, 1758)

北原地区, 1ex., 21. VII .2020

県下では稀な種. 民家の外構にいたもの.

494. アカクビナガハムシ *Lilioceris (Lilioceris) subpolita* (Motschulsky, 1861)

御旅山, 2exs., 23. IV .2020

シオデからえられた.

495. キバラルリクビボソハムシ *Lema (Lema) concinnipennis* Baly, 1865

兼田地区, 1ex., 1. VIII .2020.

市川河川敷, 1ex., 25. VII .2020

ツユクサに普通.

496. トゲアシクビボソハムシ *Lema (Lema) coronata* Baly, 1873

北原地区, 1ex., 21. VII .2020 LT

497. トホシクビボソハムシ *Lema (Lema) decempunctata* Gebler, 1829

御旅山, 1ex., 8. VI .2019

公園のソメイヨシノからえられたが風の強い日だったのでここから飛来したものと思う.

498. アカクビボソハムシ *Lema (Lema) diversa* Baly, 1873

北原地区, 1ex., 11. VIII .2019, 1ex., 10. IV .2021, 1ex., 8. IX .2021 LT

耕作地に多く灯火にも飛来する.

499. ヤマイモハムシ *Lema (Petauristes) honorata* Baly, 1873

市川河川敷, 1ex., 5. VII .2020

河川敷のクズに多い.

500. セスジクビボソハムシ *Oulema (Oulema) atosuturalis* (Pic, 1923)

北原地区, 1ex., 21. VIII .2020 LT

仁寿山, 1ex., 24. V .2020

県下の記録は少ない. 仁寿山の個体はソメイヨシノからえられたが食草はイネ科の雑草とされているので近くの耕作地から飛来したものと思う. 灯火でも得られているのでおそらく近隣の耕作地に普通に生息しているものと思う.

501. イノコズチカメノコハムシ *Cassida japana* Baly, 1874

北原地区, 1ex., 11. X .2020

本種は長らくヒメカメノコハムシ *C. piperata* のシノニムとして扱われていたが2005年に独立種として復活した(今坂, 2008). 県下の記録もヒメカメノコハムシにまとめられていると思われ本種の記録は見当たらない. 採集個体は越冬のため家屋内に侵入してきたもの.

502. タケトゲハムシ *Dactylispa (Platypriella) issikii* Chûjô, 1938

仁寿山, 1ex., 6. VI .2021

本種は九州特産とされていたが, 近年になり中国・四国・近畿地方へと分布を拡大しているようである(宮本ら, 2017). 県下での記録は見つからなかった.

山道沿いのササ類からえられた.

503. ヨモギハムシ *Chrysolina (Anopachys) aurichalcea* (Mannerheim, 1825)

北原地区, 2exs., 18. V .2019, 1ex., 20. X .2020, 1ex., 11. V .2021

白浜海岸, 1ex., 15. VI .2020

最も普通に見られるハムシであぜ道や道端のヨモギに多い. 発生時期も長く12月でも活動している. ドウガネ型は少ない.

504. ハツカハムシ *Chrysolina (Lithopteroides) exanthematica* (Wiedemann, 1821)

北原地区, 2exs., 25. V .2019

あぜ道に自生しているミントに普通.

505. コガタルリハムシ *Gastrophysa (Gastrophysa) mannerheimi* (Stål, 1858)
 北原地区, 1ex., 6. VII .2019
 兼田地区, 1ex., 21. III .2020
 あぜ道のギシギシに多い.
506. フジハムシ *Gonioctena (Brachyphytodecta) rubripennis* Baly, 1862
 北原地区, 1ex., 3. V .2019
 仁寿山, 1ex., 16. IV .2020
 雑木林のフジに普通.
507. ダイコンハムシ *Phaedon (Phaedon) brassicae* Baly, 1874
 北原地区, 1ex., 21. IV .2019, 1ex., 7. X .2019
 畑のダイコンやカブに多い.
508. ヤナギルリハムシ *Plagioderia versicolora* (Laicharting, 1781)
 市川河川敷, 2exs., 24. IV .2020
 白浜海岸, 1ex., 15. VI .2020
 河川敷のジャヤナギに多い. 海岸の個体は雨で川から流されてきたものと思われる.
509. カミナリハムシ *Altica aenea* (Olivier, 1808)
 北原地区, 1ex., 1. IX .2019, 1ex., 28. IX .2019, 1ex., 25. V .2019, 1ex., 13. IX .2020 LT
 オオツマヨイグサからえられた他, 自動販売機の灯やライトトラップでえられた.
510. サメハダツブノミハムシ *Aphthona strigosa* Baly, 1874
 北原地区, 2exs., 1. XII .2019
 御旅山, 1ex., 19. IV .2020
 各所のアカメガシワに多い.
511. ホソルリトビハムシ *Aphthonalica angustata* (Baly, 1874)
 御旅山, 1ex., 19. IV .2020
 アケビの木の下にあったフェンス上にいたもの.
512. ヘリグロテントウノミハムシ *Argopistes coccinelliformis* Csiki, 1940
 兼田地区, 1ex., 5. VII .2020
 アラカシの葉上からえられた.
513. オオアカマルノミハムシ *Argopus clypeatus* Baly, 1874
 北原地区, 2exs., 29. IV .2020
 林縁のセンニンソウからえられた. 河川敷でも多くの個体が確認された.
514. タバコノミハムシ *Epitrix hirtipennis* (Melsheimer, 1847)
 北原地区, 1ex., 16. II .2021, 1ex., 25. IV .2021
 中央~北アメリカを原産とする外来種で2020年11月に県下で初確認(農業協同組合新聞, 2020)された. 2月の個体は家の畑を掘り返していたところ出てきた越冬個体. 活動期は畑のトマトの葉に見られる. 農薬は使用していないが今のところ個体数はそれほど多くなくニジュウヤホシテントウの食害に比べれば軽微である.
515. キバネマルノミハムシ *Hemipyxis flavipennis* (Baly, 1874)
 北原地区, 1ex., 12. V .2019
 御旅山, 1ex., 19. IV .2019, 1ex., 6. V .2021
 雑木林のネズミモチに普通.
516. クロボシトビハムシ *Longitarsus (Longitarsus) bimaculatus* (Baly, 1874)
 北原地区, 2exs., 26. IV .2020
 御旅山, 1ex., 19. V .2020
 公園や林縁のネズミモチに多い.
517. キアシノミハムシ *Luperomorpha tenebrosa* (Jacoby, 1885)
 仁寿山, 1ex., 16. IV .2021
 フジからのビーティングでえられた.
518. チュウジョウキスジノミハムシ *Phyllotreta chujoe* Madar, 1959
 北原地区, 1ex., 6. IX .2019
519. キスジノミハムシ *Phyllotreta striolata* (Illiger, 1803)
 北原地区, 1ex., 30. IV .2021 LT
520. ナトビハムシ *Psylliodes (Psylliodes) punctifrons* Baly, 1874
 北原地区, 1ex., 1. XII .2019
 畑のダイコンからえられた.
521. ルリウスバハムシ *Stenoluperus cyaneus* (Baly, 1874)
 御旅山, 1ex., 6. V .2019, 1ex., 2. V .2020
 林縁のビーティングでえられた.
522. イチゴハムシ *Galerucella (Galerucella) grisescens* (Joannis, 1865)
 北原地区, 1ex., 12. VI .2021 LT, 1ex., 26. VI .2020, 1ex., 2. VII .2021 LT
 あぜ道のギシギシに普通.
523. ニレハムシ *Xanthogaleruca maculicollis* (Motschulsky, 1854)
 北原地区, 2ex., 18. V .2019, 1ex., 29. IV .2020

- 御旅山, 1ex., 25. IV .2020
各所のニレに多い.
524. ハンノキハムシ *Agelastica coerulea* Baly, 1874
北原地区, 2exs., 1. V .2019, 1ex., 17. IV .2020
ヤマハンノキに普通.
525. イチモンジハムシ *Morphosphaera japonica*
(Hornstedt, 1788)
御旅山, 1ex., 6. II .2021, 1ex., 1. VII .2021
冬季に腐朽材で越冬中の個体と活動期にイタビカズラからえられたが少ない.
526. ウリハムシモドキ *Atrachya menetriesi* (Faldermann, 1835)
北原地区, 2exs, 3. VI .2019, 1ex., 21. VIII .2020 LT
あぜ道の下草に多い.
527. ウリハムシ *Aegosoma sinicum sinicum* (White, 1853)
北原地区, 2exs., 1. V .2019
仁寿山, 1ex., 23. IV .2020
畑地のウリ科の野菜に多い.
528. クロウリハムシ 基亜種 *Aulacophora nigripennis nigripennis* Motschulsky, 1858
御旅山, 2exs., 25. VIII .2019
前種に比べ雑木林に近い環境で多く見られる.
529. クワハムシ *Fleutiauxia armata* (Baly, 1874)
御旅山, 2exs., 22. IV .2020, 1ex., 25. V .2020
市川河川敷, 1ex., 24. IV .2020
雑木林のフジや河川敷のイモ科の雑草に多い.
530. ケブカクロナガハムシ *Hesperomorpha hirsuta*
(Jacoby, 1885)
御旅山, 1ex., 25. IV .2020, 1ex., 11. V .2021
山道沿いのピーティングでえられた.
531. フタスジヒメハムシ *Medythia nigrobilineata*
(Motschulsky, 1861)
北原地区, 1ex., 23. IX .2019
畑の下草からえられた.
532. ヨツボシハムシ *Paridea (Paridea) oculata* Laboissière, 1930
御旅山, 1ex., 17. IV .2020
アラカシからのピーティングでえられた.
533. ドウガネツヤハムシ *Oomorphoides cupreatus* (Baly, 1873)
御旅山, 1ex., 15. VI .2019, 1ex., 17. IV .2020, 1ex., 23. IV .2020
- 市川河川敷, 1ex., 6. IV .2021
林内や河川敷に普通.
534. クロオビツツハムシ *Physosmaragdina nigrifrons*
(Hope, 1843)
北原地区, 1ex., 12. VII .2021
あぜ沿いのススキからえられた.
535. キイロナガツツハムシ *Smaragdina nipponensis*
(Chûjô, 1951)
御旅山, 2exs., 17. IV .2020
林縁の広葉樹に普通.
536. ムナキルリハムシ *Smaragdina semiaurantiaca*
(Fairmaire, 1888)
市川河川敷, 2exs, 24. IV .2020, 1ex., 10. IV .2021
土手のウメの木に多く見られた.
537. キアシルリツツハムシ *Cryptocephalus (Cryptocephalus) hyacinthinus* Suffrian, 1860
北原地区, 2exs., 3. V .2019
御旅山, 1ex., 5. V .2020
仁寿山, 1ex., 16. IV .2020
市川河川敷, 1exs., 24. IV .2020
近年, キアシルリツツハムシ *C. fortunatus* とバラルリツツハムシ *C. approximatus* が本種に統合された. 各所のサクラやノイバラに多い.
538. クロボシツツハムシ *Cryptocephalus (Cryptocephalus) luridipennis pallescens* Kraatz, 1879
御旅山, 1ex., 17. IV .2020
仁寿山, 1ex., 19. IV .2020, 1ex., 22. IV .2020
市川河川敷, 1ex., 10. IV .2021
雑木林のカシや土手のノイバラに多い.
539. タマツツハムシ *Adiscus lewisii* (Baly, 1873)
北原地区, 1ex., 28. VII .2020 LT
御旅山, 1ex., 9. VI .2020
クリの葉からえられた.
540. ムシクソハムシ *Chlamisus spilotus* (Baly, 1873)
北原地区, 1ex, 29. IV .2020
エノキからえられた.
541. アカガネサルハムシ 基亜種 *Acrothinium gaschkevitchii gaschkevitchii* (Motschulsky, 1861)
北原地区, 1ex., 26. IV .2020, 1ex., 6. V .2020
ヤマブドウからえられた.

542. クロオビカサハラハムシ *Demotina fasciata* (Baly, 1874)
 御旅山, 1ex., 11. VIII .2019, 1ex., 16. VIII .2019
 仁寿山, 1ex., 16. IV .2020, 1ex., 19. IV .2020
 林内に多い。
543. マダラアラゲサルハムシ *Demotina fasciculata* Baly, 1874
 御旅山, 1ex., 16. VIII .2019
 仁寿山, 1ex., 24. V .2020
 アラカシからえられた。
544. カサハラハムシ *Demotina modesta* Baly, 1874
 御旅山, 1ex, 30. VII .2021 LT
 仁寿山, 1ex, 5. VII .2020
 アラカシからえられた。
545. ドウガネサルハムシ *Heteraspis lewisii* (Baly, 1874)
 北原地区, 1ex., 19. V .2019, 1ex., 12. III .2020
 畑のヤブカラシからえられた。
546. イモサルハムシ *Colasposoma dauricum* Mannerheim, 1849
 北原地区, 1ex, 1. VI .2020
 白浜海岸, 1ex, 15. VI .2020
547. アオバナサルハムシ *Basilepta fulvipes* (Motschulsky, 1860)
 北原地区, 4exs., 25. V .2019
 畑地のヨモギに多い。
548. ウスイロサルハムシ *Basilepta pallidula* (Baly, 1874)
 北原地区, 2exs., 6. VII .2019
549. サクラサルハムシ *Cleoporus lateralis* (Motschulsky, 1866)
 北原地区, 1ex., 8. VII .2020
 御旅山, 2exs., 3. VIII .2019
 サザンカと柿からえられた。
550. アオガネヒメサルハムシ *Nodina chalcosoma* Baly, 1874
 北原地区, 1ex., 6. VII .2019
 仁寿山, 1ex., 14. VI .2020
 普通。
551. ムネアカキバナサルハムシ *Pagria consimilis* (Baly, 1874)
 北原地区, 1ex., 10. V .2020
 スナッフエンドウからえられた。
- (Sharp, 1891)
 北原地区, 1ex., 6. VI .2020
 種類不明のツル状の植物の花からえられた。
553. ウスモンツツヒゲナガゾウムシ *Ozotomerus japonicus japonicus* Sharp, 1891
 御旅山, 1ex, 30. VII .2021 LT
 山中での灯火でえられた。
554. シリジロメナガヒゲナガゾウムシ *Phaulimia confinis* (Sharp, 1891)
 御旅山, 1ex., 1. V .2020
 種名不明の樹木の幹からえられた。アラカシ伐採木上でも見られる。
555. シロヒゲナガゾウムシ 基亜種 *Platystomos sellatus sellatus* (Roelofs, 1879)
 仁寿山, 1ex., 22. V .2020, 1ex., 7. V .2021
 サクラの立ち枯れで多数の個体が確認された。
556. マダラヒゲナガゾウムシ *Opanthribus tessellatus* (Boheman, 1829)
 仁寿山, 1ex., 29. IV .2020, 1ex., 2. VI .2020
 アベマキ伐採木上に多い。
557. ナガフトヒゲナガゾウムシ *Xylinada striatiformis* (Jordan, 1895)
 御旅山, 1ex., 30. VII .2021 LT
 全国的に稀な種とされており県下での記録も多くない (松尾, 2002)。山中での灯火でえられた。
558. コモンヒメヒゲナガゾウムシ *Rhaphitropis guttifer* (Sharp, 1891)
 仁寿山, 1ex., 21. IV .2020
 ビーティングでえられた。
559. ワタミヒゲナガゾウムシ *Araecerus fasciculatus* (DeGeer, 1775)
 北原地区, 1ex., 13. IX .2020
 畑のトマトからえられた。
560. ヒゲナガゾウムシ科の一種 Anthribidae sp.
 北原地区, 1ex, 14. VI .2020
 アカメガシワからえられた。

Family ANTHRIBIDAE Billberg, 1820

ヒゲナガゾウムシ科

552. スネアカヒゲナガゾウムシ *Autotropis distinguenda*

Family ATTELABIDAE Billberg, 1820

オトシブミ科

561. アシナガオトシブミ *Phialodes (Phialodes) rufipennis*
Roelofs, 1874

御旅山, 1ex., 16. IV .2020, 1ex., 17. IV .2020
雑木林や公園の広葉樹に多い.

562. カシルリオトシブミ *Euops (Parasynaptopsis)*
splendidus Voss, 1930

北原地区, 1ex., 6. VII .2019
雑木林のフジに普通.

563. ヒメクロオトシブミ *Compsapoderus (Compsapoderus)*
erythrogaster (Snellen van Vollenhoven, 1865)

北原地区, 1ex., 6. VII .2019
兼田地区, 1ex., 15. IV .2021
御旅山, 1ex., 17. IV .2020
雑木林や公園の広葉樹に普通.

564. クロケシツブチョッキリ *Pseudomesauletes*
(Pseudomesauletes) uniformis (Roelofs, 1874)

北原地区, 2exs., 3. V .2019, 1ex., 31. VIII .2019
仁寿山, 1ex., 17. IV .2020
市川河川敷, 1ex., 10. IV .2021, 2exs., 15. IV .2021
水路沿いや河川敷のノイバラに多い. 民家の園芸用のバラにも
見られる.

565. ブドウハマキチョッキリ *Aspidobyctiscus*
(Aspidobyctiscus) lacunipennis (Jekel, 1860)

兼田地区, 1ex., 26. VII .2020, 1ex., 21. V .2021
御旅山, 1ex., 23. IX .2019
畑や民家のブドウに見られるがあまり多くない.

566. コナライクビチョッキリ *Deporaus (Roelofsdeporaus)*
unicolor (Roelofs, 1874)

御旅山, 1ex, 17. IV .2020
カシ類からのビーティングでえられた.

567. クチナガチョッキリ *Mecorhis (Thompsonirrhinus) plumbea*
(Roelofs, 1874)

北原地区, 1ex., 3. V .2019, 1ex., 6. VII .2019
兼田地区, 1ex., 18. VII .2020
アオツヅラフジからえられた.

568. カシルリチョッキリ *Neocoenorrhinus (Neocoenorhinidius)*
assimilis (Roelofs, 1874)

御旅山, 1ex., 17. IV .2020, 1ex., 25. IV .2020
市川河川敷, 1ex., 10. IV .2021
アベマキからのビーティングでえられた.

569. モモチョッキリ *Rhynchites (Epirhynchites) heros*
Roelofs, 1874

北原地区, 1ex., 23. IV .2020, 1ex., 25. IV .2020, 1ex., 29. IV .2020
畑地のビワなどの果樹に多い.

Family BRENTIDAE Billberg, 1820

ミツギリゾウムシ科

570. モンチビゾウムシ *Nanophyes pallipes* Roelofs, 1874

北原地区, 1ex., 1. VIII .2020 LT
灯火に普通. 県下の記録は確認できなかった.

Family DRYOPHTHORIDAE Schönherr, 1825

オサゾウムシ科

571. コクゾウムシ *Sitophilus zeamais* Motschulsky, 1855

御旅山, 1ex., 5. V .2020
仁寿山, 1ex., 30. III .2020 litter, 1ex., 6. V .2020 litter
雑木林の落葉層に普通.

572. シバオサゾウムシ *Sphenophorus venatus vestitus*
Chittenden, 1904

北原地区, 1ex., 28. IX .2019
あぜ道の下草からえられた.

Family CURCULIONIDAE Latreille, 1802

ゾウムシ科

573. イチゴハナゾウムシ *Anthonomus (Anthonomus) bisignifer*
Schenkling, 1934

北原地区, 2exs., 3. V .2019, 1ex., 28. IV .2020
御旅山, 1ex., 19. IV .2020
水路沿いや公園のノイバラに多い.

574. ジュウジチビシギゾウムシ *Archarius (Archarius) pictus*
(Roelofs, 1875)

御旅山, 1ex., 16. IV .2020
仁寿山, 1ex., 19. IV .2020
雑木林の広葉樹に多い.

575. コナラシギゾウムシ *Curculio (Curculio) dentipes*
(Roelofs, 1875)

北原地区, 1ex., 10. IX .2021 LT
御旅山, 1ex., 25. VIII .2019, 1ex., 10. V .2020, 1ex., 11. IX .2021
LT
雑木林に多い. 灯火にもよく集まる.

576. クヌギシギゾウムシ *Curculio (Curculio) robustus*

- (Roelofs, 1874)
御旅山, 1ex, 16. VIII .2019, 1ex, 25. VIII .2019
雑木林に多い.
577. シギゾウムシ族の一種 *Curculionini* sp.
御旅山, 1ex., 19. IV .2020
カシ類からのピーティングでえられた.
578. ウスグロアシブトゾウムシ *Morimotozo obscurus*
(Roelofs, 1875)
北原地区, 1ex, 9. V .2020
原色図鑑IVでは少ないとされており, 県下の記録もあまり多くない. ピーティングでえられた.
579. ガロアノミゾウムシ *Orchestes (Alyctus) galloisi*
Kôno, 1930
白浜海岸, 1ex, 15. VI .2020
海岸の漂着物よりえられた. 河川から流されて来たものと思う.
県下の記録は確認されなかった.
580. カシワノミゾウムシ *Orchestes (Amurorchestes) koltzei*
Faust, 1887
仁寿山, 1ex., 16. IV .2020, 1ex., 19. IV .2020
雑木林に普通.
581. ヤドリノミゾウムシ *Orchestes (Orchestes) hustachei*
(Klíma, 1935)
御旅山, 3exs., 1. V .2019
ケヤキに多い.
582. ニレノミゾウムシ *Orchestes (Orchestes) mutabilis*
Boheman, 1843
北原地区, 1ex, 9. V .2020
ピーティングでえられた.
583. アカアシノミゾウムシ *Orchestes (Orchestes) sanguinipes*
Roelofs, 1875
御旅山, 1ex., 1. V .2019
ケヤキに普通. 冬にはヤドリノミゾウムシとともにケヤキの樹皮裏で集団越冬する姿が見られる.
584. エゾヒメゾウムシ *Baris ezoana* Kôno, 1940
北原地区, 1ex., 18. V .2019
御旅山, 1ex., 5. V .2020
あぜ道の下草からえられた.
585. スベリビユサルゾウムシ *Hypurus bertrandii* (Perris, 1852)
北原地区, 1ex., 26. IX .2020
- 畑の水桶にいたもの. 県下の記録は確認されなかった.
586. サルゾウムシ亜科の一種 *Ceutorhynchinae* sp.
御旅山, 2exs., 26. IV .2020
アベマキからのピーティングでえられた.
587. トゲハラヒラセクモゾウムシ *Metialma (Metialma) cordata* Marshall, 1948
兼田地区, 1ex., 14. V .2021, 1ex., 14. V .2021
原色図鑑IVでは少ないとされている. 種類不明のツル状の植物からえられた. 同所では多数の個体が見られた.
588. ササチャバネクイゾウムシ *Kojimazo pictus*
(Wollaston, 1873)
北原地区, 1ex., 5. V .2020
林縁脇の駐車場の街灯にいたもの. 街灯下には笹が生えているので本種とした. 県下での記録は確認されなかった.
589. ハマベクイゾウムシ *Dryotribus mimeticus* Horn, 1873
白浜海岸, 1ex., 12. VII .2021
海岸線の流木裏に普通.
590. マエバラナガクチカクシゾウムシ *Rhadinomerus maebarai* Voss & Chûjô, 1960
仁寿山, 1ex, 1. VII .2020
アベマキ伐採木上からえられた.
591. ニセマツノシラホシゾウムシ *Shirahoshizo rufescens*
(Roelofs, 1875)
白浜海岸, 2exs., 1. VI .2020
海岸の松から多数の個体が確認された.
592. ヒサゴクチカクシゾウムシ *Simulatacalles simulator*
(Roelofs, 1875)
北原地区, 1ex., 12. VI .2021 LT
仁寿山, 2exs., 26. V .2020
倒木裏よりえられた. また, 灯火でも得られた.
593. アシナガオニゾウムシ *Gasterocercus longipes*
Kôno, 1932
北原地区, 1ex., 26. VI .2021 LT
594. ヤサイゾウムシ *Listroderes costirostris* Schoenherr, 1826
北原地区, 1ex., 7. V .2020, 1ex., 21. VI .2020, 1ex, 13. XI .2020
畑地に普通.
595. ハマベゾウムシ *Isonycholips gotoi* Chûjô & Voss, 1960
白浜海岸, 1ex., 10. I .2020, 1ex., 9. IV .2020, 1ex., 1. IV .2021

- 県下では的形から最近記録 (脇村, 2020) された種で, 的形のすぐ西に位置していることもあり, 白浜海岸でも多数の個体を確認した. 活動期となる春と秋には個体数が多く, 特に秋は活発に活動しアマモ下に限らず流木上や波しぶきがかかるような場所にあるの波消しブロック上でも確認された.
596. ケブカクチプトゾウムシ *Lepidepistomodes fumosus* (Faust, 1882)
御旅山, 1ex., 15. VI .2019, 2exs., 16. IV .2020
カシ類に普通.
597. ハリゲカシワクチプトゾウムシ *Nothomylocerus illitus* (Reitter, 1915)
御旅山, 1ex., 29. IX .2019
仁寿山, 1ex., 17. IV .2020
カシ類に普通. 前種に比べるとやや少ない.
598. シロコブゾウムシ *Episomus turrinus turrinus* (Gyllenhal, 1833)
北原地区, 1ex., 19. V .2019, 1ex., 15. VII .2019
クズなどに普通.
599. ケチビコフキゾウムシ *Sitona hispidulus* (Fabricius, 1777)
御旅山, 1ex., 14. X .2020
仁寿山, 1ex., 12. VI .2020
ヨーロッパ原産の外来種で 1954 年に国内で初確認された. 県下からは 1985 年に吉川町 (高橋, 1993b) で記録された.
600. ニシカワツヤツチゾウムシ *Asphalmus nishikawai* Morimoto, 2015
御旅山, 1ex., 19. III .2020
仁寿山, 1ex., 21. III .2020, 1ex., 30. III .2020, 1ex., 16. IV .2020, 1ex. 26. V .2020, 1ex., 29. III .2021
いずれも落葉層や倒木裏からえられた.
601. トビイロヒョウタンゾウムシ *Scepticus griseus* (Roelofs, 1873)
白浜海岸, 1ex., 10. I .2020
海岸の植物の根際に多い.
602. サビヒョウタンゾウムシ *Scepticus insularis* Roelofs, 1873
北原地区, 1ex., 9. V .2020, 1ex., 15. IV .2021
畑地に普通.
603. クワヒョウタンゾウムシ *Scepticus konoi* Nakamura & Morimoto, 2015
北原地区, 1ex, 19. V .2019
畑地に見られる.
604. スグリゾウムシ *Pseudocneorhinus bifasciatus* Roelofs, 1879
北原地区, 2exs., 11. V .2019
庭木に多い.
605. フトゲチビツチゾウムシ *Trachyphloeosoma roelofsi* Sharp, 1896
仁寿山, 2exs., 12. III .2020 litter
ツヤツチゾウムシと同じ環境でえられるがやや少ない.
606. オオタコゾウムシ *Brachypera (Antidonus) zoilus* (Scopoli, 1763)
北原地区, 1ex., 26. X .2019
ヨーロッパ原産の外来種. 畑地に見られるがあまり数は多くない.
607. アルファルファタコゾウムシ *Hypera (Hypera) postica* (Gyllenhal, 1813)
北原地区, 1ex., 25. V .2019
市川河川敷, 1ex., 21. V .2021
ヨーロッパ原産の外来種. 畑地に多い.
608. ミスジマルゾウムシ *Phaeopholus ornatus* Roelofs, 1873
御旅山, 1ex., 30. V .2020
カシ類からのピーティングでえられた.
609. タコゾウムシ亜科の一種 *Hyperinae* sp.
北原地区, 1ex., 28. IV .2019
畑でえられたもの. 採集してからずっと何かわからないが, アルファルファタコゾウムシ *H.postica* のテネラル個体かもしれない.
610. ハスジカツオゾウムシ *Lixus (Eulixus) acutipennis* (Roelofs, 1873)
北原地区, 1ex., 24. V .2020
市川河川敷, 2exs., 5. VII .2020
草地に普通.
611. コゲチャツツゾウムシ *Carcilia tenuistriata* Heller, 1941
御旅山, 1ex., 15. VII .2019, 1ex., 14. VIII .2019
雑木林のカシ類に普通.
612. クロクチカクシゾウムシ *Catagmatus japonicus* Roelofs, 1875
市川河川敷, 2exs., 15. IV .2021
土手の草地からえられた.
613. クリアナアキゾウムシ *Pimelocerus exsculptus* (Roelofs, 1876)

仁寿山, 1ex., 26. V .2020
林床の雑草にとまっていた。

穿孔穴がみられるようになった。

614. リンゴアナアキゾウムシ *Pimelocerus shikokuensis*
(Kôno, 1934)

御旅山, 1ex., 21. VI .2019
エノキの幹にいたもの。

615. オリーブアナアキゾウムシ *Pimelocerus perforatus*
perforatus (Roelofs, 1873)

仁寿山, 1ex., 7. V .2021
倒木上でえられた。

616. ホホジロアシナガゾウムシ *Merus (Merus) erro*
(Pascoe, 1871)

北原地区, 1ex., 19. V .2019, 1ex., 29. IV .2020
林縁で普通に見られる。

617. オジロアシナガゾウムシ *Sternuchopsis (Mesalcidodes)*
trifida (Pascoe, 1870)

御旅山, 1ex., 21. IX .2019
クズに普通。

618. ウスモンカレキゾウムシ *Acicnemis palliata* Pascoe, 1872

仁寿山, 1ex., 17. IV .2020
フジに普通。

619. ニホンキクイムシ *Scolytus japonicus* Chapuis, 1876

北原地区, 1ex., 28. IV .2020
ピーティングでえられた。

620. アカクビキクイムシ *Ambrosiodmus rubricollis*
(Eichhoff, 1876)

北原地区, 1ex., 22. VI .2019
畑の水桶に浮いていたもの。

621. キクイムシ亜科の一種 *Scolytinae* sp.1

仁寿山, 1ex., 23. V .2020
アベマキの樹皮からえられた。

622. キクイムシ亜科の一種 *Scolytinae* sp.2

北原地区, 1ex., 28. VII .2020

623. カシノナガキクイムシ *Platypus quercivorus*
(Murayama, 1925)

御旅山, 2exs., 30. VII .2021, 1ex., 14. XI .2021
2020年まではほとんど見かけない種であったが2021年には
山中のある程度成長したアベマキ・コナラの大半の幹に大量の

5. おわりに

本調査において未同定種含め 623 種の甲虫を記録することができた。住宅地に近い身近な環境でも思いのほか、多様な甲虫相がみられ、中には県下初記録となる甲虫やレッドリスト種も多数含まれており、都市化により生息地が消失する前に記録できたことは幸いであった。限定的な地域での調査のため、市全体の甲虫相解明にはまだまだ不十分ではあるが、本記録がその一助になれば幸いである。今後も同地区での継続的な調査を続け、また、市北部へも調査範囲を広げていきたいと思う。

最後に本報をまとめるにあたりご助言いただきました森正人氏・池田 大氏に厚く御礼申し上げる。

引用文献

- 相坂耕作, 1980. 姫路市の昆虫. てんとうむし, 6: 10-20.
相坂耕作, 1984. 姫路市の昆虫(セミ科). てんとうむし, 9: 51-52.
青木淳一, 2009. ホソカタムシの誘惑 日本産ホソカタムシ前種の図説. 東海大学出版部 194pp.
平野幸彦, 2009. 日本産ヒラタムシ上科図説 第1巻 ヒメキノコムシ科・ネスイムシ科・チビヒラタムシ科. 昆虫文献六本脚 63pp.
平野幸彦, 2010. 日本産ヒラタムシ上科図説 第2巻 ホソヒラタムシ科・キスイモドキ科・ムクゲキスイムシ科. 昆虫文献六本脚 61pp.
今坂正一, 2008. 最新ハムシ事情図説2-イノコヅチカメノコハムシ-, Eアシスト (http://www.coleoptera.jp/modules/xhnewbb/viewtopic.php?topic_id=46)
川那部真, 2003. 日本産ツツキノコムシ科検索図説 III. 甲虫ニュース, 144: 1-6.
川那部真, 2004. 日本産ツツキノコムシ科検索図説 V. 甲虫ニュース, 146: 1-5.
松尾隆人, 2002. ナガフトヒゲナガゾウムシの記録. きべりはむし, 30(1): 100.
三木 進, 2015. 兵庫県産テツイロヒメカミキリを追う. きべりはむし, 37(2): 24-27.
宮本 剛・吉富博之・林 成多, 2017. 島根県から発見されたタケトゲハムシ. ホシザキグリーン財団研究報告, 20: 219-224.
森 正人・下野誠之, 2021. 塩田跡地のゴミムシ・ガムシ(兵庫県初記録種). きべりはむし, 44(2): 15-17.

- 内藤隆夫, 2002. 淡路島産甲虫の記録. きべりはむし, 30(1) : 70-72.
- 農業協同組合新聞, 2020. タバコノミハムシを県内で初確認 兵庫県 (<https://www.jacom.or.jp/nousei/news/2020/11/201106-47577.php>)
- 斎藤琢巳, 2014. 近畿地方におけるヒサマツシバンムシの記録. 月刊むし (519) : 60-61.
- 初宿成彦, 2021. 大阪市立自然史博物館・外来生物調査プロジェクト (Project A) によるムネアカオオクロテントウ・ユウカリハムシ・ヨツモンカメノコハムシの市民調査報告. 大阪市立自然史博物館研究報告, (75) : 53-78.
- 高橋寿郎, 1988. ヒトクチタケで採集した甲虫類 1. IRATSUME, 12 : 19-23.
- 高橋寿郎, 1993a. 東播磨の甲虫相 (2). きべりはむし, 22(1) : 1-8.
- 高橋寿郎, 1993b. ヒトクチタケで採集した甲虫類Ⅲ. きべりはむし, 21(1) : 6-9.
- 高橋寿郎, 1999. 淡路島産甲虫目録 (2). PARNASSIUS, 48 : 1-16.
- 宇野宏樹, 2021. 宝塚市の緑地公園の昆虫相 -2010年～2020年の昆虫の記録-. きべりはむし, 44(1) : 9-25.
- 山本勝也, 2009. ミスジキイロテントウ神戸市からの記録. きべりはむし, 32(1) : 61.
- 吉田貴大, 2008. 兵庫県における *Microchaetes* 属 (マルトゲムシ科) の一種の記録. 月刊むし, (452) : 46-47.



1. ナガヒラタムシ



2. コハンミョウ



3. カワチマルクビゴミムシ



4. エゾカタビロオサムシ



5. マイマイカブリ 基亜種



6. ダイミョウチビヒョウタンゴミムシ



7. ホソヒョウタンゴミムシ



8. ナガヒョウタンゴミムシ



9. キバナガミズギワゴミムシ



10. ウスモンミズギワゴミムシ



11. アトモンミズギワゴミムシ



12. ヨツボシミズギワゴミムシ



13. アトオビコムズギワゴミムシ



14. チビミズギワゴミムシ



15. ウスイロコムズギワゴミムシ



16. ウスオビコムズギワゴミムシ



17. ヒラタコムズギワゴミムシ



18. チャイロコムズギワゴミムシ



19. クリイロコムズギワゴミムシ



20. ウスモンコムズギワゴミムシ



21. ヨツモンコムズギワゴミムシ



22. ヒラタキイロチビゴミムシ



23. キアシヌレチゴミムシ



24. カワチゴミムシ



25. エグリゴミムシ



26. アオバナホソクビゴミムシ



27. オオホソクビゴミムシ



28. ミイデラゴミムシ



29. ニセコガシラアオゴミムシ



30. オオアトボシアオゴミムシ



31. コガシラアオゴミムシ



32. ケベリアオゴミムシ



33. アオゴミムシ



34. オオケベリアオゴミムシ



35. アトボシアオゴミムシ



36. キボシアオゴミムシ



37. ノグチアオゴミムシ



38. アトワアオゴミムシ



39. アオヘリホソゴミムシ



40. クビボソゴミムシ



41. フタホシズバネゴミムシ



42. ヨツモンエグリゴモクムシ



43. ヒメゴミムシ



44. ゴミムシ



45. ツヤアオゴモクムシ



46. ヒラタゴモクムシ



47. オオゴモクムシ



48. ヒメケゴモクムシ



49. クロゴモクムシ



50. ウスアカクロゴモクムシ



51. コゴモクムシ



52. ケゴモクムシ



53. アカアシマルガタゴモクムシ
基亜種



54. キイロチビゴモクムシ



55. ツヤマメゴモクムシ



56. キベリゴモクムシ



57. マメゴモクムシ



58. ミドリマメゴモクムシ



59. ムネアカマメゴモクムシ



60. スジミズアトクリゴミムシ



61. キクピアオアトクリゴミムシ



62. ヒラタアトクリゴミムシ



63. アオヘリアトクリゴミムシ



64. クロヘリアトクリゴミムシ



65. オオヨツアナアトクリゴミムシ



66. コキノコゴミムシ



67. コヨツボシアトクリゴミムシ



68. キノコゴミムシ



69. オオスナハラゴミムシ



70. フタモンクピナガゴミムシ



71. チャバネクピナガゴミムシ



72. ヤマトツクリゴミムシ



73. オオヨツボシゴミムシ



74. イグチケブカゴミムシ



75. クロケブカゴミムシ



76. クロツゴミムシ



77. アオグロヒラタゴミムシ



78. タングロヒラタゴミムシ



79. オオヒラタゴミムシ



80. コヒラタゴミムシ



81. オオゴミムシ



82. アカガネオオゴミムシ



83. キンナゴミムシ



84. アシミゾナガゴミムシ



85. トックリナガゴミムシ



86. オオクロナガゴミムシ



87. コホソナガゴミムシ



88. ヒメホソナガゴミムシ



89. コガシラナガゴミムシ



90. セアカヒラタゴミムシ



91. マルガタツヤヒラタゴミムシ



92. クロツヤヒラタゴミムシ



93. ヒメツヤヒラタゴミムシ



94. オオクロツヤヒラタゴミムシ



95. ツヤヒラタゴミムシ属の一種



96. ニセマルガタゴミムシ



97. コマルガタゴミムシ



98. ニセコマルガタゴミムシ



99. オオマルガタゴミムシ



100. ナガマルガタゴミムシ



101. セスジゲンゴロウ属の一種



102. ハイイロゲンゴロウ



103. コシマゲンゴロウ



104. チビゲンゴロウ



105. マルケシゲンゴロウ属の一種



106. エンデンチビマルガムシ



107. トゲバゴマフガムシ



108. マメガムシ



109. キイロヒラタガムシ



110. ルイスヒラタガムシ



111. コガムシ



112. ヒメガムシ



113. コモンシジミガムシ



114. セマルガムシ



115. オオヤマトオカツヤガムシ



116. ヒメケシガムシ



117. コケシガムシ



118. フチトリケシガムシ



119. アカケシガムシ



120. ウスモンケシガムシ



121. セマルマグソガムシ



122. ハマベエンマムシ



123. ツヤマルエンマムシ



124. コエンマムシ



125. サシゲマルタマキノコムシ



126. セマルタマキノコムシ



127. オチバヒメタマキノコムシ



128. アカアシチビシテムシ



129. ツシマヒラタシテムシ
本州亜種



130. アロウヨツメハネカクシ



131. ヨツメハネカクシ亜科の一種



132. ハバピロハネカクシ



133. ムツバハバピロハネカクシ



134. チビハバピロハネカクシ
属の一種



135. ヒゲブトムネトゲ
アリツカムシ



136. ヒゲブトエクボアリツカムシ



137. クロチビマルクビハネカクシ



138. Tachyporinae sp.1



139. Tachyporinae sp.2



140. コクロヒゲブトハネカクシ



141. ツヤケシヒゲブトハネカクシ



142. アカニセセミゾハネカクシ



143. ヤマトデオキノコムシ



144. ケシデオキノコムシ属の一種



145. チビクロセスジハネカクシ



146. Anotylus sp.1



147. Anotylus sp.2



148. Anotylus sp.3



149. Carpelimus 属の一種



150. ユミセミゾハネカクシ



151. コヒメコケムシ



152. シリプトヒメコケムシ



153. メダカハネカクシ属の一種



154. ニセメダカハネカクシ



155. ヒメシリグロハネカクシ



156. ツマアカカワベナガエハネカクシ



157. *Lathrobium* sp.1



158. *Lathrobium* sp.2



159. クロストガリハネカクシ



160. アオパアリガタハネカクシ



161. ヒメクビボンハネカクシ属の一種



162. キバネクビボンハネカクシ



163. ホソアバタウミベハネカクシ



164. ヒメアバタウミベハネカクシ



166. オオアバタウミベハネカクシ



167. *Philonthus* sp.1



168. *Philonthus* sp.2



169. *Philonthus* sp.3



170. *Philonthus* sp.4



171. ツヤケシアカバウミベハネカクシ



172. アカハババビロオオハネカクシ



173. ムネビロハネカクシ



174. クシヒゲツヤムネハネカクシ



175. Staphylinidae gen. sp.1



176. Staphylinidae gen. sp.2



177. Staphylinidae gen. sp.3



178. Staphylinidae gen. sp.4



179. Staphylinidae gen. sp.5



180. Staphylinidae gen. sp.6



181. センチコガネ



182. ネプトクワガタ 本土亜種



183. コクワガタ 基亜種



184. ヒラタクワガタ 本土亜種



185. チビクワガタ



186. セマダラマグソコガネ



187. クロツツマグソコガネ



188. ヤマトケシマグソコガネ



189. セマルケシマグソコガネ



190. ホソケシマグソコガネ



191. コブマルエンマコガネ



192. ミツコブエンマコガネ



193. フトカドエンマコガネ



194. ツヤエンマコガネ



195. ナガチャコガネ



196. コフキコガネ



197. クロコガネ



198. オオクロコガネ



199. ピロウドコガネ



200. アカピロウドコガネ



201. ヒメピロウドコガネ



202. コイチャコガネ



203. アオドウガネ 基亜種



204. ドウガネブイブイ



205. ハンノヒメコガネ



206. ヒメコガネ



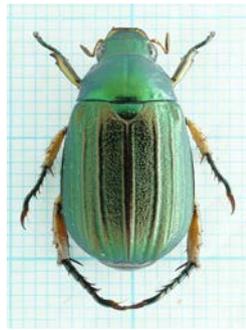
207. チビスクラコガネ



208. ヤマトアオドウガネ



209. コガネムシ



210. スジコガネ



211. ナラノチャイロコガネ



212. セマダラコガネ



213. カタモンコガネ



214. ウスチャコガネ



215. マメコガネ



216. カブトムシ 本土亜種



217. カナブン



218. ナミハナムグリ



219. コアオハナムグリ



220. クロハナムグリ



221. シロテンハナムグリ



222. シラホシハナムグリ 基亜種



223. ヒラタハナムグリ 基亜種



224. ツマアカマルハナノミダマシ



225. キムネマルハナノミ



226. トビイロマルハナノミ



227. チビマルハナノミ属の一種



228. ヤマトタマムシ 基亜種



229. ヒメヒラタタマムシ



230. ムツボシタマムシ



231. ムネアカナガタマムシ



232. ツヤケシナガタマムシ



233. シラケナガタマムシ



234. ミツボシナガタマムシ



235. ムネアカチビナカボシ
タマムシ 基亜種



236. ルイスヒラタチビタマムシ



237. クズノチビタマムシ



238. ヤナギチビタマムシ



239. ヤノナミガタチビタマムシ



240. ドウガネツヤマトゲムシ



241. シラフチビマルトゲムシ



242. チビマルトゲムシ属の一種



243. ミナミケモンマルトゲムシ



244. キスジミゾドロムシ



245. ヨコミゾドロムシ



246. イブシアシナガドロムシ



247. アシナガミゾドロムシ



248. アウツヤドロムシ



249. チビドロムシ



250. ナガドロムシ



251. チビヒゲナガハナノミ
基亜種



252. マルヒラタドロムシ



253. クシヒゲマルヒラタドロムシ



254. マスダチビヒラタドロムシ



255. ヒラタドロムシ



256a. ヒゲナガハナノミ♀



256b. ヒゲナガハナノミ♀



257. エノキコメツキダマシ



258. チャイロヒゲプトコメツキ



259. サビキコリ



260. ハマベヒメサビキコリ 基亜種



261. ヒメサビキコリ



262. オオフトモンウバタマコメツキ 本土亜種



263. マダラチビコメツキ



264. ヒゲコメツキ 基亜種



265. ムラサキヒメカネコメツキ



266. *Quasimus* 属の一種



267. キバネホソコメツキ



268. ヒゲナガコメツキ 基亜種



269. クロツヤクシコメツキ



270. アカアシオオクシコメツキ 基亜種



271. クロハナコメツキ



272. アカアシハナコメツキ 基亜種



273. ミスジヒシベニボタル



274. ベニボタル



275. フトベニボタル 基亜種



276. クロハナボタル



277. チョウセンハナボタル



278. ベニボタル科の一種



279. ムネアカフトジョウカイ



280. ジョウカイボン 西日本亜種



281. セボシジョウカイ



282. カワランフジョウカイ



283. クロヒメクビボソジョウカイ
基亜種



284. クロスジツマキジョウカイ



285. カドマルカツオブシムシ



286. ヒメマルカツオブシムシ



287. カマキリタマゴ
カツオブシムシ



288. セマダラナガシクイ



289. カキノフタトゲナガシクイ



290. ケジロヒョウホンムシ
基亜種



291a. ナガヒョウホンムシ♂



291b. ナガヒョウホンムシ♀



292. ヒメトサカシバンムシ



293. ツツガタシバンムシ



294. ヒサマツシバンムシ



295. セスジシバンムシ亜科の一種



296. ムナビロムクゲキスイ



297. ナガムクゲキスイ



298. ヒロオビジョウカイモドキ
♀



299. キアシオビジョウカイモドキ
♂



300. クロキオビジョウカイモドキ ♀



301. ルリキオビジョウカイモドキ ♂



302. ツマキアオジョウカイモドキ



303. クギヌキヒメ
ジョウカイモドキ



304. ケンジョウカイモドキ



305. ヨツボシオオキシイ



306. ルリオオキノコ



307. カタモンオオキノコ



308. ヒメオビオオキノコ



309. タイショウオオキノコ



310. カタボシエグリオオキノコ



311. アカハバヒロオオキノコ



312. ホソチビオオキノコ



313. トビイロデオネスイ



314. トゲムネデオネスイ



315. クロモンクスイ



316. ウスイロクスイ



317. クロノコムネクスイ



318. ケナガセマルクスイ



319. マルガタクスイ



320. セマルクスイムシ亜科の一種



321. ミツモンセマルヒラタムシ



322. カドコブホソヒラタムシ



323. マルムネホソヒラタムシ



324. ホソムネホソヒラタムシ



325. アタマホソヒラタムシ



326. キボシチビヒラタムシ



327. チャイロホソチビヒラタムシ



328. オオキバチビヒラタムシ



329. ルイスチビヒラタムシ



330. カドムネチビヒラタムシ



331. ウスグロチビヒラタムシ



332. ヒメヒラタケシクスイ



333. ホソキヒラタケシクスイ



334. ツヤチビヒラタケシクスイ



335. モンチビヒラタケシクスイ



336. クリイロデオクスイ



337. ガイマイデオクスイ



338. カタベニデオクスイ



339. コゲチャセマルケシクスイ



340. ナガゴゲチャケシクスイ



341. キムネチビケシクスイ



342. マルケシクスイ属の一種



343. アカマダラケシクスイ



344. ヘリグロヒラタケシクスイ



345. ウスオビカケシクスイ



346. クロモンカケシクスイ



347. オオキマダラケシクスイ



348. キマダラケシクスイ



349. ヒメアカマダラケシクスイ



350. ルイスコオニケシキスイ



351. コヨツボシケシキスイ



352. ヨツボシケシキスイ



353. クロミジンムシダマシ



354. ルリテントウダマシ



355. トウヨウダナエ
テントウダマシ



356. クロモンケブカ
テントウダマシ



357. ヨツボシテントウダマシ



358. フチトリツヤテントウダマシ



359. セグロツヤテントウダマシ



360. キボシテントウダマシ



361. コマルガタテントウダマシ



362. ミスジキイロテントウ



363. ヒメアカホシテントウ



364. アカホシテントウ



365. ムーアシロホシテントウ



366. ナナホシテントウ



367. マクガタテントウ



368. ナミテントウ



369. ジュウサンホシテントウ



370. ダンダラテントウ



371. ヒメカメノコテントウ



372. ムネアカオオクロテントウ



373. ニジュウヤホシテントウ



374. キイロテントウ



375. フタホシテントウ



376. ベダリアテントウ



377. ベニヘリテントウ



378. ヨツボシテントウ



379. セスジヒメテントウ



380. クロヘリヒメテントウ



381. コクロヒメテントウ



382. ムツボシテントウ



383. ベニモンツヤミジンムシ



384. チャイロミジンムシ



385. ムクゲミジンムシ



386. Corylophinae sp.1



387. Corylophinae sp.2



388. ヒメマキムシ



389. ウスキケシマキムシ



390. クロオビケシマキムシ



391. ウスチャケシマキムシ



392. コモンヒメコキノコムシ



393. ヒレルコキノコムシ



394. チャイロコキノコムシ



395. アラゲツツキノコムシ



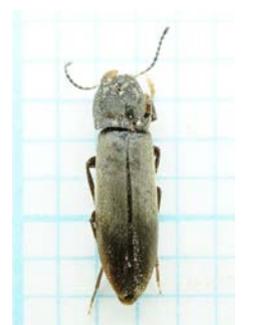
396. ポリアヒメツツキノコムシ



397. ケナガナガツツキノコムシ



398. ツヤツツキノコムシ



399. ピロウドホソナガクチキ



400. フタモンヒメハナノミ



401. シズオカヒメハナノミ



402. ウスキヒメハナノミ



403. ヒメハナノミ sp.



404. ツヤケシヒメホソカタムシ



405. ツヤナガヒラタホソカタムシ



406. オオメキバネハムシダマシ



407. アカガネアオハムシダマシ



408. フジナガハムシダマシ



409. ヒメホソハマベ
ゴミムシダマシ



410. ヒゲフトゴミムシダマシ



411. ハマヒョウタン
ゴミムシダマシ



412. ニホンキマワリ 基亜種



413. クロツヤキマワリ



414. スジコガシラゴミムシダマシ



415. マルチビゴミムシダマシ



416. コスナゴミムシダマシ



417. ヒメスナゴミムシダマシ



418. ヒメカクスナゴミムシダマシ



419. ミツノゴミムシダマシ♂



420. コクヌストモドキ



421. モトヨツコブエグリ
ゴミムシダマシ



422. クリイロクチキムシ



423. アカツヤバネクチキムシ



424. ホンドクロオクチキムシ



425. ナミクチキムシ



426. ヒメナガニジゴミムシダマシ



427. ホソナガニジゴミムシダマシ



428. モンキゴミムシダマシ
基亜種



429. ヒラツノキノコ
ゴミムシダマシ



430. クロキノコゴミムシダマシ
基亜種



431. ヒゴキノコゴミムシダマシ



432. アオツヤキノコ
ゴミムシダマシ



433. ヒメオビキノコ
ゴミムシダマシ



434. ツノボソキノコ
ゴミムシダマシ



435. ベニモンキノコ
ゴミムシダマシ 基亜種



436. アメイロホソゴミムシダマシ



437. ルリゴミムシダマシ



438. オオニジゴミムシダマシ



439. オオツヤホソゴミムシダマシ



440. ニシズビロキマワリモドキ



441. サトユミアシゴミムシダマシ
基亜種



442. ホンドニジゴミムシダマシ



443. ズグロカミキリモドキ



444. キバネカミキリモドキ



445. アオカミキリモドキ



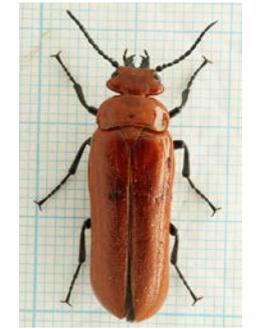
446. モモブトカミキリモドキ



447. フタイロカミキリモドキ
基亜種



448a. ヒラズゲンセイ♂



448b. ヒラズゲンセイ♀



449. キアシクビソムシ



450. ホソクビアリモドキ
基亜種



451. ケオビアリモドキ



452. クロオビホソアリモドキ



453. クロホソアリモドキ



454. ウスモンホソアリモドキ



455. ヨツボシホソアリモドキ



456. ホソアシツカク



457. クロフナガタハナノミ



458. ウ斯巴カミキリ 基亜種



459. ノコギリカミキリ 基亜種



460. ムネアカクロハナカミキリ



461. オオヨツシハナカミキリ



462. キバネニセハムシ
ハナカミキリ



463. クロカミキリ



464. シロオビチビヒラタカミキリ



465. テツイロヒメカミキリ



466. キマダラカミキリ 基亜種



467. ミヤマカミキリ



468. エグリトラカミキリ



469. ヨツシジトラカミキリ



470. トゲヒゲトラカミキリ



471. キイロトラカミキリ



472. ヒメクロトラカミキリ



473. コジマヒゲナガ
コバネカミキリ



474. カッコウメダカミキリ



475. ベニカミキリ



476. ヒトオビアラゲカミキリ



477. クワカミキリ



478. シロスジカミキリ



479. ナガゴマフカミキリ



480. カタシロゴマフカミキリ



481. ゴマダラカミキリ



482. キボシカミキリ 基亜種



483. リンゴカミキリ



484. キクスイカミキリ
基亜種



485. ハイイロヤハズカミキリ



486. ワモンサビカミキリ



487. トガリシロオビサビカミキリ
基亜種



488. アトモンサビカミキリ



489. ヤツメカミキリ



490. ラミーカミキリ



491. チャバラマメゾウムシ



492. アズキマメゾウムシ



493. ユリクビナガハムシ



494. アカクビナガハムシ



495. キバラリクビボソハムシ



496. トゲアシクビボソハムシ



497. トホシクビボソハムシ



498. アカクビボソハムシ



499. ヤマイモハムシ



500. セスジクビボソハムシ



501. イノコズチカメノコハムシ



502. タケトゲハムシ



503. ヨモギハムシ



504. ハッカハムシ



505. コガタルリハムシ



506. フジハムシ



507. ダイコンハムシ



508. ヤナギルリハムシ



509. カミナリハムシ



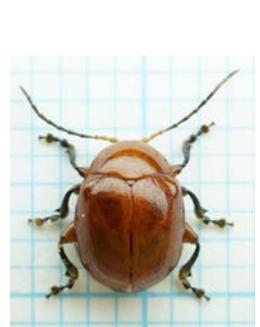
510. サメハダツブノミハムシ



511. ホソルリトビハムシ



512. ヘリグロテントウノミハムシ



513. オオアカマルノミハムシ



514. タバコノミハムシ



515. キバネマルノミハムシ



516. クロボシトビハムシ



517. キアシノミハムシ



518. チュウジョウクスジノミハムシ



519. キスジノミハムシ



520. ナトビハムシ



521. ルリウスバハムシ



522. イチゴハムシ



523. ニレハムシ



524. ハンノキハムシ



525. イチモンジハムシ



526. ウリハムシモドキ



527. ウリハムシ



528. クロウリハムシ 基亜種



529. クワハムシ



530. ケバククロナガハムシ



531. フタスジヒメハムシ



532. ヨツボシハムシ



533. ドウガネツヤハムシ



534. クロオビツツハムシ



535. キイロナガツツハムシ



536. ムナキルリハムシ



537. キアシルリツツハムシ



538. クロボシツツハムシ



539. タマツツハムシ



540. ムシクソハムシ



541. アカガネサルハムシ 基亜種



542. クロオビカサハラハムシ



543. マダラアラゲサルハムシ



544. カサハラハムシ



545. ドウガネサルハムシ



546. イモサルハムシ



547. アオバネサルハムシ



548. ウスイロサルハムシ



549. サクラサルハムシ



550. アオガネヒメサルハムシ



551. ムネアカキバネサルハムシ



552. スネアカヒゲナガゾウムシ



553. ウスモンツツ
ヒゲナガゾウムシ



554. シリジロメナガ
ヒゲナガゾウムシ



555. シロヒゲナガゾウムシ
基亜種



556. マダラヒゲナガゾウムシ



557. ナガフトヒゲナガゾウムシ



558. コモンヒメヒゲナガゾウムシ



559. ワタミヒゲナガゾウムシ



560. ヒゲナガゾウムシ科の一種



561. アシナガオトシブミ



562. カシルリオトシブミ



563. ヒメクロオトシブミ



564. クロケシツブチョッキリ



565. ブドウハマキチョッキリ



566. コナライクビチョッキリ



567. クチナガチョッキリ



568. カシルリチョッキリ



569. モモチョッキリ



570. モンチビゾウムシ



571. コクゾウムシ



572. シバオサゾウムシ



573. イチゴハナゾウムシ



574. ジュウジチビシギゾウムシ



575. コナラシギゾウムシ



576. クヌギシギゾウムシ



577. シギゾウムシ族の一種



578. ウスグロアシプトゾウムシ



579. ガロアノミゾウムシ



580. カシワノミゾウムシ



581. ヤドリノミゾウムシ



582. ニレノミゾウムシ



583. アカアシノミゾウムシ



584. エソヒメゾウムシ



585. スベリビユサルゾウムシ



586. サルゾウムシ亜科の一種



587. トゲハラヒラセクモゾウムシ



588. ササチャバネキクイゾウムシ



589. ハマベキクイゾウムシ



590. マエパラナガ
クチカクシゾウムシ



591. ニセマツノシラホシゾウムシ



592. ヒサゴクチカクシゾウムシ



593. アシナガオニゾウムシ



594. ヤサイゾウムシ



595. ハマベゾウムシ



596. ケバクチプトゾウムシ



597. ハリゲカシワ
クチプトゾウムシ



598. シロコブゾウムシ



599. ケチビコフキゾウムシ



600. ニシカワツヤツチゾウムシ



601. トビイロヒョウタンゾウムシ



602. サビヒョウタンゾウムシ



603. クワヒョウタンゾウムシ



604. スグリゾウムシ



605. フトゲチビツチゾウムシ



606. オオタコゾウムシ



607. アルファルファタコゾウムシ



608. ミスジマルゾウムシ



609. タコゾウムシ亜科の一種



610. ハスジカツオゾウムシ



611. コゲチャツツゾウムシ



612. クロクチカクシゾウムシ



613. クリアアナキゾウムシ



614. リンゴアナキゾウムシ



615. オリーブアナキゾウムシ



616. ホホジロアシナガゾウムシ



617. オジロアシナガゾウムシ



618. ウスモンカレキゾウムシ



619. ニホンキクイムシ



620. アカクビキクイムシ



621. Scolytinae sp.1



622. Scolytinae sp.2



623. カシノナガキクイムシ

ヤツボシシロカミキリ, その後 (3)

小西和夫¹⁾

はじめに

ヤツボシシロカミキリがツシマナナカマドの生葉に集まり後食する実態を, 2018年から3回にわたり本誌で報告してきた。最初の報文では兎和野で初めて本種を発見した樹を, 枯死部にカミキリらしき羽脱孔が認められたこともあって, 「発生木」と推定している。その後も, 毎年確実に成虫が得られるこの樹を指して「発生木」と表現してきたが, 本種が本当にこの樹に産卵し, 幼虫がこれを食樹として利用しているのかどうか, 確認はできていなかった。

今回は「ツシマナナカマドからヤツボシシロカミキリを割り出し, 確認されると最初の正確な記録となります」という, 中村慎吾氏からの私信に後押しされて, 経験は無かったが材採集を試みることにした。

ツシマナナカマド材 (観察記)

2020年7月, 兎和野から伐採後1年未満の新鮮なツシマナナカマドの枯枝(径3~5cm, 長さ30~50cm)を14本持ち帰った。枯枝は2020年に伐採された樹及び風で幹から折れた樹の枝から採取した。衣装ケースの中央に乾燥を防ぐため水を含ませたフローラルフォームを置き, 収納した枯枝は時折霧吹きで湿らせた(図1)。

2020年8月下旬から夥しい量のフラスが見られ(図2), 11月6日当該の材を割ると体長15~6mmほどのフトカミキリ亜科(ヒメヒゲナガカミキリ?)らしき幼

虫が現れた(図3-4)。また2021年3月20日に少し肌理の細かいフラスが出た材で, 今度は体長13mmほどの幼虫が, 芯に向けて穿たれた穴から顔を出した。下口節の紋の形状がタカサゴシロカミキリに似ており, ヤツボシシロカミキリの幼虫と思われた(図5-6)。しかし埋め戻した枝をケース内に混入し, 後に複数種が羽脱したため特定はできなかった。

2021年4月15日以降, *ヒメヒゲナガカミキリ4exs.(以下「カミキリ」略) *ニセビロウド4exs. エゾサビ2exs. *セミスジコブヒゲ1ex. *シラホシ1ex. *キモン2exs.(図7) ドイ1ex. が羽脱した。*印は「日本産カミキリムシの食樹と生態」(中村, 2019)にナナカマドを食樹とする旨の記載がない種である。

ヤツボシシロカミキリは5月22日を皮切りに7月19日まで18exsが羽脱した(図8-11)。羽脱孔は3mm径の真円(図12)。蛹室は芯に向けて穿たれ, 内部は楕円形で中央部が膨れている(図14-15)。奥行きは17-18mm程で, 内部に微細な木屑が見られる。近縁のタカサゴシロカミキリと同じく, 樹皮下を摂食(図13)した後に心材部を芯に向けて穿孔して蛹室を作るようである。羽脱直後は体が柔らかく, 触角も巻いている。別の衣装ケースにバラ科の樹の生葉を入れて後食を観察し, 但馬方面に出かける折に兎和野に寄って, 枯枝の採取地に放した。

前回確認した公園のヒメリンゴ以外にハナカイドウ



図1 ツシマナナカマドの枯枝



図2 夥しいフラス(2020.8月下旬)

¹⁾ Kazuo KONISHI 兵庫県西宮市



図3, 図4 フトカミキリ亜科(ヒメヒゲナガカミキリ?)の幼虫(2020.11.6)



図5, 図6 ヤツボシシロカミキリ?の幼虫(2021.3.20)



図7 ツシマナナカマドより羽脱したキモンカミキリ(2021.5.13-14)

キモンカミキリはクルミ類を宿主としているが、「広島県のカミキリムシ」においてミズキから羽脱した個体を「ミズキキモンカミキリ(仮称) *Mensia* sp.1」として報告されており、本個体の斑紋や触角といった形態的特徴もその特徴に合致した。しかし、キモンカミキリは近似した不明な種群が知られており、今後検討を要するグループである(大林・新里, 2007)とされていることから、現時点での種名はキモンカミキリに留めておく。



図8 ヤツボシシロカミキリ(羽脱後の個体)



図9 ヤツボシシロカミキリ(羽脱直後の個体)



図 10 ヤツボシシロカミキリ (羽脱後の個体)



図 11 ヤツボシシロカミキリ (羽脱直後の個体)



図 12 ヤツボシシロカミキリ (羽脱孔)



図 13 ヤツボシシロカミキリの摂食痕 (樹皮下)



図 14, 図 15 ヤツボシシロカミキリの蛹室



図 16 ヒメリンゴ生葉 (後食)



図 17 ハナカイドウ生葉 (後食)

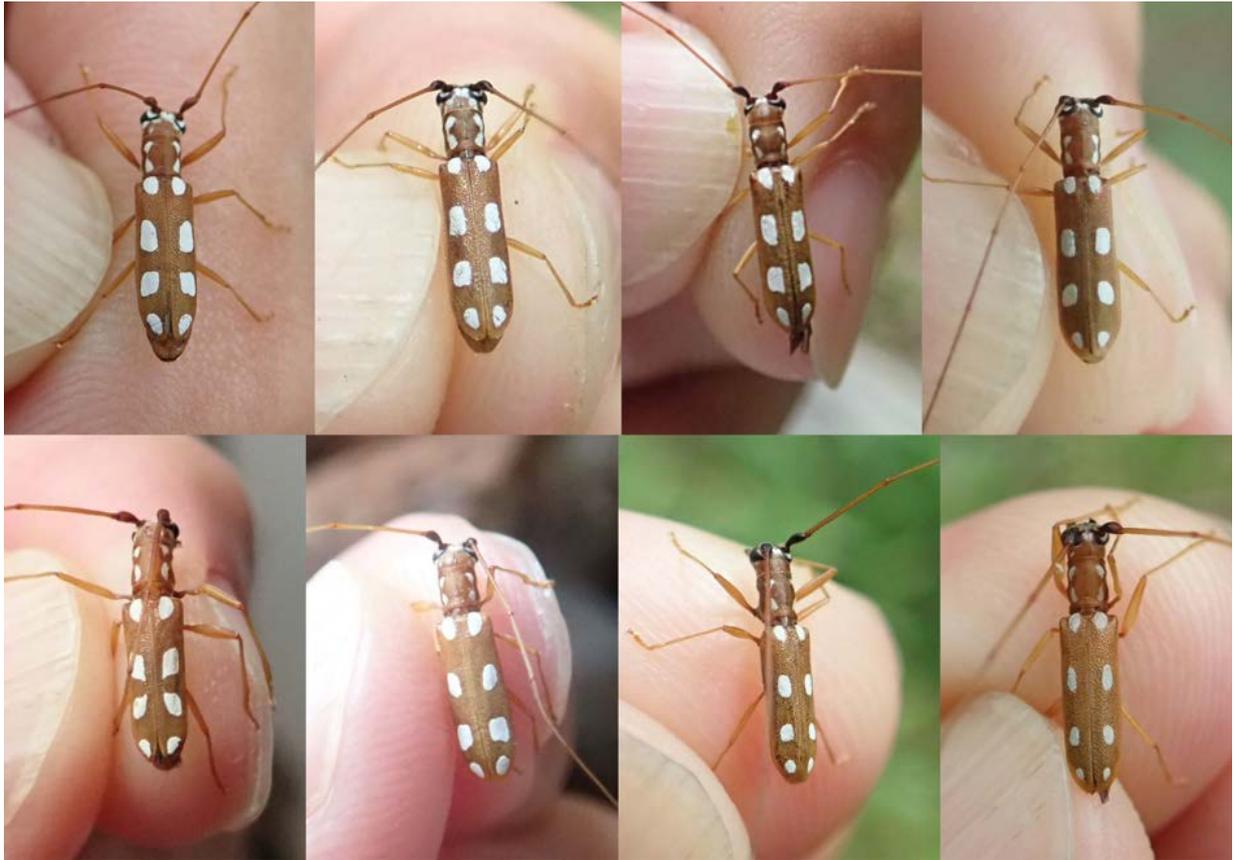


図 18 ヤツボシロカミキリの斑紋変異

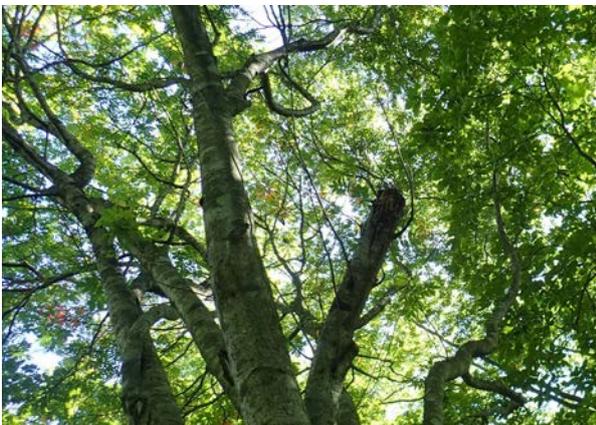


図 19 ツシマナナカマド (枯枝や折れた幹が目立つ樹)



図 20 ツシマナナカマド (根元の枯枝)



図 21 タカサゴシロカミキリ (兎和野 2021.6.24)

(バラ科)の葉も食べた(図16-17)。飼育環境では何でも食べるのかとハナミズキ(ミズキ科)を与えてみたが、これには見向きもしなかった。

兎和野にて

2021年6月17日から7月21日まで兎和野を4回訪れたが、その度にいつもの「発生木」で本種が得られた。また今回初めて、300mほど離れた地点にある林縁の3本の樹でも、成虫を確認した。これらの樹々の生葉を掬うと毎回2~3頭の成虫が網に入る。いずれもひよる長く伸びて枯枝が目立つ樹で、「発生木」と良く似た雰囲気である(図19)。周囲は10mほどの高木に囲まれており、光を求めて上へと枝葉を伸ばしているが、陽のささない枝は葉を落として立ち枯れている。また林縁にあって風の影響を受けやすいためか、幹が折れた跡も認められる。根元には「発生木」と同様、折れた幹のものと思われる枯枝もあった(図20)。

今季は材から羽脱した18頭を含めて多数の成虫を撮影できた。斑紋等の変異の幅は小さいものの、白紋の形状や地色(褐色)の明暗などには個体間で差異が見られる(図18)。

6月24日に「発生木」で本種を確認した後、200mほど離れたノグルミから、兎和野で初めてタカサゴシロカミキリ1ex.を得た(図21)。同時期、同所に生息す

る近縁種間に食樹の違い以外の生殖的隔離はあるのだろうか。

御嶽遠征

2021年7月15日、ズミを食樹としている本種を観察するため、対馬と並び、以前から特産地として有名な開田高原へ向かった。ズミは葉の形に変異があり、慣れるまで車からの判別は難しかったが、標高1100~1300m付近の林内や林縁に点在している。1150m地点の別荘地の中を小川が流れ、その脇にあった高さ7~8mの樹の生葉でヤツボシシロカミキリ2exs.が得られた(図22-23)。数本が密集していて陽当たりの悪い交差部分には枯枝も認められる。

御嶽のナナカマドは亜高山帯の1700mを超えた辺りから見られる。次の日には、田の原でナナカマドを掬ったが生葉からは何も得られず、終わりの花や足元のショウマ等から中部山岳地特有のピドニアが多数網に入った(図24)。

カミキリの聖地・御嶽への初めての遠征では、ズミに棲む妖精と共に、憧れのハイマツの乙女(オトメクビアカハナカミキリ *Gaurotes otome* Ohbayashi, 1959)にも出会うことができた(図25-26)。



図22 ヤツボシシロカミキリ(ズミの生葉 2021.7.15 開田高原)



図23 ズミの樹(2021.7.15 開田高原)



図24 御嶽のピドニア(2021.7.16 田の原)

左からブービエヒメハナカミキリ(以下「ヒメハナカミキリ」略)、シンシュウ、マツシタ、ニッコウ(亜種 *ohbayashii*)、シナノ、と思われる。



図 25 オトメクビアカハナカミキリ (2021.7.16 田の原)



図 26 ハイマツの花 (2021.7.16 田の原)

おわりに

今回は新しい伐採枝から成虫を割り出し、兎和野のヤツボシシロカミキリの幼虫がツシマナナカマドを食樹として利用していることが確認できた。ただこれらの材は人為的に伐採、あるいは風倒木を処理して道端に積まれた枯枝であり、自然環境のなかでは例外的な状態である。

本種が後食に集まる樹に共通するのは、立ち枯れた枝や折れた幹が目立つことだった。かねて貧相な特定の樹の生葉に集まるのを不思議に思ってきたが、衰弱した樹の枯枝に産卵するためであるとすれば納得がいく。立ち枯れの枝に紐をかけ一部を折ってみたところ、本種のもと思われる 3mm 径の真円の脱出孔も確認された(図 27)。フトカミキリ亜科の成虫の多くは、幼虫期に食べた樹の生葉や樹皮を後食する。また狭食性のキボシカミキリ等では衰弱した寄主樹木が発する揮発物質に誘引されて成虫が集まるといふ。個体数の少ない種が産卵に適した枯枝のある樹に誘引され、共に生葉を後食して雌雄遭遇の機会が増すのは、効率的な繁殖のために有効だろう。

2018年に初めて本種と出会った「発生木」は、太い幹が割れてきており上部の枝もやがて枯れていくだろう(図 28)。かつて幹の枯死部に認めた羽脱孔は本種のものでは無かったが、この樹の枯枝で発生を繰り返してきた可能性は高く、「発生木」との表現も誤りではなかったかもしれない。これまで本種を強く誘引してきたこの樹も、いずれ伐採される運命にあると思われる。しかし「発生木」以外にも、樹勢に翳りの見られるツシマナナカマドをより広い範囲で見つけることができた。バラの妖精たちがこれらの樹々に惹かれて集まり、生葉や枯枝で命を繋ぐ光景を思い浮かべて、安堵している。

謝辞

最後に、品切れだった「日本産カミキリムシの食樹と生態」を譲っていただいた際、幼虫もツシマナナカマ



図 27 ツシマナナカマド(立枯の枝の羽脱孔)



図 28 幹が折れた「発生木」

ドを食樹として利用していることの確認が必要であると指摘、背中を押していただいた中村慎吾氏に深い感謝と敬意を表します。

参考文献

- 大林延夫・新里達也（編著），2007．日本産カミキリムシ．東海大学出版会．818pp.
- 黒田祐一，1950．タカサゴシロカミキリの幼虫・蛹及び習性に就いて．昆虫学評論，5(1)；41-46.
- 中村慎吾，1955．シロオビカミキリとタカサゴシロカミキリの幼虫と蛹について．ニュー・エントモロジスト，4(1~2)；38-44.
- 中村慎吾，2019．日本産カミキリムシの食樹と生態．比婆科学教育振興会．393pp.
- 広島虫の会，2018．広島県のカミキリムシ．p132.
- 深谷緑，2015．キボシカミキリの配偶行動と生態情報利用，体サイズ．カミキリムシの生態．北隆館．p157-185.

姫路科学館収蔵の兵庫県産オサムシ標本と姫路市のオサムシ文献記録

宮下直也¹⁾

はじめに

兵庫県のオサムシの分布記録は高橋 (1998), 高橋 (1999) で整理されているが, 姫路市など播磨地域における記録は他地域と比較して少ない。以後いくつかの追加記録 (e.g., 神吉・石川, 2017; 神吉, 2017; 神吉, 2020) があるが, 兵庫県南東部が調査地域となっているものが多い。

筆者は姫路科学館の刊行物である「科学の眼」572号 (2022) において, オサ掘りと姫路市のオサムシ相について紹介した。その事前・事後調査として, 兵庫県下のオサムシの分布に関する文献調査及び姫路科学館の収蔵標本調査を行った。市町村単位で未記録の種などが確認され, 兵庫県のオサムシ相を明らかにする上で貴重な資料と考えられるため報告する。

なお, ここで扱う「オサムシ」とは, オサムシ亜科 Carabinae に属する分類群を指す。

姫路科学館の昆虫コレクション

姫路科学館収蔵の昆虫標本のうち, トリバナエゲハ類の収集家であった故・小林平一氏のコレクションについては概ねその整理および目録 (e.g., 徳重ほか, 2021; 宮下ほか, 2022) の刊行を終えている。一方, その他 1300 ほどあるドイツ型標本箱の昆虫標本についてはほぼ手つかずで, その整理や公開は進んでいない現状がある。これらの未整理資料は, 小規模の寄贈・寄託コレクションや, 姫路科学館職員および関係者の採集物などからなる国内外の雑多な昆虫標本群である。飼育個体やラベルのない標本なども多く見受けられるものの, 兵庫県産のチョウやコウチュウなどの古い標本も数多く存在し, 兵庫県の昆虫相を知る上で重要と言える。

資料の調査

姫路科学館収蔵および筆者所蔵の兵庫県産オサムシ標本 188 個体について, 採集ラベルの情報の整理を行った。採集場所は郵便番号検索 (日本郵便株式会社) や歴史的行政区域データセットβ版 (CODH), 国勢調査町丁・字等別境界データセット (CODH) を用いて, 現在の地

名と対応させた。同定済み標本についてはシノニムの確認を行った。未同定標本や, 同定済みであっても分布や形態に疑問が生じたものについては, 井村・水沢 (2013) や上野ほか (1985) を参考に同定を行った。なお, 館蔵標本については, あらかじめ交尾器が摘出されたもの以外, 交尾器の検討は行わなかった。

結果：姫路科学館の兵庫県産オサムシ標本

2属9種が確認された。各種個体毎のラベル情報について表1から9に示した。種の配列および和名, 学名については鈴木 (2022), 井村・水沢 (2013) に準拠した。凡例は次の通りである。

採集場所 (原文) ラベル記載通りに採集場所を記した。ただし, 同一採集場所の表記ゆれと判断される場合, あるいは採集ラベルとは別に採集場所のみのラベルが付されている場合は括弧内に別の表記を併記し, 同日の採集個体とまとめた。

採集場所 (解釈) 市町村名と大字・字の組み合わせが誤っているものや, 誤字と考えられるものなどを解釈し, 自治体の廃置分合も考慮した上で, 現在の地名を記した。

採集日 ラベルから読み取ったものをアラビア数字で西暦/月/日の形式で記した。

個体数 標本の個体数と性別を記した。

採集者 ラベル記載通りに採集者を記した。

備考 その他必要と考える情報を記した。

結果：姫路市のオサムシの文献記録

高橋 (1998, 1999) で取り上げられていない文献記録および以降に発表された文献記録について表10に示した。凡例は次の通りである。

文献 著者と発行年を記した。

種名 文献の記載通りの種名を記した。

採集場所 文献の地名を解釈し, 現在の地名の大字以降を記した。

採集日 文献の記載通りの採集日 (ない場合は調査期間など) を記した。

備考 その他必要と考える情報を記した。

¹⁾ Naoya MIYASHITA 姫路科学館

結言・今後の展望

姫路科学館収蔵の兵庫県産オサムシ標本は故・尾崎健次氏のコレクションが中心となっている。氏のコレクションには、採集者が記されていないものも多く見受けられるが、これらのほとんどは尾崎氏本人による採集物ではないかと考えられる。

姫路科学館には、本報文で取り上げた兵庫県産以外にも日本産のオサムシ標本が178個体収蔵されており、採集場所としては関東や北海道のものが多い。これらについても情報の整理が済んでいるので、今後姫路科学館のホームページ上などで公開していく見込みである。収蔵資料の利用促進につながればと考えている。

文献

- 井村有希・水沢清行, 2013. 日本産オサムシ図説. 昆虫文献 六本脚. 368pp.
- 上野俊一・黒澤良彦・佐藤正彦, 1985. 原色日本甲虫図鑑 (II). 保育社. 14-53pp.
- 神吉正雄・石川延寛, 2017. 兵庫県南東部におけるオサムシの棲息状況 - 三田市北西部から篠山市南西部一帯について -. きべりはむし, 39(2)9-14.
- 神吉正雄, 2017. 兵庫県南東部におけるオサムシの棲息状況 - 三田市北西部から篠山市南西部一帯について - (続報) . きべりはむし, 40(1)11-13.
- 神吉正雄, 2020. 芦屋市の昆虫調査報告 II - 芦屋市のオサムシの棲息状況とその生態 - きべりはむし, 43(2)13-20.
- 木村三郎, 1984. 広峰, 増位山系の昆虫. てんとうむし, 271(9):53-58.
- 鈴木茂, 2022. 日本列島の甲虫全種目録 (2022年) . <https://japanesebeetles.jimdofree.com> (参照 2022年4月4日) .
- 高橋寿郎, 1998. 兵庫県におけるオサムシの分布 (1). きべりはむし, 26(2):23-31.
- 高橋寿郎, 1999. 兵庫県におけるオサムシの分布 (2). きべりはむし, 27(1):1-8.
- 徳重哲哉・森正人・福崎一彦, 2021. 姫路科学館収蔵資料目録 第11号 小林平一コレクション 昆虫編 9 コウチュウ目 (クワガタムシ科を除く)・その他の目. 姫路科学館. 106pp.
- 日本郵便株式会社. 郵便番号検索. <https://www.post.japanpost.jp/zipcode/index.html> (参照 2022年4月4日) .
- 姫路市, 2017. 姫路市わがまち生物多様性調査報告書 (伊勢地区編) . 姫路市環境局環境政策室. 86pp.
- 姫路市, 2018. 姫路市わがまち生物多様性調査報告書 (上菅地区編) . 姫路市環境局環境政策室. 88pp.
- 宮下直也・森正人・福崎一彦, 2022. 姫路科学館収蔵資料目録 第12号 小林平一コレクション 昆虫編 10 シロチョウ科・シジミタテハ科・シジミチョウ科・セセリチョウ科 およびガ類. 姫路科学館. 200pp.
- 森正人, 2018. 故・小林平一氏のゴミムシ標本について. きべりはむし, 40(2)23-25.
- ROIS-DS 人文学オープンデータ共同利用センター, 2020. 国勢調査町丁・字等別境界データセット. <https://geoshape.ex.nii.ac.jp/city/> (参照 2022年4月4日) .
- ROIS-DS 人文学オープンデータ共同利用センター, 2021. 歴史的行政区画データセット β版. <https://geoshape.ex.nii.ac.jp/city/> (参照 2022年4月4日) .

表1 姫路科学館収蔵のクロカタピロオサムシ *Calosoma maximowiczi* Morawitz, 1863

採集場所 (原文)	採集場所 (解釈)	採集日	個体数	採集者	備考
ÖUGO KAMIGORI	相生市, 矢野町, 小河	1996/05/01	1 ♂	米村	兵庫県下で「オオウゴ」「オウウゴ」という地名を見つけれず。上郡町と相生市の境界に位置する小河 (おうご) と考えられる。尾崎健次コレクション。
JAPAN: Hyōgo-ken, Himeji-shi, Shosha, Shosha-zan [書写山], (alt. 180 m), 34.882°N, 134.653°E	姫路市, 書写, 書写山, (海拔 180 m), 34.882°N, 134.653°E	2021/01/13	1 ♂	Naoya MIYASHITA	オサ掘り。筆者所蔵。
JAPAN: Hyōgo-ken, Himeji-shi, Shirakuni, Masui-zan [増井山], (alt. 50 m), 34.863°N, 134.710°E	姫路市, 白国, 増井山, (海拔 50 m), 34.863°N, 134.710°E	2021/04/27	2 ♂	Naoya MIYASHITA	筆者所蔵
JAPAN: Hyōgo-ken, Himeji-shi, Shosha, Shosha-zan [書写山], (alt. 60 m), 34.884°N, 134.643°E	姫路市, 書写, 書写山, (海拔 60 m), 34.884°N, 134.643°E	2021/05/13	1 ♂	Naoya MIYASHITA	筆者所蔵

表2 姫路科学館収蔵のエゾカタピロオサムシ *Calosoma chinense chinense* Kirby, 1818

採集場所 (原文)	採集場所 (解釈)	採集日	個体数	採集者	備考
FUJIE AKASHI	明石市, 藤江	1962/09/06	1 ♂	米村	尾崎健次コレクション
FUJIE AKASHI	明石市, 藤江	1962/10/02	1 ♀	-	尾崎健次コレクション
FUJIE AKASHI	明石市, 藤江	1963/07/24	1 ♀	-	尾崎健次コレクション

表3 姫路科学館収蔵のアキタクロナガオサムシ 基亜種 *Carabus porrecticollis porrecticollis* Bates, 1883

採集場所 (原文)	採集場所 (解釈)	採集日	個体数	採集者	備考
FIRADANI SAYO (表記ゆれ: HIRADANI SAYO HYOGO)	佐用郡, 佐用町, 豊福, 平谷	1964/10/25	1 ♂ 2 ♀	-	ホソアオクロナガオサムシ <i>Carabus porrecticollis porrecticollis</i> として。尾崎健次コレクション。
KOZUKI SAYŌ	佐用郡, 佐用町, 上月	1965/10/17	4 ♂ 6 ♀	-	ホソアオクロナガオサムシ <i>Carabus porrecticollis porrecticollis</i> として。尾崎健次コレクション。
AKIZATO SAYO	佐用郡, 佐用町, 秋里	1968/03/28	1 ♂	米村	ホソアオクロナガオサムシ <i>Carabus porrecticollis porrecticollis</i> として。尾崎健次コレクション。
KUROISHI KAMIGŌRI AKŌ	赤穂郡, 上郡町, 旭日乙, 黒石	1975/04/23	5 ♂ 2 ♀	-	ホソアオクロナガオサムシ <i>Carabus porrecticollis porrecticollis</i> として。尾崎健次コレクション。
KURATOKO ICHINOMIYA SHISO	宍粟市, 一宮町, 倉床	1975/05/25	1 ♀	-	ホソアオクロナガオサムシ <i>Carabus porrecticollis porrecticollis</i> として。尾崎健次コレクション。
M.t MIKUSAYAMA KAWABE	川辺郡, 猪名川町, 三草山	1975/09/06	1 ♀	-	ホソアオクロナガオサムシ <i>Carabus porrecticollis porrecticollis</i> として。尾崎健次コレクション。

表4 姫路科学館収蔵のクロナガオサムシ 基亜種 *Carabus procerulus procerulus* Chaudoir, 1862

採集場所 (原文)	採集場所 (解釈)	採集日	個体数	採集者	備考
M.T KASAGATA KANZAKI	神崎郡, 笠形山	1967/03/28	1 ♂	-	尾崎健次コレクション
-	-	-	1 ♀	-	ラベルなし。姫路市夢前町助野 1999/5/1-3 友久登樹夫採集の可能性が高い。
姫路市ゆめさきの森	姫路市, 夢前町, 寺, ゆめさきの森公園	2013/08/04	1 ♀	H.nakahama	中濱春樹コレクション
JAPAN: Hyōgo-ken, Himeji-shi, Shosha, Shosha-zan [書写山], (alt. 100 m), 34.91°N, 134.65°E	姫路市, 書写, 書写山, (海拔 100 m), 34.91°N, 134.65°E	2020/12/16	2 ♂	Naoya MIYASHITA	筆者所蔵
JAPAN: Hyōgo-ken, Himeji-shi, Katanade, Shosha-zan [書写山], (alt. 90 m), 34.892°N, 134.641°E	姫路市, 刀出, 書写山, (海拔 90 m), 34.892°N, 134.641°E	2021/03/07	1 ♂	Naoya MIYASHITA	筆者所蔵
JAPAN: Hyōgo-ken, Himeji-shi, Shosha, Shosha-zan [書写山], (alt. 310 m), 34.892°N, 134.661°E	姫路市, 書写, 書写山, (海拔 310 m), 34.892°N, 134.661°E	2021/11/24	1 ♀	Naoya MIYASHITA	筆者所蔵
JAPAN: Hyōgo-ken, Himeji-shi, Shosha, Shosha-zan [書写山], (alt. 180 m), 34.894°N, 134.644°E	姫路市, 書写, 書写山, (海拔 180 m), 34.894°N, 134.644°E	2022/01/18	1 ♀	Naoya MIYASHITA	筆者所蔵

表5 姫路科学館収蔵のアキオサムシ 基亜種 *Carabus chugokuensis chugokuensis* (Nakane, 1961)

採集場所 (原文)	採集場所 (解釈)	採集日	個体数	採集者	備考
HIRADANI SAYO	佐用郡, 佐用町, 豊福, 平谷	1963/08/15	1 ♂ 1 ♀	-	アキオサムシ <i>Apotomopterus japonicus chugokuensis</i> として。尾崎健次コレクション。
M.t HINAKURA TIKUSA SISO	宍粟市, 千種町, 日奈倉山	1968/08/15	1 ♀	-	マヤサンオサムシ <i>Apotomopterus insulicola mayasanus</i> として。尾崎健次コレクション。
IKUNOKŌGEN IKUNO ASAKO	朝来市, 生野町, 栃原, 生野高原	1976/08/01	1 ♀	-	アキオサムシ <i>Apotomopterus japonicus chugokuensis</i> として。尾崎健次コレクション。

表 6 姫路科学館収蔵のオオオサムシ 基亜種 *Carabus dehaanii dehaanii* Chaudoir, 1848

採集場所 (原文)	採集場所 (解釈)	採集日	個体数	採集者	備考
M.T MAYASAN KOBE	神戸市, 灘区, 摩耶山	1960/05/01	1 ♂	-	オオオサムシ <i>Apotomopterus dehaanii dehaanii</i> として尾崎健次コレクション.
YAMADA KOBE	神戸市, 北区, 山田町	1962/05/02	1 ♀	-	オオオサムシ <i>Apotomopterus dehaanii dehaanii</i> として尾崎健次コレクション.
M.T SEPIKO YUMESAKI SIKAMA	姫路市, 夢前町, 雪彦山	1964/05/16	1 ♂	-	オオオサムシ <i>Apotomopterus dehaanii dehaanii</i> として尾崎健次コレクション.
M.T MINOSAN AIOI	相生市, 三濃山	1965/03/15	3 ♂ 4 ♀	-	オオオサムシ <i>Apotomopterus dehaanii dehaanii</i> として尾崎健次コレクション.
M.T MINOSAN AIOI	相生市, 三濃山	1965/05/10	3 ♀	-	オオオサムシ <i>Apotomopterus dehaanii dehaanii</i> として尾崎健次コレクション.
M.T MINOSAN AIOI	相生市, 三濃山	1965/10/13	7 ♂ 6 ♀	-	オオオサムシ <i>Apotomopterus dehaanii dehaanii</i> として尾崎健次コレクション.
M.T MINOSAN AIOI	相生市, 三濃山	1966/03/19	1 ♂ 4 ♀	-	オオオサムシ <i>Apotomopterus dehaanii dehaanii</i> として尾崎健次コレクション.
M.T MINOSAN AIOI	相生市, 三濃山	1967/06/04	1 ♀	中浜	オオオサムシ <i>Apotomopterus dehaanii dehaanii</i> として尾崎健次コレクション.
KAWAKAMI KANZAKI	神崎郡, 神河町, 川上	1967/07/12	1 ♀	米村	オオオサムシ <i>Apotomopterus dehaanii dehaanii</i> として尾崎健次コレクション.

表 7 姫路科学館収蔵のヤコンオサムシ 基亜種 *Carabus yaconinus yaconinus* Bates, 1873

採集場所 (原文)	採集場所 (解釈)	採集日	個体数	採集者	備考
兵庫 新宮	たつの市, 新宮町	1941/08/20	2 ♀	-	アオオサムシとして
しんぐう	たつの市, 新宮町	1956/08/--	1 ♀	-	くるながおさむしとして. 小林平一コレクションの可能性が高い.
-	-	-	1 ♀	-	たつの市新宮町 1956/8 採集の可能性が高い (上に同じ).
SUMA KOBE	神戸市, 須磨区	1962/07/29	1 ♀	-	ヤコンオサムシ <i>Apotomopterus yaconinus yaconinus</i> として. 尾崎健次コレクション.
ÖKURADANI AKASHI	明石市, 大蔵谷	1963/02/07	1 ♀	H. HIRANO	ヤコンオサムシ <i>Apotomopterus yaconinus yaconinus</i> として. 尾崎健次コレクション.
ÖKURADANI AKASHI	明石市, 大蔵谷	1963/02/07	1 ♂	-	ヤコンオサムシ <i>Apotomopterus yaconinus yaconinus</i> として. 尾崎健次コレクション.
M.T HUTATABI KOBE	神戸市, 中央区, 再度山	1963/07/21	1 ♂	TNAKA	ヤコンオサムシ <i>Apotomopterus yaconinus yaconinus</i> として. 尾崎健次コレクション.
TAISANJI KOBE	神戸市, 西区, 伊川谷町, 前開, 太山寺	1964/10/23	1 ♂	-	ヤコンオサムシ <i>Apotomopterus yaconinus yaconinus</i> として. 尾崎健次コレクション.
FIRADANI SAYO (表記ゆれ: FIRADANI EKAWA SAYO, FIRADANI SAYO SAYO)	佐用郡, 佐用町, 豊福, 平谷	1964/10/25	7 ♂ 1 ♀	-	ヤコンオサムシ <i>Apotomopterus yaconinus yaconinus</i> として. 尾崎健次コレクション.
M.T MINOSAN AIOI	相生市, 三濃山	1965/03/15	1 ♂	-	ヤコンオサムシ <i>Apotomopterus yaconinus yaconinus</i> として. 尾崎健次コレクション.
M.T MINOSAN AIOI	相生市, 三濃山	1965/05/10	1 ♀	-	ヤコンオサムシ <i>Apotomopterus yaconinus yaconinus</i> として. 尾崎健次コレクション.
TAISANJI KOBE	神戸市, 西区, 伊川谷町, 前開, 太山寺	1965/06/06	1 ♀	S. OGAWA	ヤコンオサムシ <i>Apotomopterus yaconinus yaconinus</i> として. 尾崎健次コレクション.
KOZUKI SAYO	佐用郡, 佐用町, 上月	1965/10/17	1 ♀	-	ヤコンオサムシ <i>Apotomopterus yaconinus yaconinus</i> として. 尾崎健次コレクション.
KUZAKI KOZUKI SAYO	佐用郡, 佐用町, 久崎	1965/10/19	1 ♀	-	ヤコンオサムシ <i>Apotomopterus yaconinus yaconinus</i> として. 尾崎健次コレクション.
KAKOGAWA TAKASAGO	高砂市, 加古川	1967/03/23	1 ♂	-	ヤコンオサムシ <i>Apotomopterus yaconinus yaconinus</i> として. 尾崎健次コレクション.
URYU AIOI	相生市, 矢野町, 瓜生	1967/06/04	2 ♀	米村	ヤコンオサムシ <i>Apotomopterus yaconinus yaconinus</i> として. 尾崎健次コレクション.
M.T KOMEIZAN AIOI	相生市, 光明山	1967/06/04	1 ♂	-	「こめいざん」ではなく「こうみょうざん」と考えられる. ヤコンオサムシ <i>Apotomopterus yaconinus yaconinus</i> として. 尾崎健次コレクション.
AKIZATO SAYO	佐用郡, 佐用町, 秋里	1967/06/11	1 ♂	米村	ヤコンオサムシ <i>Apotomopterus yaconinus yaconinus</i> として. 尾崎健次コレクション.
Higashiyama Himeji	姫路市, 東山	1970/06/21	1 ♂	lenaga	
Higashiyama Himeji	姫路市, 東山	1970/06/23	1 ♀	lenaga	
KUZAKI KOZUKI SAYO	佐用郡, 佐用町, 久崎	1973/06/30	1 ♀	-	ヤコンオサムシ <i>Apotomopterus yaconinus yaconinus</i> として. 尾崎健次コレクション.
YOKOYUKI FAGA SISO	養父市, 大屋町, 横行	1974/06/15	1 ♂	-	ヤコンオサムシ <i>Apotomopterus yaconinus yaconinus</i> として. 尾崎健次コレクション.
KUROISHI KAMIGÖRI AKÖ	赤穂郡, 上郡町, 旭日乙, 黒石	1975/04/23	2 ♀	-	ヤコンオサムシ <i>Apotomopterus yaconinus yaconinus</i> として. 尾崎健次コレクション.
M.T MINOSAN AIOI	相生市, 三濃山	1976/08/08	1 ♂	-	ヤコンオサムシ <i>Apotomopterus yaconinus yaconinus</i> として. 尾崎健次コレクション.
UENO FAGA SHISO	宍粟市, 賀賀町, 上野	1976/07/31	1 ♂	-	ヤコンオサムシ <i>Apotomopterus yaconinus yaconinus</i> として. 尾崎健次コレクション.
Aoyama.Himeji	姫路市, 青山	1993/04/17	1 ♀	Ueda	
Yamada Himeji (表記ゆれ: Yamada.himeji)	姫路市, 山田町	1993/04/24	1 ♂ 2 ♀	Ueda (表記 ゆれ: ueda)	
Yamada.himeji	姫路市, 山田町	1993/04/28	1 ♂ 3 ♀	ueda	
Aoyama Himeji	姫路市, 青山	1993/05/06	1 ♂	Ueda	
Aoyama Himeji	姫路市, 青山	1993/05/22	1 ♂	Ueda	

表7 続き

Aoyama Himeji	姫路市, 青山	1993/06/05	1 ♀	Ueda	
Yamada Himeji	姫路市, 山田町	1993/06/08	1 ♂	Ueda	
Hunatu Himeji	姫路市, 船津町	1993/07/20	1 ♂	Ueda	
Aoyama Himeji	姫路市, 青山	1993/07/24	1 ♀	Matsuoka	
Aoyama Himeji	姫路市, 青山	1994/05/25	1 ♀	lenaga	
Aoyama Himeji	姫路市, 青山	1995/09/22	1 ♂	lenaga	
Aoyama Himeji	姫路市, 青山	1996/06/11	1 ♂	Konishi	
Aoyama Himeji	姫路市, 青山	1998/07/22	1 ♀	金戸和明	
-	-	-	1 ♀	-	ラベルなし. 姫路市青山 1999/8/3 小松採集の可能性が高い.
-	-	-	1 ♂	-	ラベルなし. 姫路市夢前町助野 1999/5/1-3 友久登樹夫採集の可能性が高い.
青山	姫路市, 青山	1999/06/30	1 ♀	家永	
夢前町助野	姫路市, 夢前町, 助野	1999/07/29	1 ♀	H,nakahama	
JAPAN: Hyōgo-ken, Himeji-shi, Aoyama, 34.852°N, 134.626°E	姫路市, 青山, 34.852°N, 134.626°E	2020/08/30	1 ♀	Yumi IWASAKI	
JAPAN: Hyōgo-ken, Himeji-shi, Jihōji, Sugō-gawa - Tenjin-zan [菅生川 - 天神山], 34.872°N, 134.642°E	姫路市, 実法寺, 菅生川 - 天神山, 34.872°N, 134.642°E	2021/05/13	1 ♀	Naoya MIYASHITA	
JAPAN: Hyōgo-ken, Himeji-shi, Aoyama, 34.852°N, 134.626°E	姫路市, 青山, 34.852°N, 134.626°E	2021/07/17	1 ♂	Shunji MORITA	
JAPAN: Hyōgo-ken, Himeji-shi, Aoyama, 34.852°N, 134.626°E	姫路市, 青山, 34.852°N, 134.626°E	2022/01/23	2 ♂	Kōki YOSHIDA & Ryōma MORIOKA	

表8 姫路科学館収蔵のマヤサンオサムシ 基亜種 *Carabus maiyasanus maiyasanus* Bates, 1873

採集場所 (原文)	採集場所 (解釈)	採集日	個体数	採集者	備考
M.T MINOSAN AIOI	相生市, 三濃山	1958/08/07	1 ♂	Y. MOROKOSHI	マヤサンオサムシ <i>Apotomopterus insulicola maiyasanus</i> として. 尾崎健次コレクション.
M.T DANGAMINE ASAKO	朝来市, 生野町, 栃原, 段ヶ峰	1962/08/03	2 ♂ 2 ♀	-	マヤサンオサムシ <i>Apotomopterus insulicola maiyasanus</i> として. 尾崎健次コレクション.
YAMASAKI SHISO	宍粟市, 山崎町	1963/06/02	1 ♂	-	マヤサンオサムシ <i>Apotomopterus insulicola maiyasanus</i> として. 尾崎健次コレクション.
M,t FUTABABSAN KOBE	神戸市, 中央区, 再度山	1963/07/21	1 ♂	-	FUTABABSAN → FUTATABISAN ? マヤサンオサムシ <i>Apotomopterus insulicola maiyasanus</i> として. 尾崎健次コレクション.
M.T MINOSAN AIOI	相生市, 三濃山	1965/10/13	1 ♀	-	マヤサンオサムシ <i>Apotomopterus insulicola maiyasanus</i> として. 尾崎健次コレクション.
M.T MINOSAN AIOI	相生市, 三濃山	1967/05/04	1 ♀	米村	マヤサンオサムシ <i>Apotomopterus insulicola maiyasanus</i> として. 尾崎健次コレクション.
KAWAFARADANI YUMESAKI SIKAMA (M.t SEPIIKO SHIKAMAHYOGO)	姫路市, 夢前町, 山之内, 字河原谷, 雪彦山	1967/05/14	1 ♂	木下	マヤサンオサムシ <i>Apotomopterus insulicola maiyasanus</i> として. 尾崎健次コレクション.
M.T MINOSAN AIOI	相生市, 三濃山	1967/06/05	1 ♂ 1 ♀	米村	マヤサンオサムシ <i>Apotomopterus insulicola maiyasanus</i> として. 1 ♂ は M. Ohkura, 1967 による同定ラベル付き. 尾崎健次コレクション.
UENO FAGA SHISO	宍粟市, 波賀町, 上野	1976/07/31	1 ♀	-	マヤサンオサムシ <i>Apotomopterus insulicola maiyasanus</i> として. 尾崎健次コレクション.
M.T MINOSAN AIOI	相生市, 三濃山	1976/08/08	1 ♂ 2 ♀	-	マヤサンオサムシ <i>Apotomopterus insulicola maiyasanus</i> として. 尾崎健次コレクション.
Ruriji Nannko T	佐用郡, 南光町, 船越, 瑠璃寺	1993/09/96	1 ♂	Ueda	
-	-	-	1 ♀	-	ラベルなし. 姫路市青山 1998 年金戸和明採集の可能性が高い.
兵庫県夢前町 夢前の森公園	姫路市, 夢前町, 寺, ゆめさきの森公園	2003/06/19	1 ♀	-	ヤマトオサムシとして. 中濱春樹コレクション.
夢前町夢前の森	姫路市, 夢前町, 寺, ゆめさきの森公園	2004/08/03	1 ♀	H,Nakahama	ヤマトオサムシとして. 中濱春樹コレクション.
姫路市夢前町古知之庄	姫路市, 夢前町, 古知之庄	2006/09/02	1 ♂	H.nakahama	中濱春樹コレクション
JAPAN: Hyōgo-ken, Himeji-shi, Shosha, Shosha-zan [書写山], (alt.250 m), 34.896°N, 134.646°E	姫路市, 書写, 書写山, (海拔 250 m), 34.896°N, 134.646°E	2021/03/07	2 ♀	Naoya MIYASHITA	

表 9 姫路科学館収蔵のマイマイカブリ *Carabus blaptoides blaptoides* (Kollar, 1836)

採集場所 (原文)	採集場所 (解釈)	採集日	個体数	採集者	備考
兵庫 山崎	宍粟市, 山崎町	1941/08/10	1 ♂	-	
M.t DARUGMINE ASAKO	朝来市, 生野町, 栃原, 段ヶ峰	1962/08/04	1 ♀	-	DARUGMINE → DARUGAMINE ? 尾崎健次コレクション
AKASIKOEN	明石市, 明石公園	1963/05/12	1 ♂	-	尾崎健次コレクション
M.T DARUGAMINEASAKO (表記ゆれ: DANGAMINE, ASAKO)	朝来市, 生野町, 栃原, 段ヶ峰	1963/06/23	2 ♀	-	尾崎健次コレクション
FIRADANI SAYO SAYO	佐用郡, 佐用町, 豊福, 平谷	1964/10/25	2 ♂ 1 ♀	-	尾崎健次コレクション
M.t MINOSAN AIOI	相生市, 三濃山	1965/05/10	1 ♂	-	尾崎健次コレクション
M.t MINOSAN AIOI	相生市, 三濃山	1965/10/13	2 ♂ 1 ♀	-	尾崎健次コレクション
M.T SIRAFATA KAMIGORI	赤穂郡, 上郡町, 白旗山	1966/07/10	1 ♀	-	尾崎健次コレクション
M.T MINOSAN AIOI	相生市, 三濃山	1966/07/--	1 ♀	中浜	尾崎健次コレクション
MINOSAN AIOI	相生市, 三濃山	1967/02/19	1 ♂	中浜	尾崎健次コレクション
M.T KASAGATA KANZAKI	神崎郡, 笠形山	1967/03/28	1 ♂ 1 ♀	-	尾崎健次コレクション
M.t MINOSAN AIOI	相生市, 三濃山	1968/06/09	1 ♀	-	尾崎健次コレクション
大塩	姫路市, 大塩町	1989/07/15	1 ♀	-	
Rokkaku Himeji	姫路市, 六角	1993/07/20	1 ♂	Yamamoto	
Yamada Himeji	姫路市, 山田町	1993/08/08	1 ♀	Ueda	
兵庫県夢前町神種	姫路市, 夢前町, 神種	2003/07/02	1 ♀	-	中濱春樹コレクション
姫路市夢前町山之内	姫路市, 夢前町, 山之内	2004/07/02	1 ♂	H.nakahama	中濱春樹コレクション
夢前の森公園	姫路市, 夢前町, 寺, ゆめさきの森公園	2005/07/31	1 ♀	H.Nakahama	中濱春樹コレクション
夢前の森公園	姫路市, 夢前町, 寺, ゆめさきの森公園	2005/11/29	2 ♀	H.nakahama	中濱春樹コレクション
姫路市夢前町宮置	姫路市, 夢前町, 宮置	2009/06/23	1 ♀	H.nakahama	中濱春樹コレクション

表 10 姫路市のオサムシの文献記録

文献	種名	採集場所	採集日	備考
木村, 1984	ヒメオサムシ	広峰, 増位山系	1982年3月～ 1982年8月	アキオサムシ 基亜種 <i>Carabus chugokuensis chugokuensis</i> (Nakane, 1961) である可能性が高い。
姫路市, 2017	ヤコンオサムシ	林田町, 上伊勢	2016 夏	
姫路市, 2018	クロナガオサムシ ヤコンオサムシ	夢前町, 芦田 夢前町, 護持	2017 春・夏・秋 2017 春	
森, 2018	セアカオサムシ <i>Carabus (Hemicarabus) tuberculosus</i> Dejean et Boisduval, 1829	船津町, 大沢	1942年 8月中	2exs, CLK, 神崎郡船津村大沢として. CLKは小林平一氏による採集.

兵庫県丹波篠山市におけるキリガ類の若干の記録

宇野宏樹¹⁾

1. はじめに

キリガ類は、秋季から春季にかけて糖蜜トラップに飛来するヤガ科の仲間で、環境評価の指標昆虫として利用できる可能性が示唆されている(八木, 1998; 安達, 2008)。兵庫県のキリガの仲間の多くは高島(2001)や安達(2008)にまとめられているが、現在の丹波篠山市のあたりにおけるキリガ類の調査はあまり進んでいないと思われる。筆者は、2021年に本市でキリガ類の採集・撮影を行ったので、確認できた種を記録しておきたい。なお、撮影した写真については、その日のうちに日付・撮影地・撮影者を写真に差し込み、資料として用いることができるようにしたうえで、データとして筆者が保管している。

2. 確認したキリガ類

今回確認したキリガ類を記録しておきたい。なお、採集データはすべて兵庫県丹波篠山市草野である。掲載順序は日本産蛾類標準図鑑IIに従った。

スミレモンキリガ *Sugitania akirai*

1ex. (撮影・採集, 図1), 28. XI. 2021.

高島(2001)では、兵庫県産の本種は注目種として扱われている。林縁の糖蜜採集時に飛来した個体を撮影・採集した(図1)。

フサヒゲオビキリガ *Agrochola evelina*

1ex. (撮影), 28. XI. 2021.

テンスジキリガ *Conistra fletcheri*

1ex. (撮影, 図2), 28. XI. 2021.

ミヤマオビキリガやカシワオビキリガに似るが、内横線が明瞭で直線的であることなどから、小林(2016)を参照し、テンスジキリガと同定した(図2)。

ナワキリガ *Conistra nawae*

1ex. (撮影, 図3), 28. XI. 2021.

ノコメトガリキリガ *Telorta divergens*

1ex. (撮影), 28. XI. 2021.

1ex. (撮影), 2. XII. 2021.

アオバハガタヨトウ *Antivaleria viridimacula*

1ex. (撮影), 2. XII. 2021.

3. おわりに

丹波篠山市のキリガ類の若干の報告を行った。丹波篠山市のみならず、今後、兵庫県内各地においてキリガ類の記録が少ない地域でも調査が進むことを期待したい。

○参考文献

八木 剛, 1998. 六甲山系布引公園および鉢伏山のキリガ類相. きべりはむし. 26(2): 67-74.

高島 昭, 2001. 兵庫県のセダカモクメ亜科(兵庫県産蛾類分布資料・20). きべりはむし. 29(1): 34-49.

安達誠文, 2008. 宝塚市武庫川溪谷と西宮市甲山のキリガ相. 共生のひろば. 3: 52-59.

小林秀紀(編), 2016. 月刊むし・昆虫図説シリーズ8 日本の冬夜蛾. 112pp. 有限会社むし社.



図1 丹波篠山市産スミレモンキリガ



図2 丹波篠山市産テンスジキリガ



図3 丹波篠山市産ナワキリガ

¹⁾ Hiroki UNO 兵庫県西宮市

2021年に西播磨地域で採集・撮影した注目すべき蛾類の記録

高橋弘樹¹⁾

はじめに

筆者が2021年に兵庫県西播磨地域⁽¹⁾で行ったライトトラップ及び夜間の外灯、樹木、構造物等のルッキングにおいて採集・撮影した蛾類のうち、兵庫県内での記録が少ないか、一般に少ないと思われるものについて報告する。筆者採集・撮影のものは氏名を省略している。

期間内の調査日数はライトトラップが73日、夜間ルッキングが前者と重複する日を含め220日である⁽²⁾。ライトトラップについてはHIDサーチライト55w 1灯を使用したもので、晩秋～早春にはLEDブラックライト20w 1灯を併用している。

なお、サザナミフユナミシャクについては報告済み(高橋, 2021)のため発見時の状況などは省略する。

各種資料

1. ウスベニトガリバ *Monothyatira pryeri* (Butler, 1881) (図1)

3月19日、上郡町の溪谷沿いでライトトラップを行ったところ、薄紅色が美しい羽化直後と思われる本種1頭が白幕の奥の地面に止まっているのを発見し、採集した。ライト点灯は18時40分頃、発見時刻は20時41分だった。

また一週間後に同地で実施したライトトラップは21時前の点灯となったが、その直後、21時10分に1頭が飛来したので採集した。

本種の発生時期は3月下旬～5月、食樹はミズキ、分布は本州・四国・九州(岸田, 2020)となっている。

本県では高島(1999)が「これまで産地が見つかっていなかったが著者は大屋町(養父市)で採集している。西播北部から但馬にかけての山地帯には広く分布するものと思われる。」と報告しているが、その際の2頭以外の記録は見つけられなかった。

【採集記録】 1ex., 兵庫県赤穂郡上郡町金出地, 19. III. 2021.; 1ex., 同地, 26. III. 2021.

2. トガリスジグロエダシャク *Heterarmia dissimilis* (Staudinger, 1897) (図2)

6月20日～21日にかけて宍粟市一宮町の林間キャンプ場「ろくろしの森キャンプ場」で採集を行った。その際のライトトラップで特徴的な外横線を持つシャクガを撮影しており、本種であることを確認した。撮影時刻は0時8分である。

本種は年1化で5～6月に出現。産地は限られており個体数も少ない。中国地方で比較的多くの産地が知られている(岸田, 2011)。本県では1955～56年にかけて柏原(丹波市)で得られた4頭分の記録(山本, 1997)しか見つけられなかった。

【撮影記録】 1ex., 兵庫県宍粟市一宮町東公文, 21. VI. 2021.

3. マエモンオオナミシャク *Triphosa sericata sericata* (Butler, 1879) (図3)

相生市羅漢の里公園内の外灯に照らされた小屋の遮光シートに、12月に見られるものにしては大きな蛾が止まっているのを発見し、採集したところ本種だった。

本種は夏に羽化し、洞穴などに入って越冬、越冬し、翌春外に出て交尾産卵すると思われるが、8月に洞穴内で交尾中の個体が観察されたこともある(杉, 1987)。

県内では養父市(松尾, 2020)で記録されている。

【採集記録】 1ex., 兵庫県相生市矢野町瓜生, 6. XII. 2021.

4. サザナミフユナミシャク *Operophtera japonaria* (Leech, 1891)

本誌で報告済み(高橋, 2021)だが、局地的な分布をしている種(中島・小林, 2017)であるため再掲する。

なお、2021年秋～2022年春には発見できなかった

【採集記録】 1♂, 兵庫県相生市ひかりが丘, 3. I. 2021.

5. メンガタスズメ *Acherontia styx* (Westwood, 1847) (図4)

県内のほぼ全域から記録されているが、近年の記録が激減しているおり、県内での記録全35例のうち、2000年代以降の記録はわずか4例しかない種で、食草

¹⁾ Hiroki TAKAHASHI 兵庫県相生市

はナス科 (ナス, トマト, ジャガイモなど), ゴマ科 (ゴマ) である (池田・阪上, 2020).

たつの市新宮町光都3丁目でライトトラップを行ったところ, 22時46分に本種が舞い降りるように飛来し, そのまま地面に静止したので撮影した. 採集地から谷伝い約500m下流には民家があり, その間には耕作地もあるため, その周辺で発生している可能性も考えられる. なお, 当然のことであるが, ライトトラップの際は民家や耕作地への迷惑がないよう, 細心の注意を払っている.

【撮影記録】 1ex., 兵庫県たつの市新宮町光都, 26.VII.2021.

6. フリツツエホウジャク *Macroglossum fritzei* Rothschild et Jordan, 1903 (図5)

7月2日21時33分, 上郡町の溪谷沿いに設置したライトトラップに1頭のホウジャク類が飛来した. 激しく擦れた個体だったのでぞんざいに撮影したのだが, 翌日, 阪上洸多氏に写真を確認していただき本種であることが判明した.

本種は本州 (静岡県以西) ~ 南西諸島に分布し, 幼虫はコンロンカ, ヤエヤマアオキ, ヘクソカズラを食べる (岸田, 2020) が, 県内からは姫路市と佐用町の2個体しか採集されておらず, 偶産個体である可能性が高い (池田・阪上, 2020) とのことである.

撮影の8日後と11日後にも同地でライトトラップを行ったが飛来は無かった.

【撮影記録】 1ex., 兵庫県赤穂郡上郡町金出地, 2.VII.2021.

7. ツクシアオリング *Hylophilodes tsukusensis* Nagano, 1918 (図6)

兵庫県版RDB(兵庫県, 2012)では「県内では局地的で個体数も少ない」としてCランクに位置付けられており, 川西市, 上郡町, 相生市で記録されている. (高島, 1998)

筆者は上記の記録と同じ相生市羅漢の里公園内の外灯で, 5月~6月に連日1~2頭, 延べ15頭を確認した. 内訳は5月5日~13日に7頭 (飛来日数6日), 5月30日~6月15日に6頭 (飛来日数5日), 6月25日と28日に1頭ずつである. 公園内で本種が観察された外灯は1か所のみで, それ以外の場所ではたつの市新宮町光都2丁目でのライトトラップに1頭が飛来したのみだった.

【採集, 撮影記録】 (相生市での撮影のみの記録は省略する)

1♂, 兵庫県相生市矢野町瓜生, 28.VI.2021.; 1ex., 兵庫県たつの市新宮町光都, 28.VII.2021.

8. シンジュキノカワガ *Eligma narcissus narcissus* (Cramer, 1775) (図7)

8月21日, たつの市新宮町光都1丁目で佐用町昆虫

館キッズスタッフの三村剣義氏, 石川栞奈, 元貴, 大馳氏と両家のご両親とともにライトトラップを行った際に, 子どもたちが設営場所から50mほど離れたニワウルシの若木の藪でビワハゴロモ科の外来種シタバニハゴロモを発見 (高橋, 2022) したため, 全員がライトトラップそっちのけで捜索を行っていたところ, 同じ藪の中で黄色と黒の派手な毛虫を発見した. スマートフォンによる検索でシンジュキノカワガの幼虫であると分かったため, 懐中電灯を頼りに合計6頭を採集し各家2頭ずつ持ち帰った. 筆者は翌22日昼にも同所で2頭を採集して計4頭を飼育した.

持ち帰った幼虫は終齢で, ニワウルシの葉を削り取る行動をしていたためペフ板や食品トレーの破片を入れたところ, 24日までには全個体が破片や葉を台座とした繭を形成した. その後9月6日~8日にかけて3家で6頭が相次いで羽化した.

本種の本県での成虫の記録はそこそこある (坪田・高橋, 2021 など) が, 幼虫の記録はあまり多くなく柏原(丹波市) (山本・和田, 1950), 伊丹市 (安達, 2010), 西宮市 (石川, 2017) しか見つけられなかった.

なお, 飼育個体の羽化の前後に数回, 採集地でのライトトラップを実施したが, 成虫の飛来は無かった.

採集地のニワウルシの若木は2022年1月以前に全て伐採されている.

【採集記録 (幼虫)】 6exs., 兵庫県たつの市新宮町光都, 21.VIII.2021. 三村, 石川, 高橋.; 2exs., 同地, 22.VIII.2021.

9. ヨシノククルマコヤガ *Oruza yoshinoensis* (Wileman, 1911) (図8)

6月に相生市の外灯, 8月に上郡町のライトトラップに飛来したものを撮影した.

兵庫県版RDB(兵庫県, 2012)によると本種は暖地の照葉樹林に生息し, 生態の詳細は不明. 成虫は4月~8月に見られる. 産地は限られ個体数は少ないとのことである.

県下では川西市, 洲本市, 南淡町 (南あわじ市) で記録があり (高島, 2003), インターネット上の「YAMKEMの明石の蛾達」には明石公園で撮影された画像が掲載されている.

【撮影記録】 1ex., 兵庫県相生市矢野町瓜生, 25.VI.2021.; 1ex., 兵庫県上郡町金出地, 10.VIII.2021.

10. シーモンアツバ *Sinarella c-album* Owada, 1992 (図9)

ヤガ科クルマアツバ亜科に属する小さな蛾だが, 金色の帯と純白のC字形の紋を持つ美しい種で, 三重県RDB(三重県, 2015)に「全国的にまれな希少種. 生活史は不明」とある.

筆者は2021年4月, 7月, 9月に上郡町でのライトトラップ, 7月に相生市の外灯に飛来した本種を撮影, 採集している. また5月15日の昼間には佐用町昆虫館付近の杉林林縁のスイーピングで擦れた本種を確認している. (撮影せず.)

4月と7月のものはいずれも新鮮な個体であったことから, 本県では少なくとも2化していると考えられる.

【採集, 撮影記録】 1ex., 兵庫県赤穂郡上郡町金出地, 24. IV .2021.; 1ex., 同地, 13. VII .2021.; 同地, 11. IX .2021.; 1ex., 兵庫県相生市矢野町瓜生, 15. VII .2021.

11. サヌキキリガ *Elwesia sugii* Yoshimoto, 1994 (図10)

相生市でフユシヤク類の♀を捜索中, 外灯近くの杭に静止する擦れた本種を発見し採集した.

本種は暖地性のキリガ類の中でも特に局地性が強く希少な種(兵庫県, 2012)で, 神戸市(八木, 1998; 阪上ら, 2009; 小林, 2016), 宝塚市(安達, 2008), 川西市, 相生市三濃山(高島, 2001)から報告されている.

【採集記録】 1♀, 兵庫県相生市矢野町瓜生, 7. XII .2021.

12. ムラサキミツボシキリガ *Eupsilia unipuncta* Scriba, 1919 (図11)

音水湖畔でのライトトラップに飛来したものを採集した. 飛来時刻は21時13分であった.

本種の生息地はやや局所的であり, 自然度の高い谷間で得られることが多い(小林, 2016)とのことで, 県下では波賀町(宍粟市)引原, 安富町(姫路市)(高島, 2001), 宝塚市(安達, 2008; 宇野, 2021)で得られている.

【採集記録】 1ex., 兵庫県宍粟市波賀町鹿伏, 30. X .2021.

13. ドロキリガ *Ipimorpha subtusa* (Denis & Schiffermüller, 1775) (図12)

音水湖畔でのライトトラップに飛来したものを撮影した. 撮影時刻は19時44分となっている.

本種は北海道, 本州(中部地方以北, 鳥取県)に分布し, 出現期は7~9月, 食樹はドロヤナギである.(岸田, 2020)

本県では香美町(阪上ほか, 2020), 朝来市, 養父市(坪田, 2021)で記録されている.

【撮影記録】 1ex., 兵庫県宍粟市波賀町鹿伏, 2. X .2021.

14. カギモンキリガ *Orthosia nigromaculata* (Höne, 1917) (図13)

相生市の外灯で4月7日, 13日, 24日に採集, 撮影した. 同地では15日に2exs., 16日と23日に1exを確認したが撮影はしていない. なお, 13日と16日は温暖な小雨だった.

県内では淡路地域以外は局地的で少ないようで(高島, 2000b), 兵庫県版RDB(兵庫県, 2012)の分布記録は神戸市, 川西市, 佐用町, 洲本市, 南あわじ市, 淡路市となっており, それ以降では西宮市(宇野, 2021)で記録されている.

【採集, 撮影記録】 1♀, 兵庫県相生市矢野町瓜生, 7. IV .2021.; 1♀, 同地, 13. IV .2021.; 1ex, 同地, 24. IV .2021. 三村剣義.

15. ハイイロモクメヨトウ *Antha grata* (Butler, 1881) (図14)

東北地方から九州にかけて分布し, 主として内陸部に産するが局所的であるとされる(高島, 2002). 県下では猪名川町と三日月町(佐用町)(高島, 2002; 川副, 1987), 市川町(坪田, 2021)で記録されており, インターネット上の「北河内昆虫記」には姫路市安富町で撮影された画像が掲載されている.

筆者は2021年8月2日, ライトトラップに飛来したものを採集した. 採集地であるたつの市新宮町光都1丁目と, 記録のある佐用町下本郷の高蔵寺の直線距離は4.3km程度である.

【採集記録】 1ex., 兵庫県たつの市新宮町光都, 2. VIII .2021.

16. ウスアカヤガ *Diarsia albipennis* (Butler, 1889) (図15)

たつの市新宮町光都でのライトトラップに飛来したものを撮影し, 帰宅後に同定したところ本種であった. 採集していないのが惜まれる.

本種は宮城県付近から屋久島まで分布するが, 産出はやや局地的で少ない種(高島, 2000a)であり, 県下での記録は宝塚市(高島, 2000a)と香美町(坪田・高橋, 2021)の2例のみようだ.

【撮影記録】 1ex., 兵庫県たつの市新宮町光都, 13. IX .2021.

謝辞

末筆ながら, 同定や資料の提供をお願いした阪上洗多氏, アドバイスをいただいた久保弘幸氏, 調査に同行していただいた佐用町昆虫館キッズスタッフ 三村剣義氏, 石川栞奈, 元貴, 大馳氏と両家のご両親, 内田隼人氏に御礼申し上げる.

参考文献

安達誠文, 2008. 宝塚市武庫川溪谷と西宮市甲山のキリガ相. 共生のひろば, 3: 52-59.
安達誠文, 2010. 伊丹市昆陽池で発生したシンジュキノカワガ. きべりはむし, 32(2): 7-8.
兵庫県, 2012. 兵庫の貴重な自然 兵庫県版レッドデータブック 2012(昆虫類).

- 池田大・阪上洗多, 2020. 兵庫県のスズメガ. きべりはむし, 43(2): 26-45.
- 石川佳史, 2017. 兵庫県西宮市でシンジュキノカワガの幼虫を採集・羽化の観察. きべりはむし, 39(2): 7-8.
- 川副昭人, 1987. 佐用郡三日月町蛾覚え書. てんとうむし, 10, 289-298.
- 岸田泰則 (編), 2011. 日本産蛾類標準図鑑 I, 167pp. 学習研究社.
- 岸田泰則, 2020. 日本の蛾. 240pp. 学研プラス
- 北河内昆虫記, ハイイロモクメヨトウ, <https://osaka-insecta.sakura.ne.jp/moth/d-haiiromokumeyotou.html> (参照 2022 年 1 月 26 日).
- 小林秀紀 (編), 2016. 月刊むし・昆虫図説シリーズ 8 日本の冬夜蛾. 112pp. 有限会社むし社
- 松尾隆人, 2020. 氷ノ山・鉢伏山の注目すべき蛾類の記録. きべりはむし, 43(1): 29-35.
- 三重県, 2015. 三重県レッドデータブック 2015 ~ 三重県の絶滅の恐れのある野生生物 ~. 258pp. <https://www.pref.mie.lg.jp/common/content/000401553.pdf> (参照 2022 年 2 月 3 日)
- 中島秀雄・小林秀紀, 2017. 月刊むし・昆虫図説シリーズ 11 日本の冬尺蛾. 152pp. 有限会社むし社.
- 阪上洗多・船元祐亮・安達誠文・小西堯生, 2009. 須磨鉢伏山と有馬富士公園の興味深いキリガ. きべりはむし, 32(1): 49-51
- 阪上洗多・宮野昭彦・後藤聖士郎・岩下幸平・クルズスキー・淳子・間野隆裕・松井悠樹・Khine Mon Mon Kyaw・那須義次・奥尉平・富沢章・外村俊輔・屋宜禎, 2020. 兵庫県で開催した第 79 回レピドプテリストセミナー (レピゼミ) で採集された蛾. 誘蛾燈, 240: 32-40.
- 杉繁郎 (編), 1987. 日本産蛾類生態図鑑. 453pp. 講談社
- 高橋弘樹, 2021. サザナミフユナミシヤクを相生市で採集. きべりはむし, 44 (1): 97
- 高橋弘樹, 2022. 兵庫県におけるシタベニハゴロモの確認記録. きべりはむし, 45 (1): 93-94
- 高島昭, 1998. 相生市三濃山麓の蛾 (2) 兵庫県産蛾類分布調査資料・10. きべりはむし, 26 (2): 59-64.
- 高島昭, 1999. 兵庫県のカギバガ科・オオカギバガ科・トガリバガ科 兵庫県産蛾類分布調査資料・14. きべりはむし, 27 (2): 61-75.
- 高島昭, 2000a. 兵庫県のモンヤガ亜科 兵庫県産蛾類分布資料・16. きべりはむし, 28(1): 77-88.
- 高島昭, 2000b. 兵庫県のヨトウガ亜科 兵庫県産蛾類分布資料・18. きべりはむし, 28(2): 59-76.
- 高島昭, 2001. 兵庫県のセダカモクメ亜科 兵庫県産蛾類分布資料・20. きべりはむし, 29(1): 34-49.
- 高島昭, 2002. 兵庫県のカラスヨトウ亜科 (その 2) 兵庫県産蛾類分布資料・26. きべりはむし, 30(2): 32-43.
- 高島昭, 2003. 兵庫県のコヤガ科 兵庫県産蛾類分布調査資料・28. きべりはむし, 31 (1): 81-95.
- 坪田瑛, 2021. 兵庫県で報告の少ないヤガ科について. きべりはむし, 44(1): 44-50
- 坪田瑛・高橋輝男, 2021. 2021 年の東鉢伏高原における注目すべき蛾類について. きべりはむし, 44(2): 18-24.
- 宇野宏樹, 2021. 武田尾溪谷及びその周辺で得られた興味深い昆虫類. きべりはむし, 44(2): 9-14
- YAMKEN の明石の蛾達, ヨシノクルマコヤガ, <http://yamken.jp/yamhp3/yosinokurumakoyaga.html> (参照 2022 年 1 月 28 日).
- 八木剛, 1998. 六甲山系布引公園および鉢伏山のキリガ類相. きべりはむし, 26(2): 67-74
- 山本義丸, 1997. 兵庫県氷上地方の蛾類 (2). きべりはむし, 25(1): 11-22.
- 山本義丸・和田文雄, 1950. シンジュコケガ本州に分布. 新昆虫, 3(4): 45-46.

⁽¹⁾ 相生市, たつの市, 赤穂市, 宍粟市, 太子町, 上郡町, 佐用町の 7 市町. ただし赤穂市及び太子町では実施できなかった.

⁽²⁾ 健康維持活動を兼ね, 新型コロナウイルス感染対策を取って実施したが, 調査中他者に近接することは無かった.



図 1. ウスベトガリバ
2021.3.19 採集



図 2. トガリスジグロエダシヤク
2021.6.20 撮影



図 3. マエモンオオナミシヤク
2021.12.6 採集



図 4. メンガタズメ
2021.7.26 撮影



図 5. フリツェホウシヤク
2021.7.2 撮影



図 6. ツクシアオリンガ
2021.6.28 採集



図 7. シンジュキノカワガ
2021.8.22 採集



図 8. ヨシノクルマコヤガ
2021.6.25 撮影



図 9. シーモンアツバ
2021.4.24 採集



図 10. サマキリガ
2021.12.7 採集



図 11. ムラサキミツボシキリガ
2021.10.30 採集



図 12. ドロキリガ
2021.10.2 撮影



図 13. カギモンキリガ
2021.4.13 採集



図 14. ハイロクメヨトウ
2021.8.2 採集



図 15. ウスアカヤガ
2021.9.13 撮影

相生市「羅漢の里」におけるフユシャク類の定点調査記録 (2)

高橋弘樹¹⁾

はじめに

フユシャク類(フユシャクガ)は、シャクガ科に属する蛾うち、「年一回の発生で、成虫は晩秋から早春に出現する.」「冬季に生殖活動を行い産卵する.」「雌の翅が欠けるか縮小して飛翔できない.」「口吻は短縮して、食餌しない場合が多い.」という特徴を持つグループの総称で、わが国ではフユシャク亜科、ナミシャク亜科、エダシャク亜科から 36 種が知られている(中島・小林, 2017; 岸田, 2020).

筆者は相生市の北部、三濃山の山麓にある「羅漢の里」公園(相生市矢野町瓜生)において、2020 年秋～2021 年春にかけてフユシャク類の定点調査を行い、本誌第 44 巻第 1 号で結果を報告した(高橋, 2021)が、1 月上旬中旬の調査が不十分である上、2020 年 11 月～12 月の記録については種名の報告しかできなかったため、今回はその期間の記録を補完すべく、2021 年 11 月 21 日～2022 年 3 月 31 日に再調査を行ったので結果を報告する。

調査場所及び調査方法、昨季との相違点

前回と同じく、公園入口の駐車場(標高 80m 程度)から最奥の駐車場(標高 110m 程度)までの約 800m の間に点在する灯火及び欄干、杭、柵、看板等のルッキングを主に、飛翔中の個体の採集を補助的に行い、12 月 4 日、2 月 28 日、3 月 12 日はライトトラップも併用して種名と数をカウントした。フユシャク亜科の♀については単体での同定が困難であるため、交尾中のペア等除き、*Inurois* 属、*Alsophila* 属を区別せずにフユシャク亜科の一種として扱った。

1 回の調査時間は 1 時間程度で、概ね 19:30～21:30 の範囲に収まるが、別の場所でライトトラップやルッキング等を行った日は 22:00～23:30 頃になることもあった。

なお、前回の調査期間にはほとんど見られなかったイノシシの活動が 1 月中旬にかけて激甚化し、公園内の広い範囲が掘り返しの被害を受けて多くの木が根を露出させられたことと、車道沿いの各所やコテージ周辺で

間伐が実施されたこと、自動販売機の消灯による灯火ポイントの減少があったことを付記しておく。

気温は特に 1～2 月が温暖だった昨季に比べて低く、参考値であるが、調査時の気温が 7℃以上の日が昨年 1～2 月に 12 回あったのに対し今季は 1 回も無く、凍結や吹雪により調査できなかった日は 2 月 20 日までであった。

調査結果

期間中に確認できたフユシャク類は下記の 16 種で、種数、種の構成ともに昨季と変わらなかった。なお、付記した採集(撮影)記録は全て「羅漢の里」公園内かつ筆者によるものであるため、地名及び採集(撮影)者名を省略している。また、調査日ごとに確認できた種名と数については付表 1 を、種別の出現状況については付表 2 を参照していただきたい。本文と付表 2 の掲載順は亜科等にこだわらず出現順としている。

1. クロスジフユエダシャク *Pachyerannis obliquaria* (Motschulsky, 1861) (図 1)

当地で最も早く出現したフユシャク類で、♂は本来昼飛性であるが、11 月 26 日から 12 月 22 日にかけて連日 1～6 頭が外灯に飛来した。ライトトラップを併用した際には 20 頭程度を確認でき、総数は夜間だけで 56 頭程度となった。

羅漢の里では昼の活動の観察機会が無かったが、直線距離で約 6.3km 北の兵庫県西播磨総合庁舎(上郡町光都 2-25, 標高 260m)では 11 月 26 日の正午過ぎに♂複数を確認、12 月 1 日前後には発生のピークを迎えて敷地内や周辺各所のコナラ、アベマキ等の落ち葉の上をそれぞれ数十頭の♂が乱舞していたが、10 日ごろには大幅に数を減らしており、その後 1 週間以内に姿を消した。

♀は 12 月 4 日～1 月 1 日に 5 頭を確認しており、12 月 4 日 23 時と 12 月 9 日 20 時に杭と欄干上で確認した交尾中の♀計 2 頭を含んでいる。

【採集記録】1♂, 29. XI. 2021.(筆者保管); 1♂ 1♀, 4. XII. 2021. (♀筆者保管)

¹⁾ Hiroki TAKAHASHI 兵庫県相生市

2. クロオビフユナミシャク *Operophtera relegata* Prout, 1908 (図2)

12月4日～30日に39♂を確認した。12月4日の羽化直後の1♂以外は全て灯火への飛来である。♀は看板上で2頭を確認したのみである。

【撮影記録】1♂, 4. XII. 2021.; 1♀, 11. XII. 2021.

3. シロオビフユシャク *Alsophila japonensis* (Warren, 1894) (図3)

12月18日～1月9日に28♂4♀を確認した。本種はピークが現れにくく、交尾ペアは非常に採集しにくい(中島・小林, 2017)ようであるが、12月29日には1組、1月2日には2組の交尾ペアを外灯に照らされた建物の窓枠と橋の欄干で観察できた。12月30日の♀は同じ場所に居残っていた個体のダブルカウントである。なお、フユシャク亜科の一種には本種の♀と思われるものも含まれている。

【撮影記録】1♂1♀, 29. XII. 2021.

4. イチモジフユナミシャク *Operophtera rectipostmediana* Inoue, 1942 (図4)

12月18日～1月11日に32♂6♀を確認した。12月18日, 21日は杭, 看板上に静止する羽化直後の個体, 以降の♂個体は外灯への飛来である。当地では1996年3月22日に1♂の記録がある(高島, 1998)が, 成虫であれば本種としては異常に遅い発生である。

【採集記録】1♂, 21. XII. 2021.(筆者保管); 1♀, 28. XII. 2021.(筆者保管)

5. チャバネフユエダシャク *Erannis golda* Djakonov, 1929 (図5)

12月20日～1月6日に出現したが, 確認できた日数は6日間, 確認数も7♂にとどまった。♀は当地の他に播磨科学公園都市, 相生市ひかりが丘, たつの市揖保川町, 上郡町金出地, 佐用町久崎・上月・三日月でも何度も搜索したが, 今季も姿を見ることは叶わなかった。

上郡町金出地でのライトトラップには12月20日に12♂, 同24日にも12♂が飛来している。

【撮影記録】1♂, 20. XII. 2021.

6. ウスモンフユシャク *Inurois fumosa* (Inoue, 1944) (図6)

12月24日～1月26日に37♂と交尾中の6♀を確認した。昨季は1日に10頭以上の♂が見られた日が4日あったが, 今季は最大でも4頭しか確認できなかった。

【採集記録】1♂, 24. XII. 2021.(筆者保管)

7. ウスバフユシャク *Inurois fletcheri* Inoue, 1954 (図7)

前種とほぼ同じ時期に117♂と交尾中の24♀を確認した。昨季は外灯に多数の♂が飛来していたが, 今季は同じ外灯にもあまり飛来せず, 1日に10個体以上の♂を確認した日もその大部分が樹幹に静止している個体だった。兵庫県西播磨総合庁舎でも昨季は常夜灯に誘引されて朝まで居残った個体が多数観察できたが, 今季はごく少数しか見られなかった。

【採集記録】1♂1♀, 2. I. 2022.(筆者保管)

8. ナミスジフユナミシャク *Operophtera brunnea* Nakajima, 1991 (図8)

1月4日～同30日に64♂16♀を確認した。♂は外灯だけでなく構造物上でも見られた。交尾ペアは5組だった。

【撮影記録】1♂1♀, 9. I. 2022.

9. クロバネフユシャク *Alsophila foedata* Inoue, 1944 (図9)

1月10日～2月14日に23♂を確認した。本種の♀ではないかと思われるものも目撃しているが, 全て単体だったためフユシャク亜科の一種に含めている。

2014年に採集された個体が本種の本県の初報告(坪田, 2018)であるが, 当地では多くはないものの普通に生息しているようだ。1月7日には上郡町光都で1♂, 1月29日には上郡町金出地で3♂を確認している。

【採集, 撮影記録】1♂, 11. I. 2022.(筆者保管); 1♂, 17. I. 2022.(撮影)

10. シロフフユエダシャク *Agriopis dira* (Butler, 1878) (図10)

1月24日に1♂を得た後しばらく見られなかったが, 2月2日以降は安定して出現した。今季の発生のピークは2月26日からの10日間程度で, 昨季より2週間ほど遅くなった。

3月25日までの確認数は461♂21♀で, ♀は昨季の454頭程度とあまり変わらなかったのに対し, ♀は昨季の56頭の半分以下だった。本種は土中に潜って蛹化する(杉, 1987)ため, イノシシの掘り返しの影響が移動能力に乏しい♀に強く現れたと考えたくなるが, 他のフユシャク類の生態も同様であり, ♀♀ともに減っている種やどちらも増えている種もいるため, ♀だけが激減した理由は不明である。

【撮影記録】1♂1♀, 7. III. 2022.

11. クロテンフユシャク *Inurois membranaria* (Christoph, 1881) (図11)

1月25日の交尾ペアが今季初見で, 3月8日までに128♂と交尾中の7♀を確認したが, 270♂程度と20♀が見られた昨季の半分にも達しなかった。

【撮影記録】1♂1♀, 12. II .2022.

12. シモフリトゲエダシャク *Phigalia sinuosaria* Leech, 1897 (図12)

1月25日の♂が初見で, 2月28日までに41♂を確認した。2月25日に羽化が見られたことから, ♂は3月上旬にも出現していたものと思われる。♀は2月25日~3月17日に7頭を確認した。

フユシャク類としては大型の種だが電灯のポールや建物の梁など暗い色の目立たないところに静止している個体が多く, 注意して探す必要があった。昨季は12♂3♀を確認しているが, かなり見落としている可能性がある。

【採集記録】1♂1♀, 26. II .2022.(三村剣義氏採卵飼育)

13. ヒロバフユエダシャク *Larerannis miracula* (Prout, 1929) (図13)

出現期間は1月28日~3月9日と長期にわたるが, 確認できたのは5日間で5♂のみだった。昨季の確認も2♂のみで, 調査方法が本種に合っていない可能性もあるものの当地では少ない種のような。♀は今季も確認できなかった。

【採集記録】1♂, 28. I .2022.(筆者保管)

14. チャオビフユエダシャク *Phigaliohybernia fulvinfula* Inoue, 1942 (図14)

2月12日~3月20日に127♂9♀を確認した。初見日は温暖だった昨季より11日遅く, 発生のピークも2週間程度, 終見日も7日遅くなった。昨季の確認数は199♂24♀で, 本種も♀の減少が顕著である。♂は外灯だけでなく糖蜜トラップへの飛来も確認された(高橋, 2022)。

【撮影記録】1♂1♀, 26. II .2022.

15. ホソウスバフユシャク *Inurois tenuis* Butler, 1879 (図15)

2月19日~3月25日に113♂と交尾中の11♀を確認した。初見日は昨季と同日で寒暖差には左右されなかった。確認数は昨季の65♂4♀よりも増加した。

【採集, 撮影記録】1♂, 19. II .2022.(筆者保管); 1♂1♀, 24. II .2022.(撮影)。

16. シロトゲエダシャク *Phigalia verecundaria* (Leech, 1897) (図16)

3月3日~3月28日に28♂4♀を確認した。初見

日は昨季より9日遅かった。昨季の確認数は26♂10♀である。

【採集記録】1♂, 3. III .2022.(筆者保管); 2♂1♀, 11. III .2022.

謝辞

前回に続き調査を許可して下さった「羅漢の里」管理人様と, 調査に同行して下さった佐用町昆虫館キッズスタッフ 三村剣義氏, 石川栞奈, 元貴, 大馳氏と両家のご両親に御礼申し上げます。

参考文献

- 岸田泰則, 2020. 日本の蛾. 240pp. 学研プラス
 中島秀雄・小林秀紀, 2017. 月刊むし・昆虫図説シリーズ 11 日本の冬尺蛾. 152pp. むし社
 杉繁郎(編), 1987. 日本産蛾類生態図鑑. 453pp. 講談社
 高橋弘樹, 2021. 相生市「羅漢の里」におけるフユシャク類の定点調査記録. きべりはむし, 44 (1): 62-70.
 高橋弘樹, 2022. チャオビフユエダシャクが糖蜜トラップで吸蜜. きべりはむし, 45(1): 98.
 高島昭, 1998. 相生市三濃山麓の蛾(2) 兵庫県産蛾類分布調査資料・10. きべりはむし, 26 (2): 59-64.
 坪田瑛, 2018. 兵庫県福崎町でクロバネフユシャクを発見. きべりはむし, 40 (2): 27.

付表1 調査日ごとの採集・目撃記録

日付	気温	フユシヤク類♂	フユシヤク類♀	その他の昆虫
11月21日	10℃			アカバナミシヤク1, ハガタクチバ1, ミツモンキンウワバ1
11月22日	8℃			ネグロエダシヤク1, ケンモンミドリキリガ1, スカシコケガ1
11月23日	5℃			ニトベエダシヤク1, ケンモンミドリキリガ1
11月24日	6℃			ミドリアキナミシヤク1
11月25日	10℃			ニトベエダシヤク1, ミドリアキナミシヤク4, ナカオビキリガ1, ハネナガブドウスズメ1, 等
11月26日	6℃	クロスジフユエダシヤク1		ミドリアキナミシヤク1, キトガリキリガ1, ホシオビキリガ1
11月27日	3℃			ミドリアキナミシヤク3, ホシオビキリガ1,
11月29日	4℃	クロスジフユエダシヤク2		ウスゴマダラエダシヤク1, ニトベエダシヤク1, ミドリアキナミシヤク2, ヘーネアオハガタヨトウ1, 等
12月1日	5℃	クロスジフユエダシヤク3		ネグロエダシヤク1, ミドリアキナミシヤク2, ナカオビアキナミシヤク2, コソツメアオシヤク1, 等
12月2日	4℃	クロスジフユエダシヤク1		ナカオビアキナミシヤク2, ミドリアキナミシヤク1, ハネナガモクメキリガ1
12月3日	6℃ 霧	クロスジフユエダシヤク6,		カバエダシヤク1, ナカオビアキナミシヤク10~, ミドリアキナミシヤク7, アオバハハガタヨトウ1
12月4日	6℃ LT	クロスジフユエダシヤク~20, クロオビフユナミシヤク1	クロスジフユエダシヤク1	ナカオビアキナミシヤク多数, ミドリアキナミシヤク多数, カシワキボシキリガ1, マエグロシラオビアカガネヨトウ1, ニッコウトガリバ1, 等
12月6日	4℃	クロスジフユエダシヤク4	クロスジフユエダシヤク1	カバエダシヤク2, マエモンオオナミシヤク1, ナカオビアキナミシヤク10, ミドリアキナミシヤク3
12月7日	7℃			ナカオビアキナミシヤク2, ミドリアキナミシヤク2, セスジナミシヤク1, キトガリキリガ1, 等
12月8日	5℃	クロオビフユナミシヤク1		ナカオビアキナミシヤク6, ミドリアキナミシヤク2
12月9日	7℃	クロスジフユエダシヤク5, クロオビフユナミシヤク2	クロスジフユエダシヤク1	ナカウスエダシヤク1, ナカオビアキナミシヤク2, ミドリアキナミシヤク3, キトガリキリガ1, 等
12月10日	5℃	クロスジフユエダシヤク3, クロオビフユナミシヤク1		ナカウスエダシヤク1, ナカオビアキナミシヤク2, カシワオビキリガ1, ウズミカレハ1
12月11日	8℃	クロスジフユエダシヤク5, クロオビフユナミシヤク3	クロオビフユナミシヤク1	ナカオビアキナミシヤク2, ミドリアキナミシヤク1, ケンモンミドリキリガ1, キトガリキリガ1, 等
12月12日	10℃	クロスジフユエダシヤク1, クロオビフユナミシヤク2		ナカオビアキナミシヤク1, ミドリアキナミシヤク3, オオシマカラスヨトウ1, カシワオビキリガ1, 等
12月13日	3℃			ナカオビアキナミシヤク1, ミドリアキナミシヤク1
12月15日	5℃	クロスジフユエダシヤク1, クロオビフユナミシヤク3		カシワオビキリガ2
12月16日	10℃ 雨	クロスジフユエダシヤク2, クロオビフユナミシヤク2		
12月18日	1℃	シロオビフユシヤク1, クロオビフユナミシヤク4, イチモジフユナミシヤク2		
12月20日	3℃	チャバネフユエダシヤク1, クロオビフユナミシヤク6		セスジナミシヤク1, ミドリハガタヨトウ1, ノコメトガリキリガ1, アケビコノハ1, ウズミカレハ1
12月21日	5℃	シロオビフユシヤク1, クロスジフユエダシヤク1, クロオビフユナミシヤク4, イチモジフユナミシヤク2	クロスジフユエダシヤク1, クロオビフユナミシヤク1	ヒロバモクメキリガ1, ウズミカレハ1, ヒラタマルハキバガの一種1
12月22日	6℃	ウスモンフユシヤク1, クロスジフユエダシヤク1, クロオビフユナミシヤク1		ナカオビアキナミシヤク1, ミドリアキナミシヤク2, ホソバハガタヨトウ1, オオシマカラスヨトウ1, 等
12月23日	5℃	チャバネフユエダシヤク1, クロオビフユナミシヤク3		ミドリハガタヨトウ1, マエグロシラオビアカガネヨトウ1, クヌギカメムシの一種1
12月24日	8℃	ウスモンフユシヤク1, クロオビフユナミシヤク2		ミドリアキナミシヤク1, ノコメトガリキリガ1
12月27日	1℃	ウスモンフユシヤク1, ウスバフユシヤク1, クロオビフユナミシヤク3, イチモジフユナミシヤク1	ウスモンフユシヤク1, フユシヤク亜科の一種1	
12月28日	1℃	ウスモンフユシヤク1	フユシヤク亜科の一種2, イチモジフユナミシヤク1	
12月29日	6℃	シロオビフユシヤク5, ウスモンフユシヤク2, ウスバフユシヤク5	シロオビフユシヤク1	スギタニモンキリガ1, クロチャマダラキリガ1, マエグロシラオビアカガネヨトウ1, ヒラタマルハキバガの一種1
12月30日	5℃ 雪	シロオビフユシヤク3, ウスモンフユシヤク3, ウスバフユシヤク3, チャバネフユエダシヤク1, クロオビフユナミシヤク1, イチモジフユナミシヤク2	シロオビフユシヤク1	ナカオビアキナミシヤク1, ミドリアキナミシヤク1,
1月1日	2℃	シロオビフユシヤク1, ウスモンフユシヤク2, ウスバフユシヤク6, イチモジフユナミシヤク2	フユシヤク亜科の一種3, クロスジフユエダシヤク1, イチモジフユナミシヤク1	ヨスジノコメキリガ1
1月2日	1℃	シロオビフユシヤク3, ウスモンフユシヤク3, ウスバフユシヤク5	シロオビフユシヤク2, ウスモンフユシヤク1, ウスバフユシヤク3, イチモジフユナミシヤク1	ヨスジノコメキリガ1, ヒラタマルハキバガの一種1
1月3日	1℃	シロオビフユシヤク2, ウスモンフユシヤク4, ウスバフユシヤク4	ウスモンフユシヤク1, ウスバフユシヤク2, フユシヤク亜科の一種1, イチモジフユナミシヤク1	カシワオビキリガ1, ヒロバモクメキリガ1, ウズミカレハ1
1月4日	3℃	シロオビフユシヤク2, ウスモンフユシヤク4, ウスバフユシヤク18, チャバネフユエダシヤク2, イチモジフユナミシヤク3, ナミスジフユナミシヤク2	ウスモンフユシヤク2, ウスバフユシヤク6, フユシヤク亜科の一種5, イチモジフユエダシヤク1, ナミスジフユナミシヤク1	

付表1 続き

日付	気温	フユシヤク類♂	フユシヤク類♀	その他の昆虫
1月5日	3℃	シロオビフユシヤク4, チャバネフユエダシヤク1, イチモジフユナミシヤク7, ナミスジフユナミシヤク2	フユシヤク亜科の一種1	ハネナガモクメキリガ1, ヘーネアオハガタヨトウ1
1月6日	4℃	シロオビフユシヤク3, ウスモンフユシヤク1, ウスバフユシヤク4, チャバネフユエダシヤク1	ウスバフユシヤク2, イチモジフユナミシヤク1	ヘーネアオハガタヨトウ1, ホソバハガタヨトウ1
1月7日	1℃	ウスモンフユシヤク1, ウスバフユシヤク4, イチモジフユナミシヤク3	ウスバフユシヤク2	マエグロシラオビアカガネヨトウ1
1月8日	-1℃	ウスモンフユシヤク2, ウスバフユシヤク17, イチモジフユナミシヤク7, ナミスジフユナミシヤク3	ウスバフユシヤク4	
1月9日	5℃	シロオビフユシヤク3, ウスモンフユシヤク1, ウスバフユシヤク5, イチモジフユナミシヤク1, ナミスジフユナミシヤク1	ナミスジフユナミシヤク1	ミドリアキナミシヤク2
1月10日	4℃	クロバネフユシヤク1, ウスバフユシヤク4, イチモジフユナミシヤク1, ナミスジフユナミシヤク4	ナミスジフユナミシヤク1	
1月11日	3℃ 雨 後 強風	クロバネフユシヤク2, ウスバフユシヤク2, イチモジフユナミシヤク1, ナミスジフユナミシヤク1	ナミスジフユナミシヤク1	ヒラタマルハキバガの一種1,
1月12日	3℃	ウスモンフユシヤク1, ウスバフユシヤク5, ナミスジフユナミシヤク5	ウスバフユシヤク1, フユシヤク亜科の一種1, ナミスジフユエダシヤク1	
1月13日	1℃	ウスモンフユシヤク2, ウスバフユシヤク2, ナミスジフユナミシヤク2	ウスモンフユシヤク1, ナミスジフユナミシヤク2	
1月14日	2℃ 雪	ウスモンフユシヤク2, ウスバフユシヤク6, ナミスジフユナミシヤク1	ウスバフユシヤク1, フユシヤク亜科の一種3	ホシオビキリガ1,
1月15日	1℃	ウスモンフユシヤク1, ウスバフユシヤク5, ナミスジフユナミシヤク2	ウスバフユシヤク2	
1月16日	6℃	ウスモンフユシヤク1, ウスバフユシヤク7, ナミスジフユナミシヤク2	ウスバフユシヤク1, フユシヤク亜科の一種3, ナミスジフユナミシヤク1	カシワオビキリガ1,
1月17日	4℃	クロバネフユシヤク1, ウスバフユシヤク2, ナミスジフユナミシヤク3	フユシヤク亜科の一種1	
1月18日	3℃ 雪	ナミスジフユナミシヤク3	ナミスジフユナミシヤク1	
1月19日	0℃	ウスバフユシヤク2, ナミスジフユナミシヤク2	フユシヤク亜科の一種2	
1月21日	1℃	ウスバフユシヤク5, ナミスジフユナミシヤク5	フユシヤク亜科の一種2, ナミスジフユナミシヤク1	ベニモンマキバサシガメ幼虫1
1月22日	0℃	ウスバフユシヤク2, ナミスジフユナミシヤク4	フユシヤク亜科の一種1, ナミスジフユナミシヤク1	
1月24日	2℃	ウスバフユシヤク1, ナミスジフユナミシヤク7, シロフユエダシヤク1		ヒラタマルハキバガの一種1
1月25日	1℃	クロバネフユシヤク2, ウスモンフユシヤク1, クロテンフユシヤク1, ナミスジフユナミシヤク4, シモフリトゲエダシヤク1	クロテンフユシヤク1, フユシヤク亜科の一種1, ナミスジフユナミシヤク1	
1月26日	6℃	クロバネフユシヤク3, ウスモンフユシヤク2, ウスバフユシヤク1, クロテンフユシヤク1, ナミスジフユナミシヤク1, シモフリトゲエダシヤク2	フユシヤク亜科の一種3, ナミスジフユナミシヤク1	アシマダラヒメカゲロウ1
1月27日	4℃	クロバネフユシヤク2, ウスバフユシヤク1, ナミスジフユナミシヤク3, シモフリトゲエダシヤク3	フユシヤク亜科の一種2, ナミスジフユナミシヤク1	ヘーネアオハガタヨトウ1
1月28日	3℃	クロバネフユシヤク1, クロテンフユシヤク1, ナミスジフユナミシヤク2, シモフリトゲエダシヤク3, ヒロバフユエダシヤク1	フユシヤク亜科の一種3, ナミスジフユナミシヤク2	
1月29日	2℃	クロテンフユシヤク2, ナミスジフユナミシヤク3		ゴマダラキリガ1, ホシオビキリガ1
1月30日	5℃	クロテンフユシヤク3, ナミスジフユナミシヤク2, シモフリトゲエダシヤク2		トサカハマキ1
1月31日	2℃	クロテンフユシヤク3, シモフリトゲエダシヤク1,	フユシヤク亜科の一種1	
2月2日	3℃	クロバネフユシヤク3, クロテンフユシヤク2, シモフリトゲエダシヤク2, シロフユエダシヤク1	クロテンフユシヤク1, フユシヤク亜科の一種1	
2月3日	5℃	クロバネフユシヤク1, クロテンフユシヤク2, シモフリトゲエダシヤク2, シロフユエダシヤク2	クロテンフユシヤク1, フユシヤク亜科の一種1	
2月4日	2℃	クロテンフユシヤク3, シモフリトゲエダシヤク2	フユシヤク亜科の一種3	カバナミシヤクの一種1
2月7日	2℃	クロバネフユシヤク1, クロテンフユシヤク2, シロフユエダシヤク3	フユシヤク亜科の一種2	ヒロバモクメキリガ1
2月8日	4℃	クロバネフユシヤク3, クロテンフユシヤク7, シモフリトゲエダシヤク2		カシワオビキリガ1
2月9日	4℃	クロバネフユシヤク2, クロテンフユシヤク3, シロフユエダシヤク2, シモフリトゲエダシヤク1	フユシヤク亜科の一種1	ハイイロフユハマキ1, カシワオビキリガ1
2月10日	2℃	クロテンフユシヤク4, シロフユエダシヤク1, シモフリトゲエダシヤク4	フユシヤク亜科の一種1	ハイイロフユハマキ1
2月11日	3℃	クロテンフユシヤク10, シロフユエダシヤク1, シモフリトゲエダシヤク1	フユシヤク亜科の一種1	アシマダラヒメカゲロウ1

付表1 続き

日付	気温	フユシヤク類♂	フユシヤク類♀	その他の昆虫
2月12日	3℃	クロテンフユシヤク16, シロフフユエダシヤク4, シモフリトゲエダシヤク1, チャオビフユエダシヤク3	クロテンフユシヤク3, フユシヤク亜科の一種1	カバナミシヤクの一種1, マユミオオクチブサガ1, テングチョウ1, カワゲラの一 種1
2月13日	5℃ 雨後	クロテンフユシヤク6, シロフフユエダシヤク4, シモフリトゲエダシヤク1	フユシヤク亜科の一種1	ハネナガモクメキリガ1
2月14日	4℃	クロバネフユシヤク1, クロテンフユシヤク4, シロフフユエダシヤク7		
2月15日	3℃	クロテンフユシヤク2, シロフフユエダシヤク8, シモフリトゲエダシヤク2		クロモンキリバエダシヤク2, ベニモンマキバサシガメ幼虫2
2月16日	2℃	クロテンフユシヤク5, シロフフユエダシヤク5, シモフリトゲエダシヤク2, ヒロバフユエダシヤク1	クロテンフユシヤク1, シロフフユエダシヤク1	
2月18日	1℃	クロテンフユシヤク2, シロフフユエダシヤク6, ヒロバフユエダシヤク1		クサカゲロウの一種1
2月19日	4℃ 雨	クロテンフユシヤク1, ホソウスバフユシヤク1, シロフフユエダシヤク12, シモフリトゲエダシヤク1		ハイイロフユハマキ1, カシワオビキリガ1
2月21日	3℃	クロテンフユシヤク5, ホソウスバフユシヤク1, シロフフユエダシヤク10, シモフリトゲエダシヤク1	フユシヤク亜科の一種1	ハイイロフユハマキ2
2月22日	1℃	クロテンフユシヤク3, シロフフユエダシヤク10, シモフリトゲエダシヤク1, チャオビフユエダシヤク1	フユシヤク亜科の一種1	ハイイロフユハマキ1
2月23日	3℃	クロテンフユシヤク8, シロフフユエダシヤク12, チャオビフユエダシヤク1	フユシヤク亜科の一種2	ホソバキリガ1, スギタニモンキリガ1
2月24日	0℃	クロテンフユシヤク3, ホソウスバフユシヤク1, シロフフユエダシヤク9, チャオビフユエダシヤク1	ホソウスバフユシヤク1, フユシヤク亜科の一種1	
2月25日	2℃	クロテンフユシヤク4, ホソウスバフユシヤク4, シロフフユエダシヤク11, シモフリトゲエダシヤク1, チャオビフユエダシヤク2	ホソウスバフユシヤク2, フユシヤク亜科の一種2, シモフリトゲエダシヤク2	ハイイロフユハマキ1
2月26日	3℃	クロテンフユシヤク12, ホソウスバフユシヤク7, シロフフユエダシヤク21, シモフリトゲエダシヤク1, チャオビフユエダシヤク6	フユシヤク亜科の一種2, シロフフユエダシヤク5, シモフリトゲエダシヤク1, チャオビフユエダシヤク2	オカモトゲエダシヤク1, クロモンキリバエダシヤク1, ハイイロフユハマキ1CP, カシワオビキリガ1CP.
2月27日	4℃	クロテンフユシヤク6, ホソウスバフユシヤク2, シロフフユエダシヤク22, チャオビフユエダシヤク5	ホソウスバフユシヤク2, シロフフユエダシヤク2, チャオビフユエダシヤク2	オカモトゲエダシヤク3, ハイイロフユハマキ2, マユミオオクチブサガ1
2月28日	6℃ LT	クロテンフユシヤク2, ホソウスバフユシヤク7, シロフフユエダシヤク53, シモフリトゲエダシヤク4, チャオビフユエダシヤク3	フユシヤク亜科の一種1	オカモトゲエダシヤク2, クロモンキリバエダシヤク3, ホソバキリガ1, ハネナガモクメキリガ2, ホソオビキリガ1, フタスジクリイロハマキ2
3月1日	7℃ 雨	ホソウスバフユシヤク1, シロフフユエダシヤク12, チャオビフユエダシヤク6		アカモンナミシヤク1, カバナミシヤクの一種1, ヒロバモクメキリガ1
3月2日	7℃ 雨後	ホソウスバフユシヤク1, シロフフユエダシヤク22, チャオビフユエダシヤク7	チャオビフユエダシヤク1	クロモンキリバエダシヤク2, ホソバキリガ1, ヒラタマルハキバガの一種1
3月3日	4℃	クロテンフユシヤク1, ホソウスバフユシヤク9, シロフフユエダシヤク25, チャオビフユエダシヤク6, シロトゲエダシヤク1	チャオビフユエダシヤク1	
3月4日	2℃	ホソウスバフユシヤク4, シロフフユエダシヤク26, チャオビフユエダシヤク7, シロトゲエダシヤク2		オカモトゲエダシヤク1, クロモンキリバエダシヤク1, トビモンオオエダシヤク1
3月5日	10℃	クロテンフユシヤク3, ホソウスバフユシヤク15, シロフフユエダシヤク60, ヒロバフユエダシヤク1, チャオビフユエダシヤク21, シロトゲエダシヤク3	ホソウスバフユシヤク4, フユシヤク亜科の一種1, シロフフユエダシヤク3, シモフリトゲエダシヤク1, チャオビフユエダシヤク2	ホソバトガリエダシヤク1, クロモンキリバエダシヤク2, トビモンオオエダシヤク2, ギフウスキナミシヤク1, ハイイロフユハマキ2
3月7日	5℃	ホソウスバフユシヤク5, シロフフユエダシヤク16, チャオビフユエダシヤク8	ホソウスバフユシヤク1, シロフフユエダシヤク1, シモフリトゲエダシヤク1	ホソバトガリエダシヤク2, ギフウスキナミシヤク1, ハイイロフユハマキ1
3月8日	4℃	クロテンフユシヤク1, ホソウスバフユシヤク10, シロフフユエダシヤク17, チャオビフユエダシヤク5, シロトゲエダシヤク2		アトジロエダシヤク1, ホソバトガリエダシヤク1, ギフウスキナミシヤク1, ハイイロフユハマキ1
3月9日	6℃	ホソウスバフユシヤク11, シロフフユエダシヤク11, ヒロバフユエダシヤク1, チャオビフユエダシヤク6, シロトゲエダシヤク1	ホソウスバフユシヤク1, シロフフユエダシヤク1	クロモンキリバエダシヤク2, ギフウスキナミシヤク1, ホソバキリガ1, ハイイロフユハマキ1
3月10日	3℃	ホソウスバフユシヤク4, シロフフユエダシヤク4, チャオビフユエダシヤク5, シロトゲエダシヤク4	シロトゲエダシヤク1	アトジロエダシヤク1, クロモンキリバエダシヤク1, ギフウスキナミシヤク4, ホソバキリガ1, 等
3月11日	8℃	ホソウスバフユシヤク6, シロフフユエダシヤク14, チャオビフユエダシヤク11, シロトゲエダシヤク3	シロフフユエダシヤク1	チャオビトビモンエダシヤク1, シロテンエダシヤク1, ミカツキナミシヤク1, キバラモクメキリガ1, 等
3月12日	14℃ LT	ホソウスバフユシヤク3, シロフフユエダシヤク25, チャオビフユエダシヤク8, シロトゲエダシヤク3	シロフフユエダシヤク1, チャオビフユエダシヤク1	ホソバトガリエダシヤク13, アトジロエダシヤク7, カバキリガ1, チャイロキリガ1, アカエグリバ1, 等
3月13日	15℃ 雨	ホソウスバフユシヤク2, シロフフユエダシヤク6, チャオビフユエダシヤク3	シロフフユエダシヤク1	クロモンキリバエダシヤク3, ギフウスキナミシヤク10, ウスベニスジナミシヤク1, キノカワガ1, 等
3月14日	14℃	ホソウスバフユシヤク1, シロフフユエダシヤク4, チャオビフユエダシヤク6, シロトゲエダシヤク1	シロフフユエダシヤク2	チャオビトビモンエダシヤク2, ハスオビエダシヤク1, ヒゲマダラエダシヤク1, トビモンアツバ1, 等

付表1 続き

日付	気温	フユシヤク類♂	フユシヤク類♀	その他の昆虫
3月15日	13℃	ホソウスバフユシヤク1, シロフフユエダシヤク4, チャオビフユエダシヤク1, シロトゲエダシヤク3	シロフフユエダシヤク2, シロトゲエダシヤク1	ヒロバトガリエダシヤク1, ホソバトガリエダシヤク4, チャイロキリガ1, マエアカスカシノメイガ1, 等
3月16日	14℃	ホソウスバフユシヤク3, シロフフユエダシヤク2, チャオビフユエダシヤク1, シロトゲエダシヤク1	シモフリトゲエダシヤク1	ミスジツマキリエダシヤク1, オカモトゲエダシヤク2, クロモンキリバエダシヤク2, 等
3月17日	10℃	ホソウスバフユシヤク2, シロフフユエダシヤク2	シロフフユエダシヤク1, シモフリトゲエダシヤク1	チャオビトビモンエダシヤク2, ハスオビエダシヤク1, チャイロキリガ7, シロヘリキリガ1, カバキリガ1, 等
3月18日	10℃ 雨	シロフフユエダシヤク3, チャオビフユエダシヤク3	シロトゲエダシヤク1	ニッコウエダシヤク1, フトフタオビエダシヤク1, モンキキナミシヤク1, ホシボシトガリバ1, 等
3月20日	6℃	ホソウスバフユシヤク6, シロフフユエダシヤク1, チャオビフユエダシヤク1, シロトゲエダシヤク1	シロトゲエダシヤク1	チャオビトビモンエダシヤク2, シロテンエダシヤク6, ミスジツマキリエダシヤク1, ホシボシトガリバ1, 等
3月21日	7℃	ホソウスバフユシヤク2		ウスバキエダシヤク2, フトフタオビエダシヤク1, ナカモンキナミシヤク2, アカバキリガ1, 等
3月23日	7℃			ハスオビエダシヤク3, フトフタオビエダシヤク1, ヒロバトガリエダシヤク2, プライヤキリバ1, 等
3月24日	6℃	ホソウスバフユシヤク3, シロトゲエダシヤク1		チャオビトビモンエダシヤク1, ウスバシロエダシヤク1, ウスバキエダシヤク1, カバキリガ1, 等
3月25日	14℃	ホソウスバフユシヤク1, シロフフユエダシヤク2, シロトゲエダシヤク1		チャオビトビモンエダシヤク1, アトジロエダシヤク3, ホソバトガリエダシヤク3, チャイロキリガ6, 等
3月26日	16℃ 雨			ヒゲマダラエダシヤク1, オオハガタナミシヤク1, マツキリガ1, エゾヨツメ1, イボタガ1, 等
3月28日	6℃	シロトゲエダシヤク1		ヒロバトガリエダシヤク3, ホソバトガリエダシヤク2, カバキリガ1, シロヘリキリガ2, プライヤキリバ2, 等
3月29日	8℃			ウスバキエダシヤク2, ミカツキナミシヤク1, ギフウスキナミシヤク1, プライヤキリバ1, 等
3月30日	14℃			モンキキナミシヤク多数, チャイロキリガ多数, ケンモンキリガ1, ウスギヌカギバ1, エゾヨツメ2, 等
3月31日	11℃			フタホシシロエダシヤク2, スモモキリガ1, サカハチトガリバ1, イボタガ1, オオシモフリズメ1, 等

註1 ライトトラップを併用した日はLTと記載。
 註2 気温は調査時に乗用車の温度計で計測したものを参考として掲載している。

付表2 フユシヤク類期間別出現状況

期間	11月		12月				1月				2月			3月													
	下旬	中旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬													
調査日数	5	3	4	5	4	3	4	4	5	5	5	4	4	6	3	4	5	3	5	3	5	4	5	4	4	5	
クロスジフユエダシヤク♂		●	●	●	●	●	●																				
♀			●	●	●	●	●		●																		
クロオビフユナミシヤク♂			●	●	●	●	●	●																			
♀					●		●																				
シロオビフユシヤク♂						●	●	●	●	●	●																
♀※							●	●																			
イチモジフユナミシヤク♂					●	●	●	●	●	●																	
♀							●	●	●																		
チャバネフユエダシヤク♂					●	●	●	●	●																		
♀																											
ウスモンフユシヤク♂						●	●	●	●	●	●	●	●	●													
♀※							●	●	●	●	●																
ウスバフユシヤク♂						●	●	●	●	●	●	●	●	●													
♀※							●	●	●	●	●																
ナミスジフユナミシヤク♂									●	●	●	●	●	●													
♀									●	●	●	●	●	●													
クロバネフユシヤク♂									●	●	●	●	●	●													
♀※																											
シロフフユエダシヤク♂									●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
♀																											
クロテンフユシヤク♂									●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
♀※									●	●	●	●	●	●													
シモフリトゲエダシヤク♂									●	●	●	●	●	●													
♀																											
ヒロバフユエダシヤク♂									●																		
♀																											
チャオビフユエダシヤク♂																											
♀																											
ホソウスバフユシヤク♂																											
♀																											
シロトゲエダシヤク♂																											
♀																											
フユシヤク亜科の一種♀									●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

註1 各月を6分割(1マス5日、各月最終マスは3~6日)し、期間内に確認した種を●で示している。
 註2 ※は交尾中の個体またはその種であることが確実な個体のみ示している。



図 1. クロスジフユエダシャク
2021.12.4 23:00



図 2. クロオビフユナミシャク
♂ 2021.12.4, ♀ 2021.12.11



図 3 シロオビフユシャク
2021.12.29 20:14



図 4. イチモジフユナミシャク
♂ 2021.12.21 ♀ 2021.12.28 採集



図 5. チャバネフユエダシャク
2021.12.20



図 6. ウスモンフユシャク
2021.12.24



図 7. ウスバフユシャク
2022.1.2 21:28



図 8. ナミスジフユナミシャク
2022.1.9 22:48



図 9. クロバネフユシャク
2022.1.17



図 10. シロフフユエダシャク
2022.3.7 20:37



図 11. クロテンフユシャク
2022.2.12 18:56



図 12. シモフリトゲエダシャク
2022.2.25(採集後に交尾)



図 13. ヒロバフユエダシャク
2022.1.28



図 14. チャオビフユエダシャク
2022.2.26 22:05



図 15. ホソウスバフユシャク
2022.2.24 20:09



図 16. シロトゲエダシャク
2022.3.10 採集

兵庫県におけるシタベニハゴロモの確認記録

高橋弘樹¹⁾

筆者は兵庫県たつの市及び上郡町でシタベニハゴロモ *Lycorma delicatula* (White) を採集・撮影したので報告する。また、兵庫県内における本種の確認状況についても併せて報告する。

2021年8月21日夜、たつの市新宮町光都1丁目で佐用町昆虫館キッズスタッフの三村剣義氏、石川栞奈、元貴、大馳氏と両家のご両親とともにライトトラップを行ったが蛾類の飛来は不調だった。そこで子どもたちの一部と保護者はシンジュサンを期待してニワウルシの若木が密生する車道脇を探索し始めたが、持って帰ってきたのは蛾ではなく、真っ赤な後翅を持つ巨大なハゴロモのような虫だった。その場で昆虫館スタッフの一部が参加しているグループLineで問い合わせたところ、知人が明石市魚住町で2018年に発見した本種を同定した経験を持つ井嶋幸司氏から、シタベニハゴロモであるとの回答があった。

この日は5人で3♂5♀4exs. (筆者は3♀ (図1)) を採集し各自標本を作成した。さらに筆者は8月22日の午後に同地の車道沿い約250mの範囲で30exs. 以上を確認 (図2) し、8月29日にも5exs. を採集して佐用町昆虫館で展示した。また、上郡町金出地の車道脇のニワウルシの若木でも8月22日に1ex. を発見し、跳躍して路上にひらひらと着地したところを撮影した (図3)。なお、確認した個体は全て成虫である。

梅村ほか (2013) によると、シタベニハゴロモは中国、台湾、ベトナム、インドに分布するゾウハゴロモ科の昆虫で、2006年に韓国で発生、わが国では2009年に石川県小松市での発生が富沢章氏によって報告され、2013年には福井県あわら市でも確認された。そして2017年には大阪市住之江区南港中で1♀が採集され (松本, 2017)、2019年には兵庫県上郡町に隣接する岡山県備前市内の伊部で1ex., 穂浪で多数が確認されている (奥島・水井, 2019)。

兵庫県内では2018年の明石市における上記の事例が初確認で、その後、2021年8月16日にたつの市揖

西町中垣内東山で三尾琥珀氏と祖父の藤原幸一氏によって1ex. が採集された。また、たつの市揖西町で鈴木万結氏によって採集されたことが同年8月31日付の神戸新聞で報道されている。さらに赤穂市坂越では同年9月11日に1ex. が浅野一秀氏により確認され、10月29日に1♀、12月9日に1♂死骸が野村拓志氏により採集された。

筆者らが2021年にたつの市新宮町で確認した個体には後翅前縁から中央部にかけて青い斑紋を持つ個体と白い斑紋を持つ個体の両方が見られ (図1)、8月21日の3♂は青2頭、白1頭、5♀は青3頭、白2頭、4exs. (標本散逸) は青2頭、白2頭、8月29日の5exs. は青4頭、白1頭という内容だった (22日も両方見ら

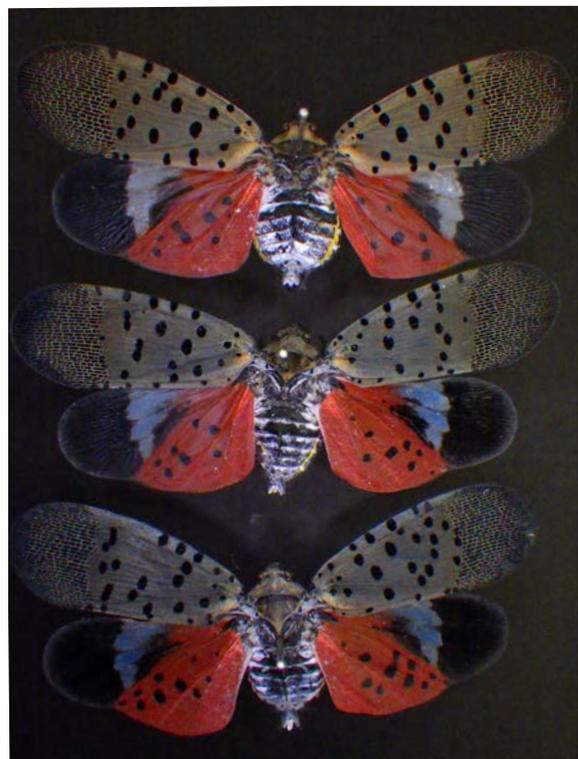


図1 たつの市新宮町光都で2021年8月21日に筆者が採集した3♀。開長48~49mm。上1頭は後翅に白い斑紋を、下2頭は青い斑紋を持つ。

¹⁾ Hiroki TAKAHASHI 兵庫県相生市



図2 たつの市新宮町光都 2021年8月22日



図3 赤穂郡上郡町金出地 2021年8月22日

れたがカウントせず)。上郡町で確認した 1ex. は青い斑紋の個体だった。なお、岡山県内では青と白の両方が得られている(奥島・水井, 2019)が、比率の詳細については報告されていない。

最後に発表を勧めてくださった池田大氏, 本県内の確認情報について関係各所との調整などご尽力くださり, ご指導くださった兵庫県立人と自然の博物館の八木剛氏, 本種についての詳細な知見をご教示いただいた上, 種々ご指導くださった倉敷市立自然史博物館の奥島雄一氏及び神田佐奈恵氏, 佐用町昆虫館スタッフの皆様にご心より御礼申し上げます。

【確認記録】

- 1ex. 兵庫県明石市魚住町清水, 1.XI.2018. 匿名(井嶋幸司 確認)
- 1ex. 兵庫県たつの市揖西町中垣内東山, 16.VIII.2021. 三尾琥珀・藤原幸一
- 3♂ 5♀ 4exs., 兵庫県たつの市新宮町光都, 21.VIII.2021. 三村, 石川, 高橋.
- 30exs. 以上, 兵庫県たつの市新宮町光都, 22.VIII.2021. 高橋弘樹(撮影).
- 1exs., 兵庫県上郡町金出地, 22.VIII.2021. 高橋弘樹(撮影).

- 5exs., 兵庫県たつの市新宮町光都, 29.VIII.2021. 高橋弘樹.
- 1ex. 兵庫県赤穂市坂越, 11.IX.2021. 浅井一秀 確認. ※未採集
- 1♀. 兵庫県赤穂市坂越, 29.X.2021. 野村拓志
- 1♂死骸. 兵庫県赤穂市坂越, 9.XII.2021. 野村拓志

○参考文献

- 梅村信哉・伊藤勝幸・井上美代子・源野みね子・桜井知栄子, 2013. あわら市吉崎におけるシタベニハゴロモ *Lycorma delicatula* (White) の初記録. 福井市自然史博物館研究報告, 60: 67 - 68.
- 松本吏樹郎, 2017. 大阪市内で発見されたシタベニハゴロモ. Nature Study, 63(9): 4, 12.
- 奥島雄一・水井颯麻, 2019. 岡山県におけるシタベニハゴロモの記録. 月刊むし, 586: 19-20.
- 神戸新聞, 2021年8月31日, 地域面(西播), スケープラボ「たつこの里山に変わった虫いた 加古川の小学生 鈴木万結さんが発見」.

宝塚市の緑地公園の昆虫についての続報及び追加訂正

宇野宏樹¹⁾

1. はじめに

筆者は近年、ゆずり葉台緑地公園で得られた昆虫類を記録してきたが、本地において新しく見つけた種及び記録の報告をしていなかった種がいくつかあるので報告する。また、宇野(2021b)での正誤表発行時には気づかなかった記録上の不備もあったので、訂正しておきたい。

2. ゆずり葉台緑地公園及びその周辺で得られた昆虫の追加記録

ゆずり葉台緑地公園及びその周辺で得られた昆虫のうち、未発表の記録を公表しておきたい。なお産地はすべてゆずり葉台緑地公園及びその周辺(宝塚市蔵人と宝塚市逆瀬台1丁目・宝塚市小林西山・宝塚市野上6丁目及びゆずり葉台1丁目・ゆずり葉台2丁目付近にまたがったエリア)である。

アカハネオンブバツタ *Atractomorpha sinensis*
1ex., 23. X. 2021.

Campsomerini 族の1種
1ex., 23. X. 2021.

ニホンミツバチ *Apis cerana*
1ex., 23. X. 2021.
後翅のM3+4脈が翅端に向かって明瞭に伸長することから、ニホンミツバチと同定した。

タマヌキケンヒメバチ *Jezarotes tamanukii*
1ex. (図1・図2), 2. VI. 2020.

中胸盾板は側方から見て、前方に突き出し、体の光沢が強いことから、本種と同定した(図2)。本種は宝塚の昆虫VIIに掲載されておらず、本市での記録はあまりないと思われる。筆者は本種を武田尾溪谷及び神戸市でも採集しているので報告しておきたい。なお、武田尾溪谷は西宮市と宝塚市の境界に位置し、遺憾ながらどちらの市で得られたものかわからなくなったので、ここで



図1 兵庫県宝塚市産タマヌキケンヒメバチ



図2 同一個体の頭部や胸部などの側面

は「兵庫県南東部」という表記にとどめておく。

1ex., 兵庫県南東部武田尾溪谷. 28. V. 2020.

1ex., 兵庫県神戸市北区道場町. 3. VII. 2021-4. VII. 2021.

3. ゆずり葉台緑地公園にかかわる報文の追加訂正

宇野(2021b)の発行以降、当該報文について追加で訂正すべき内容がいくつか見つかったので、本記事で訂正しておきたい。

きべりはむし第42巻第2号「宝塚市の緑地公園で得られた蛾類の記録」追加訂正箇所

ページ	段	項	誤	正
p.34	左段	ネグロエダシャク	意外にも少ない種なのか、兵庫県での記録は見つけられなかった。	既に八木ほか(2002)で記録されていた。

¹⁾ Hiroki UNO 兵庫県西宮市

きべりはむし第 43 巻第 1 号「宝塚市の緑地公園で得られた蛾類の記録 II」追加訂正箇所

ページ	段	項	誤	正
p.21	右段	ベニトガリアツバ	宝塚市では初記録と思われる。	既に犬飼 (2014) で記録されていた。
p.24	左段	ヤエヤマウスムラサキクチバ		<i>Ericeta</i> 属の 1 種に訂正
p.26	左段	マエグロシラオビアカガネヨトウ	1ex. 1. IV. 2016	削除

きべりはむし第 44 巻第 1 号「宝塚市の緑地公園の昆虫相」追加訂正箇所

ページ	段	項	誤	正
p.13	左段	オオトビサンガメ	2015 年 10 月	2015-2016
p.13	右段	トビロオオヒラタカメムシ		オオヒラタカメムシ亜科の 1 種に訂正

4. 謝辞

末筆ながら、タマヌキケンヒメバチを神戸市で得た際の調査には、安達誠文氏に同行していただいた。この場を借りて厚くお礼申し上げる。

○参考文献

- 犬飼 拓展, 2014. 年間蛾類採集記録 2013 年度版. SPINDA, 29:108-117.
- 石川 忠・高井幹夫・安永智秀, 2012. 日本原色カメムシ図鑑第 3 巻. 573pp. 全国農村教育協会.
- 多田内 修・村尾竜起 (編), 2014. 日本産ハナバチ図鑑. 479pp. 文一総合出版.
- 宝塚市, 1992. 宝塚の昆虫 I チョウ・バッタ・カメムシ・カマキリ・ゴキブリ・ハサミムシ・ナナフシ. 宝塚市教育委員会.
- 宝塚市, 1994. 宝塚の昆虫 VII ハチ・アリ・ノミ・(補遺). 宝塚市教育委員会.
- 寺山 守・須田博久 (編), 2016. 日本産有剣ハチ類図鑑. 735pp. 東海大学出版部.
- 宇野宏樹, 2019. 宝塚市の緑地公園で得られた蛾類の記録 I. きべりはむし, 42(2): 32-39.
- 宇野宏樹, 2020a. 宝塚市の緑地公園で得られた蛾類の記録 II. きべりはむし, 43(1): 18-28.
- 宇野宏樹, 2020b. 宝塚市の緑地公園で得られた蛾類の記録 III. きべりはむし, 43 (2): 21-25.
- 宇野宏樹, 2021a. 宝塚市の緑地公園の昆虫相 -2010 年～2020 年の昆虫の記録-. きべりはむし, 44(1): 9-25.
- 宇野宏樹, 2021b. 「宝塚市の緑地公園で得られた蛾類の記録 I・II・III」及び「宝塚市の緑地公園の昆虫相—2010 年～2020 年の昆虫の記録—」の再検討 (補遺及び訂正点・正誤表). きべりはむし, 44(2):

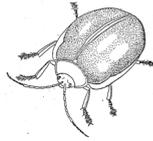
39-43.

八木 剛・中西明德・青田紀子・稲畑憲昭・植田義輔・岡本俊治・勝又千寿代・金子留美子・古賀督尉・杉野広一・高島 昭・谷口日出二・谷口幸生・松山咲美・林 成多・水野辰彦・山崎敏雄・山本勝也・吉田 武, 2002. 六甲山のブナ林とその周辺の昆虫相—2001 年の合同調査から—. きべりはむし, 30(1): 1-45.

Information station of Parasitoid wasps. ケンオナガヒメバチ亜科 Acaenitinae Förster, 1869. <https://himebati.jimdoofree.com/%E5%AF%84%E7%94%9F%E8%9C%82%E3%81%AE%E3%83%AA%E3%82%B9%E3%83%88%E3%81%A8%E7%89%B9%E5%B%E4-%E5%86%99%E7%9C%9F/%E3%83%92%E3%83%A1%E3%83%90%E3%83%81%E7%A7%91-ichneumonidae/%E3%82%B1%E3%83%B3%E3%82%AA%E3%83%8A%E3%82%AC%E3%83%92%E3%83%A1%E3%83%90%E3%83%81%E4%BA%9C%E7%A7%91-acaenitinae/> (2021 年 12 月閲覧.)

国土地理院. 地理院地図 (電子国土 Web). <https://maps.gsi.go.jp/#17/34.789188/135.321633/&base=std&ls=std&disp=1&vs=c1j0h0k0l0u0t0z0r0s0m0f1> (2022 年 3 月閲覧.)

たんぽう



多可郡でマエジロシャチホコを確認

松尾隆人

笠形山中腹を縦断する林道笠形線の標高約 500 m 付近でライトトラップを行ったところマエジロシャチホコ *Notodonta albicosta* が飛来した。本種は氷ノ山など県北部の山地に広く産するものの、多可郡ではかなり珍しいものと思われるのでここに報告する。



図 多可町産マエジロシャチホコ。

1 ex. (写真), 兵庫県多可郡多可町八千代区大屋 Alt.500 m, 灯火, 29. VII. 2021, 筆者撮影

(Takahito MATSUO 多可郡多可町)

兵庫県新温泉町におけるハラアカコブカミキリの記録

松岡遥都・大生唯統

ハラアカコブカミキリ *Moechotypa diphysis* は日本国内においては対馬にのみ分布していたが、シイタケのほだ木の流通に伴って西日本各地へと侵入した国内外来種である。兵庫県下においては 1960 年代の伊丹市と 2009 年の姫路市からのみ報告されていたが(岡田, 2010), 2021 年に香美町で多数見つかった(小西, 2021)。筆者らは新温泉町において本種を確認したので報告する。

記録

1 ex., 兵庫県新温泉町浜坂秋葉台, 20. IV. 2021, 松岡遥都・高森 馳 発見, 松岡遥都 標本保管 (写真 1).



写真 1, 新温泉町産ハラアカコブカミキリ。

筆者の 1 人, 松岡が友人の家へ遊びに行く道中で発見した。

但馬地方は 1980 年代から継続的にカミキリムシ相が調査されており, これまでに 230 種ほどが知られている(例えば, 佐藤, 1996; 永幡, 1999; 小椋, 2019) が, 本種は小西(2021)まで報告がなかった。近年, 但馬地方へ侵入・定着したものである可能性が高い。隣接する鳥取県東部においては 2016 年に鳥取市(大生, 2017), 2018 年に岩美町(大生, 2018)と東への分布拡大が確認されており, 鳥取市では大幅な個体数の増加が確認されている(小椋, 2018)。兵庫県北部でも同様に分布拡大しているようであるため, 今後の動向を注視する必要がある。

○引用文献

- 大生唯統, 2017. 鳥取市にハラアカコブカミキリが侵入。ゆらぎあ, 35: 24 - 26.
- 大生唯統, 2018. ハラアカコブカミキリ岩美町へ侵入。ゆらぎあ, 36: 19.
- 小椋 隆, 2018. 2018 年ハラアカコブカミキリ大発生。ゆらぎあ, 36: 25.
- 小椋 隆, 2019. 兵庫県但馬地方のカミキリムシ。ゆらぎあ, 37: 23 - 36.
- 岡田浩資, 2010. ハラアカコブカミキリの姫路市安富町からの記録。きべりはむし, 32 (2): 40.
- 小西和夫, 2021. ハラアカコブカミキリ, 北但馬に定着か。きべりはむし, 44 (2): 46.
- 佐藤邦夫, 1996. IRATSUME に採集記録が発表された但馬のカミキリムシ。IRATSUME, 20: 93 - 109.
- 永幡嘉之, 1999. 但馬海岸のカミキリムシ。IRATSUME, 23: 1 - 4.

(Haruto MATSUOKA 新温泉町立浜坂北小学校)

(Yuito OBAE 鳥取県鳥取市)

チャオビフユエダシャクが糖蜜トラップで吸蜜

高橋弘樹

筆者はフユシャク類の一種であるチャオビフユエダシャク *Phigaliohybernia fulvinfula* Inoue, 1942 の糖蜜トラップでの吸蜜を確認したので報告する。

【確認記録】

2♂, 兵庫県相生市矢野町瓜生(羅漢の里公園内), 12. III. 2022.

筆者は2022年3月5日, 羅漢の里公園(兵庫県相生市矢野町瓜生)において糖蜜トラップを実施した際, 日没直後に公園内車道沿いのシダの葉に霧吹きで糖蜜(100%リンゴジュース1:清酒0.5:米酢0.5)を散布しところ, 10分も経たないうちにチャオビフユエダシャク2♂が飛来して葉上に静止し, 1時間ほどその場に留まっているのが確認できた。さらに少し離れたモミジの樹幹の糖蜜を噴霧した部分にも1♂が止まっていたため不思議には思ったが, どちらも元々本種が頻繁に飛翔している場所だったのでこの日は詳細な観察も撮影もしなかった。

3月12日にも同地での糖蜜トラップを実施し, 18時過ぎに同じ配合の糖蜜を同じシダに散布したところ, 19時33分に2♂が葉の表面に静止していた。カメラを使って拡大すると口吻を葉上に伸ばして盛んに吸蜜しているのが確認できたので, 同行者(石川栞奈氏)とともに撮影した(図1, 図2)。その後20時06分に見回った際には1頭は同じ場所に留まり, 1頭は葉裏に移動してどちらも吸蜜を続けていたので再び撮影したが, その際に1頭が照明に反応して飛び去ってしまった。もう1頭はその後も吸蜜を続けていた(図3)が, 22時44分の撤収時にはいなくなっていた。なお, シダの葉では他にカシワオビキリガ, プライヤキリバ, トビモンアツバ, キノカワガが吸蜜していた。

中島(2017)はフユシャク類(フユシャクガ)の定義の一つに「口吻は短縮して, 食餌しない場合が多い」を挙げており, 成虫が食餌しないわけではないようだが, 文献としてはトギレフユエダシャク(当時のトギレエダシャク)3♂が糖蜜に飛来した報告(岸田, 1975)しか見つけられなかった。なお, 本種の口吻はやや縮小するが, 近縁属より長く残っている(岸田, 2011)。

末筆ながら, 資料を提供していただいた阪上洸多氏に御礼申し上げる。

○参考文献

岸田泰則・宮嶋顕司, 1975. 1975年春に糖蜜採集で得た蛾. 誘蛾燈, 61:79-83

岸田泰則(編), 2011. 日本産蛾類標準図鑑 I, 176pp.

学研教育出版.

中島秀雄・小林秀紀, 2017. 月刊むし・昆虫図説シリーズ 11 日本の冬尺蛾. 152pp. むし社

(Hiroki TAKAHASHI 兵庫県相生市)



図1 2022年3月12日 19時35分



図2 2022年3月12日 19時36分



図3 2022年3月12日 20時08分

姫路市内でシロスジコガネを採集

榮藤 亘輝

シロスジコガネ (*Polyphylla albolineata*) はコガネムシ科コフキコガネ亜科に属する種で、生息環境が限られることから兵庫県 (2012) の県版レッドリストでBランクに選定されている。これまで姫路市内での生息は確認されていなかった (高橋, 1980; 兵庫県, 2012)。今回、2021年に筆者が採集したオス1個体が姫路市初記録であると思われるので報告する。

2021年6月6日午後5時頃、姫路市内にて自転車で走行中に大きな昆虫がとまっているのが目に留まり確認したところ、オス1個体が道路脇のアスファルト上で静止していた。本種は海辺の砂地で発生する海浜性の昆虫である (伊藤・唐亀, 2010) が、今回確認した場所から3キロほど離れた場所に砂地の海岸があり、そこで発生した個体が飛来した可能性が高い。発生場所を特定するために、今後周辺の砂浜海岸も含めて現地調査する必要がある。



図 シロスジコガネ オス 2021年6月6日筆者採集。

○参考文献

- 兵庫県, 2012. 兵庫県版レッドリスト (昆虫類).
(https://www.kankyo.pref.hyogo.lg.jp/jp/environment/leg_240/leg_289/leg_709)
- 伊藤寿茂・唐亀正直, 2010. 海浜性シロスジコガネの展示と繁殖. 第54回水族館技術者研究会 (日本動物園水族館協会) <https://www.enosui.com/researchentry.php?eid=00141>
- 高橋寿郎, 1980. ヒゲコガネとシロスジコガネ (兵庫県産昆虫相資料. 75). きべりはむし, 8 (2): 8-17
- 澤田佳宏, 2013. シロスジコガネを淡路市内で確認. きべりはむし, 36 (1): 23-24

(Koki ETO 甲南大学理工学部生物学科)

きべりはむし 投稿案内

1. 内容

「きべりはむし」は、老若男女を問わず、昆虫に関心のある読者を対象とし、兵庫県ならびに地域の昆虫相、昆虫の採集・観察・飼育の記録や方法、昆虫学の解説、昆虫を題材とした教育や地域づくりに関する記録や方法などの、未発表の報文を掲載します。

2. 編集・発行

「きべりはむし」は、兵庫昆虫同好会の機関誌ではなく、独立した雑誌とし、「きべりはむし編集委員会」が編集し、「兵庫昆虫同好会」と「NPO 法人こどもとむしの会」が共同で発行します。巻号は、兵庫昆虫同好会発行の「きべりはむし」の継続とします。

3. 著作権

掲載報文の著作権は、「NPO 法人こどもとむしの会」に帰属するものとします。

4. 体裁・媒体

本誌の判型は A4 判とし、横書き 2 段組とします。本誌は、Adobe PDF 形式による電子ファイルとして出版し、データは「NPO 法人こどもとむしの会」の web サイト (<http://www.konchukan.net/kiberihamushi>) からダウンロードできるものとします。また、紙媒体による印刷物を別途製作し、希望者に時価で頒布します。

5. 投稿者

「きべりはむし」には、NPO 法人こどもとむしの会正会員および賛助会員、兵庫昆虫同好会会員、学生（小学生、中学生、高校生、大学生および大学院生）ならびにきべりはむし会員のいずれかが著者に含まれる原稿を投稿することが出来ます。なお、きべりはむし会員が 1 年間に投稿できるのは、報文 2 報・短報 2 報までとなります。

6. 原稿提出時のお願い

原稿は、原則としてデジタルデータでお願いします。以下を参考に、文字部分と、図や表の部分は別々のファイルとして提出ください。従来通りの紙原稿でも受付しますので、ふるって投稿ください。

1) 文字部分

図表以外の部分と図表のキャプションは、1つのファイルとして、リッチテキスト形式 (.rtf) もしくは MS ワード形式 (.docx) で保存してください。ゴシック体、イタリック体などの書体も指定ください。原稿は、一般に、表題、著者、要旨、本文、謝辞、文献で構成します。本文が数ページに及ぶ報文の場合は、本文の前に 400 字以内程度の要旨をつけることも可能です。文献、ホームページの引用は、一般的な学術雑誌の例にならってください。

2) 図表

それぞれの図表ごとに別々のファイルとして作成し、.jpeg, .psd, .pdf などの形式で保存してください。また画像データにつきましては可能な限り、高解像度での保存をお願いします。図表の幅は、1 段または 2 段分となります。原則として、単純な拡大縮小以外には行わず、そのまま印刷に供しますので、図表中の文字サイズは、刷り上がりの大さを考えて適切に設定してください。また、写真のトリミングは、適切にトリミングしたものを提出してください。

著者以外が作成した地図や、人物が写っている写真を用いる場合は、事前に、著作権者や本人の承諾を得ておいてください。

3) 引用文献

文献を引用する場合、雑誌や単行本は「著者名(年号)」または「(著者名,年号)」、ウェブサイトは「サイト作成者名(年号)」、「(サイト作成者名,年号)」または「(ウェブサイト名)」と、本文の引用箇所に書き、文末に引用文献をまとめて記載してください。引用文献の記載方法は、以下の例を参考にしてください。

・雑誌を引用する場合

(例1) 福岡誠行・黒崎史平・高橋晃, 2000. 兵庫県産維管束植物 2. 人と自然, 11: 85 - 104.

(例2) 石原誠一, 1959a. トビイロスズメの生活史 (I). 新昆虫, 12 (2): 36 - 39.

(例3) 石原誠一, 1959b. トビイロスズメの生活史 (II). 新昆虫, 12 (7&8): 37 - 39.

(例4) Hardy, D. E., and M. Takahashi. 1960. Revision of the Japanese Bibionidae (Diptera, Namatocera). Pacific Insects, 2(4): 383-449.

・単行本を引用する場合

(例5) 安永智秀・高井幹夫・中谷至伸, 2001. 日本原色カメムシ図鑑—陸生カメムシ類 Terrestrial Heteropterans—第2巻(安永智秀・高井幹夫・川澤哲夫 編). 全国農村教育協会, 東京. 350pp.

・ウェブサイトを引用する場合

(例6) 神戸市, 2015. 神戸の希少な野生動植物—神戸版レッドデータ 2015—, (<http://www.city.kobe.lg.jp/life/recycle/biodiversity/rd/img/rdb2015.pdf>).

(例7) Web 東奥(東奥日報), 2020年8月25日, 青森県初確認? 深浦町にアカギカメムシ, <https://www.toonippo.co.jp/articles/-/399599> (参照2020年11月26日).

7. 原稿送付先

きべりはむし編集委員会 kiberihamushi@konchukan.net

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1 神戸大学農学部昆虫多様性生態学研究室

NPO 法人こどもとむしの会 事務局気付

8. 原稿の修正, 採否等

編集委員会は、内容や文言の修正を著者に求めることがあります。また趣旨に合わない原稿は掲載をお断りすることがあります。

9. 投稿者, 原稿内容に関する問い合わせ

個人情報保護の観点から、投稿者個人の連絡先は明記しておりません。お問い合わせ等につきましてはきべりはむし編集委員会メールアドレス kiberihamushi@konchukan.net までお願いいたします。

10. ISSN について

きべりはむしは第32巻第2号からオンラインジャーナルのPDF版が正式版となりました。これに伴い、ISSN(国際標準逐次刊行物番号:International Standard Serial Number)を取得しました。ISSNとは、雑誌などの逐次刊行物の情報を識別するための国際的なコード番号です。

・参考 web サイト

ISSN 日本センター: <http://www.ndl.go.jp/jp/aboutus/issn.html>

きべりはむし 第45巻 第1号

2022年6月25日 発行

編集 きべりはむし編集委員会

発行 兵庫昆虫同好会・NPO 法人こどもとむしの会

事務局 きべりはむし編集委員会 kiberihamushi@konchukan.net
〒657-8501 神戸市灘区六甲台町 1-1 神戸大学農学部昆虫多様性生態
科学研究室 NPO 法人こどもとむしの会 事務局気付

きべりはむし web サイト：<http://www.konchukan.net/kiberihamushi>

きべりはむし 第45巻 第1号 目次

きべりはむし 50周年と兵庫昆虫同好会 50年の活動終了について 近藤伸一 1-2

【報 文】

兵庫県姫路市南部で採集した甲虫類の記録	檀野将平	3-65
ヤツボシシロカミキリ、その後(3)	小西和夫	66-72
姫路科学館収蔵の兵庫県産オサムシ標本と姫路市のオサムシ文献記録	宮下直也	73-78
兵庫県丹波篠山市におけるキリガ類の若干の記録	宇野宏樹	79
2021年に西播磨地域で採集・撮影した注目すべき蛾類の記録	高橋弘樹	80-84
相生市「羅漢の里」におけるフユシヤク類の定点調査記録(2)	高橋弘樹	85-92
兵庫県におけるシタバニハゴロモの確認記録	高橋弘樹	93-94
宝塚市の緑地公園の昆虫についての続報及び追加の訂正	宇野宏樹	95-96

【短 報】

多可郡でマエジロシャチホコを確認	松尾隆人	97
兵庫県新温泉町におけるハラアカコブカミキリの記録	松岡遥都・大生唯統	97
チャオピフユエダシヤクが糖蜜トラップで吸蜜	高橋弘樹	98
姫路市内でシロスジコガネを採集	榮藤亘輝	99

投稿案内 100-101